

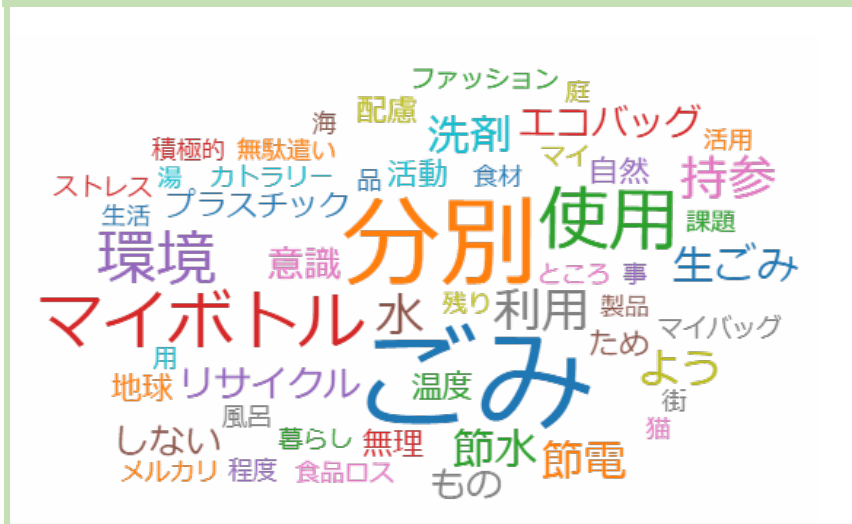
計画改定に係る 市民・市民団体・事業所の意見結果

意見収集結果の概要

- 市民ワークショップ **91名**
2024年5月～10月に計4回開催
- 市民アンケート① 環境施策について **4,358名**
2024年10月1日～10月14日実施（神戸市ネットモニター9,976名に送付、回答率43.7%）
- 市民アンケート② ごみ施策について **4,389名**
2024年11月15日～11月28日実施（神戸市ネットモニター10,022名に送付、回答率43.8%）
- 市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査 **4,248名**
2024年12月2日～12月15日実施（神戸市ネットモニター10,026名に送付、回答率42.8%）
- 市民団体アンケート **20団体**
2024年10月28日～11月22日実施（45団体に送付、回答率44.4%）、3団体にヒアリング
- 事業所アンケート **79社**
2024年10月28日～11月22日実施（219社に送付、回答率36.0%）、5社にヒアリング

市民ワークショップ 事前アンケート

暮らしの中で環境について意識していること、
重点を置いていること



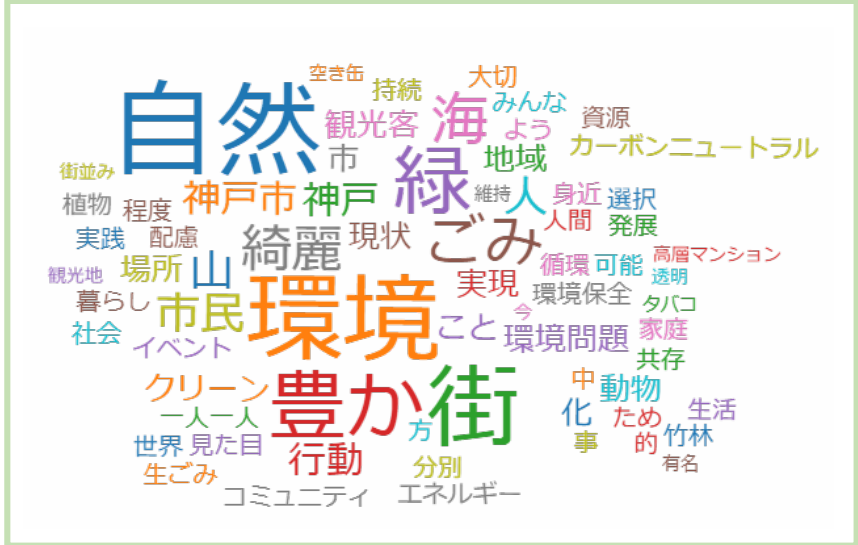
今の神戸市の環境で良いところ



今の神戸市の環境の課題



10年後の神戸市の環境をどのようにしたいか



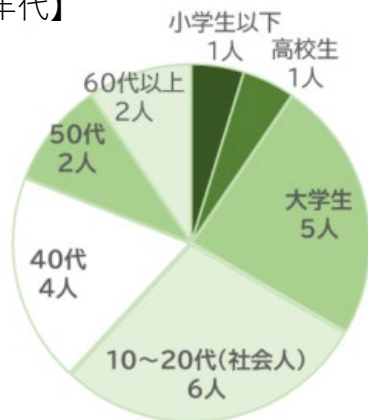
市民ワークショップ① テーマ：ごみ

開催日：2024年6月8日（土）

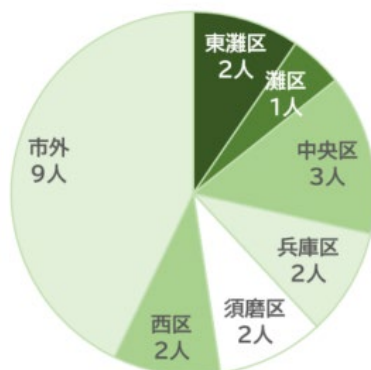
場 所：東遊園地アーバンピクニック（中央区）

参加者：21名

【年代】



【居住地】



主な意見・アイデア（抜粋）

①脱温暖化・自然環境との連携について

（キーワード：CO2削減、プラスチック、衣服、おむつ）

- 街に木陰をたくさん作る。
- 公共交通機関の普及・利用促進。
- バイオマスプラスチックの活用。
- 古着のリユースやリサイクルショップ、フリーマーケットの活用。
- 繰り返し使えたり土にかえるおむつの開発。
- 自然に触れる機会を増やす、放置竹林や森林の管理。

③人口減少、高齢化に対応した処理体制の構築について

- 綺麗な街を保って住みたい人を増やす。
- 分別を分かりやすくする。
- 自治会の活発化、若者と高齢者の繋がりづくり。
- 高齢者にやさしいごみ収集。

②循環経済について（キーワード：ごみの減量・資源化、食ロス）

- アップサイクル、リサイクルの推進。
- プラスチック包装や過剰包装をやめる。
- 必要なものを必要な分だけ買う。
- 資源回収ステーションの拡充。
- てまえどりの推進。
- フードドライブやフードシェアの促進。
- 節約しながら経済を回す。

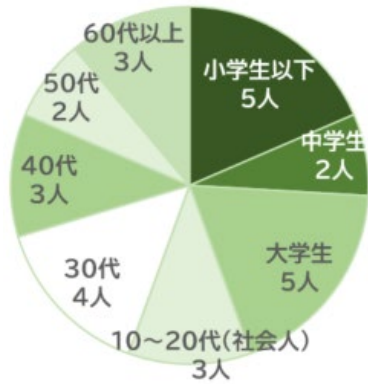
④その他ごみについて気になること

- 分別が難しい。
- たばこの吸い殻のばい捨てが多い。
- 意識の高い人と低い人の差が大きい。
- 供給過剰によってごみの減量より貨幣価値が優先されている。
- 空き家とごみ。
- 災害（大雨）が起こって流れるごみ。

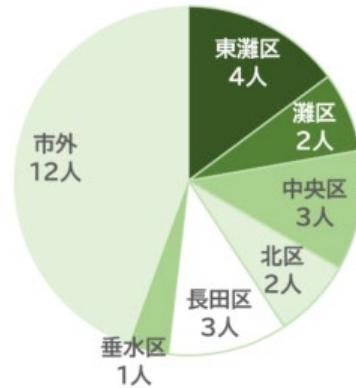
市民ワークショップ② テーマ：いきもの

開催日：2024年8月22日（土）
場 所；王子動物園ホール（灘区）
参加者：27名

【年代】



【居住地】



主な意見・アイデア（抜粋）

① 普段いきものや自然環境に触れる機会

- ・六甲山で生きもの観察
- ・メダカを飼っている
- ・セミの鳴き声を聞く
- ・川で遊ぶ
- ・散歩で山道を歩く
- ・公園で虫を採る
- ・動物園、水族館に行く
- ・農業体験

② 神戸でいきものや自然に親しみを 持つようにするために必要なこと

- ・山・海に行く機会をつくる
- ・生きもの観察会
- ・動物に触れる機会を増やす
- ・街路樹を増やす
- ・ワークショップを開催する
- ・学校の教育などで神戸の生物、自然について学ぶ機会を増やす
- ・活動を行っている団体等をもっと周知する

③ いきものや自然を守る育てる活動（イベント等） に多くの人参加できるアイデア

- ・山から海までつなげたイベント
- ・王子動物園や須磨シーワールドでワークショップ
- ・絶滅危惧種を見る、触るワークショップ
- ・学校で登山授業を行い、自然を体験
- ・デパートに自然を知る一画を作る（水耕栽培）
- ・みんなで（学校等）畑・生き物を育てる
- ・予約なしで出入り自由にする
- ・参加特典（ポイント加算）

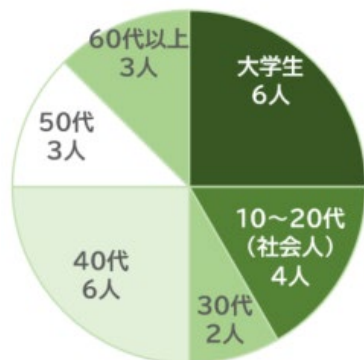
市民ワークショップ③ テーマ：地球温暖化対策

開催日：2024年9月27日（金）

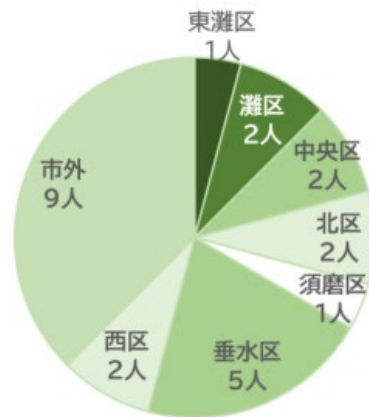
場 所：KOBÉ Co Creation Center（中央区）

参加者：24名

【年代】



【居住地】



主な意見・アイデア（抜粋）

① 普段、身近に温暖化を感じる時

- 夏気温が年々上昇している
- 台風が巨大化している
- 熱中症の人が増えている
- エアコン代が年々上がる
- 野菜が暑すぎて育たない
- 虫が異常発生する
- 六甲山でも夏暑い
- 兵庫県でスキーができない

② 生活の中でできる脱炭素の取り組み

- 車移動を減らす
- 宅配便をなるべく一度で受け取る（置き配も可）
- 環境に配慮した取り組みをする会社を応援する
- 森林ボランティアに参加
- 地元でとれたものを循環させる
- 野菜を作る（自給自足）
- 畑を町中につくる
- キエーロで生ごみ削減
- 石油由来のプラスチック素材を選ばない

③ 神戸全体でできる脱炭素の取り組み

- ボランティアの人が活動する時の公共交通サポート
- 市民が取り組んで目にみえる（数値化）＝貢献感を得られるプロジェクトをする
- 地域で資源回収イベントをおしゃれに、楽しく開催する
- 1世帯1キエーロ
- 森や海のことを大人も学べるツアー
- 楽しく情報発信！まずは知ること
- 街路樹の多い市になって木陰を作る
- 自然が近いので自然の中で遊べる場所を増やす

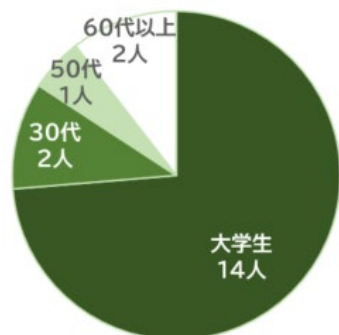
市民ワークショップ④ テーマ：環境保全・環境学習

開催日：2024年10月19日（土）

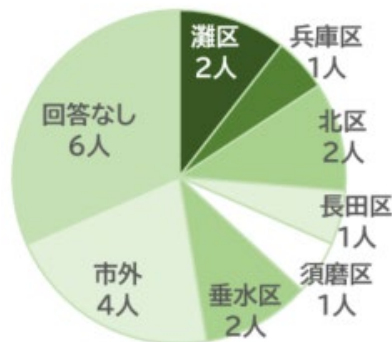
場 所：ふたば学舎（長田区）※こうべ環境博覧会『かんぱく』2024』で開催

参加者：19名

【年代】



【居住地】



主な意見・アイデア（抜粋）

①暮らしの中で「神戸の環境」について感じていること（海や川、山や森、まちなかの環境など）

- 海や湖の色がきれいになった
- 山や公園で竹林が広がっている
- 車の音が静か
- 法制定・整備が進んだ
- 企業の意識が変わってきた
- 繁華街はよくごみが落ちている
- ハトやカラスが多い
- 山の動物が街に来る

②環境にまつわる活動に参加することになった理由

- 子ども達に豊かな環境を引き継いでもらいたい
- 住んでいる須磨の自然を楽しみながら守りたい
- 神戸の街をフィールドワークした時、ぽい捨てされたごみをたくさん目にしたから
- ボランティア大好き
- 祖父が口すっぱく環境問題について言っていたから
- 大学のゼミ活動

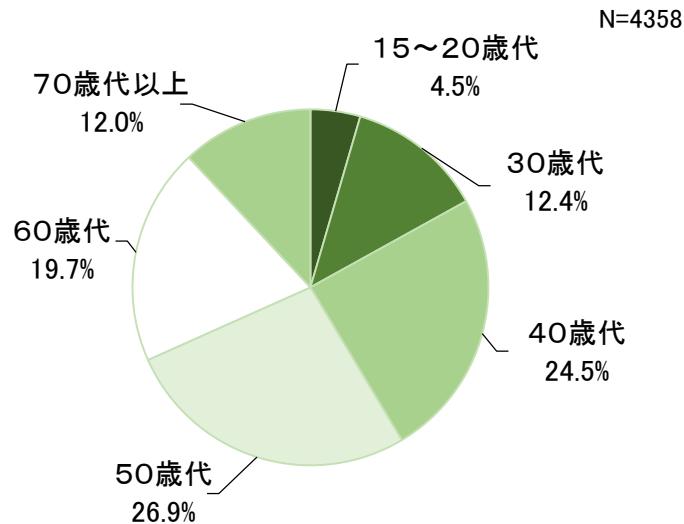
③よりたくさんの方が環境活動に参加するためのアイデア

- 環境にまつわる活動を増やす期間（1週間）を設ける
- お祭り、学祭みたいなイベントにする
- BBQやキャンプ等のイベントで環境にまつわる活動にも参加してもらう
- （イベントで）グッズやお土産をもらえるようにする
- 小学校などで社会問題を取り上げた授業を増やして意識づけする
- もっと人目につくところに広告を出す
- SNSをもっと利用する

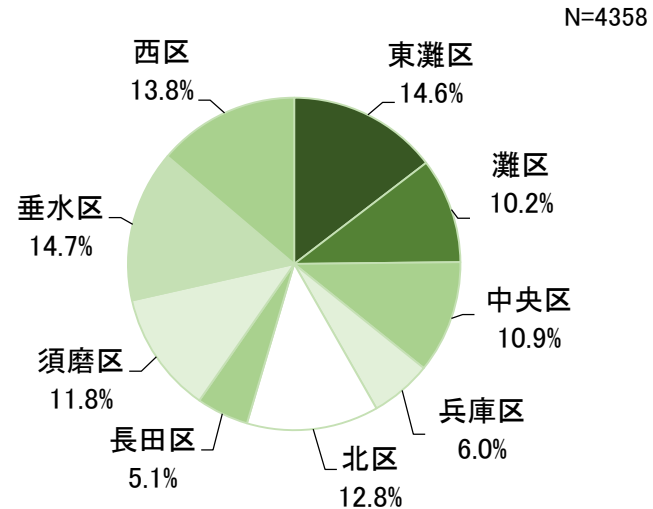
市民アンケート① 環境施策について

調査期間	2024年10月1日（火）～10月14日（月）
設問数	全6問
調査対象	神戸市ネットモニター9,976名
回答者数	4,358人（43.7%）

【年代】



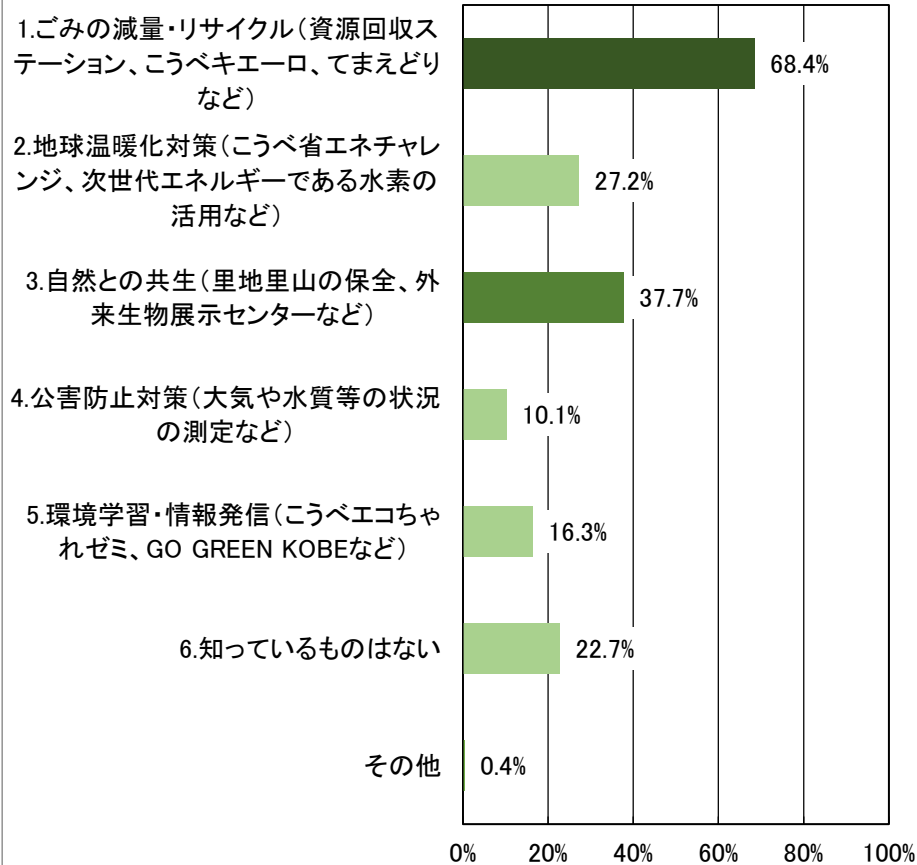
【居住地】



市民アンケート① 環境施策について

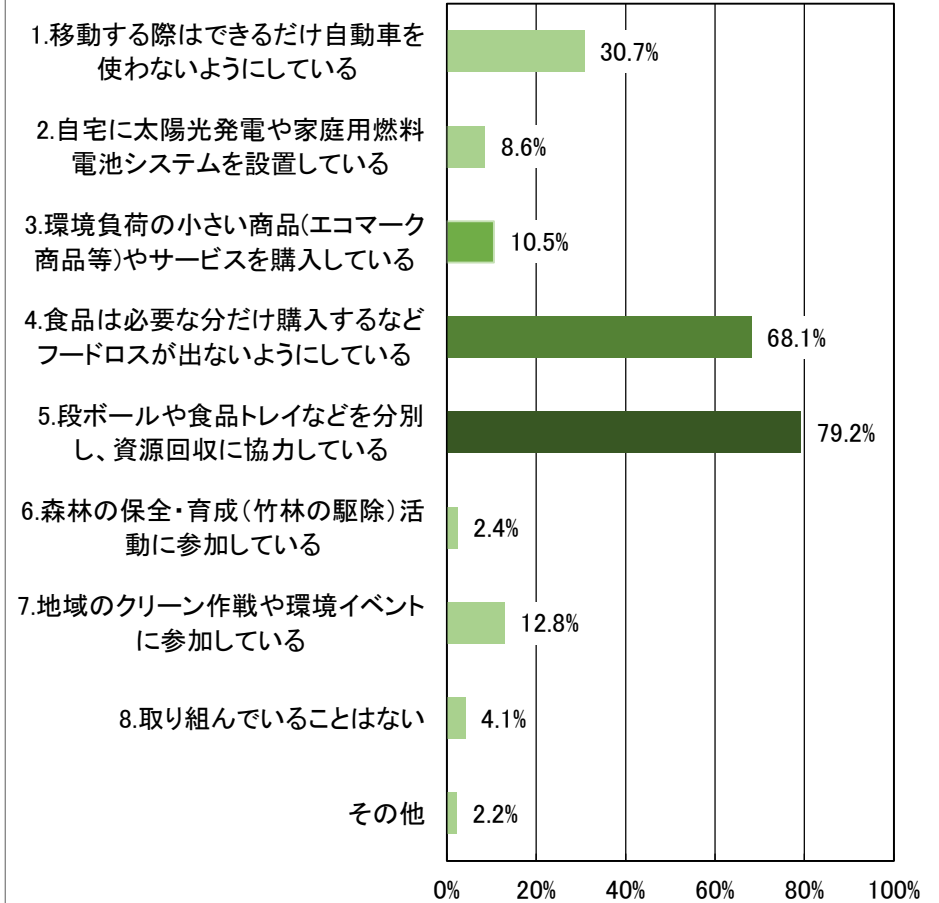
問1
神戸市の環境に関する取り組みで知っているもの（複数回答）

N=4358



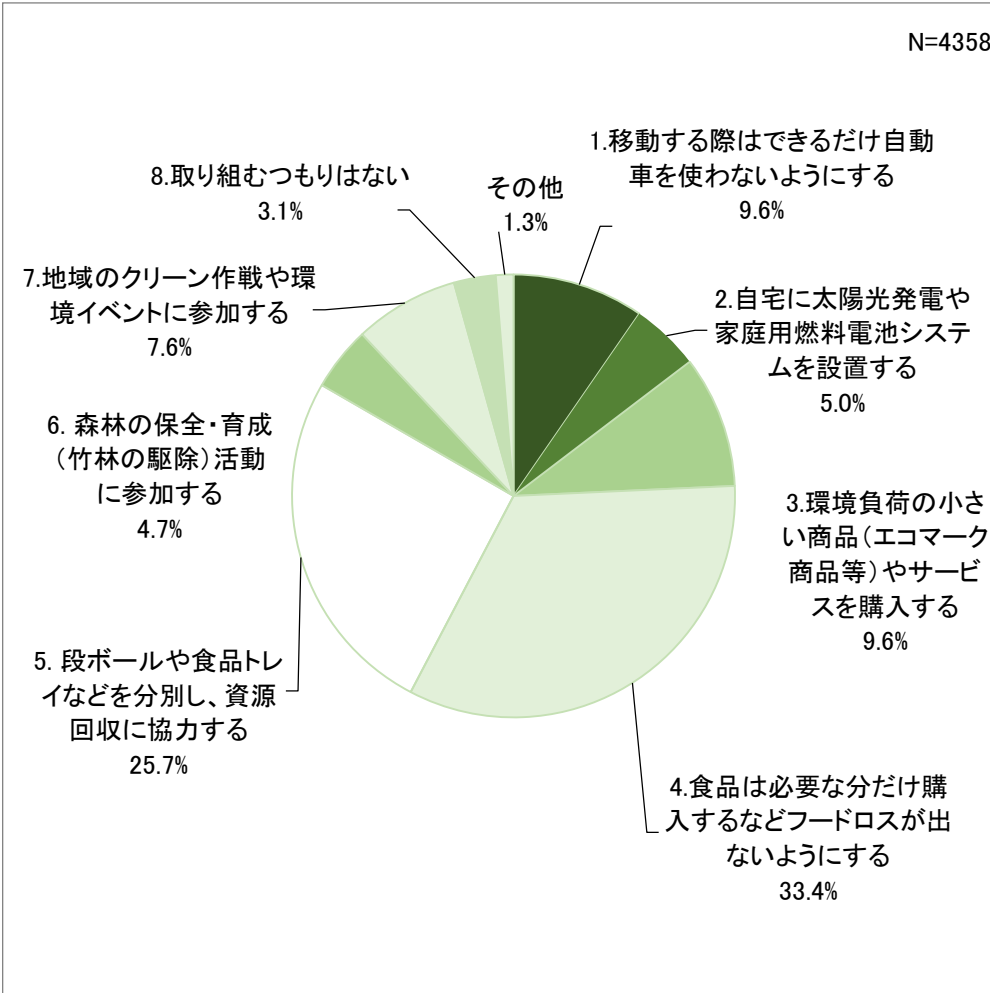
問2
日頃生活の中で環境のために取り組んでいること（複数回答）

N=4358

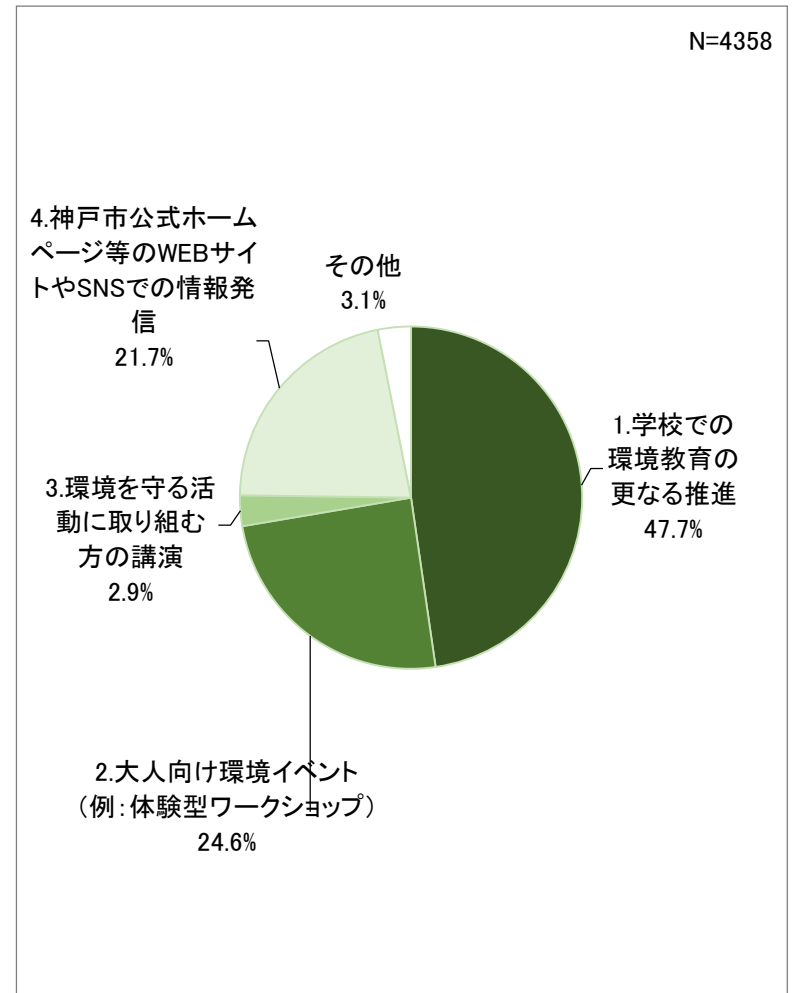


市民アンケート① 環境施策について

問3
 今後、生活の中で環境のために最も取り組みたいと思うこと
 (単一回答)



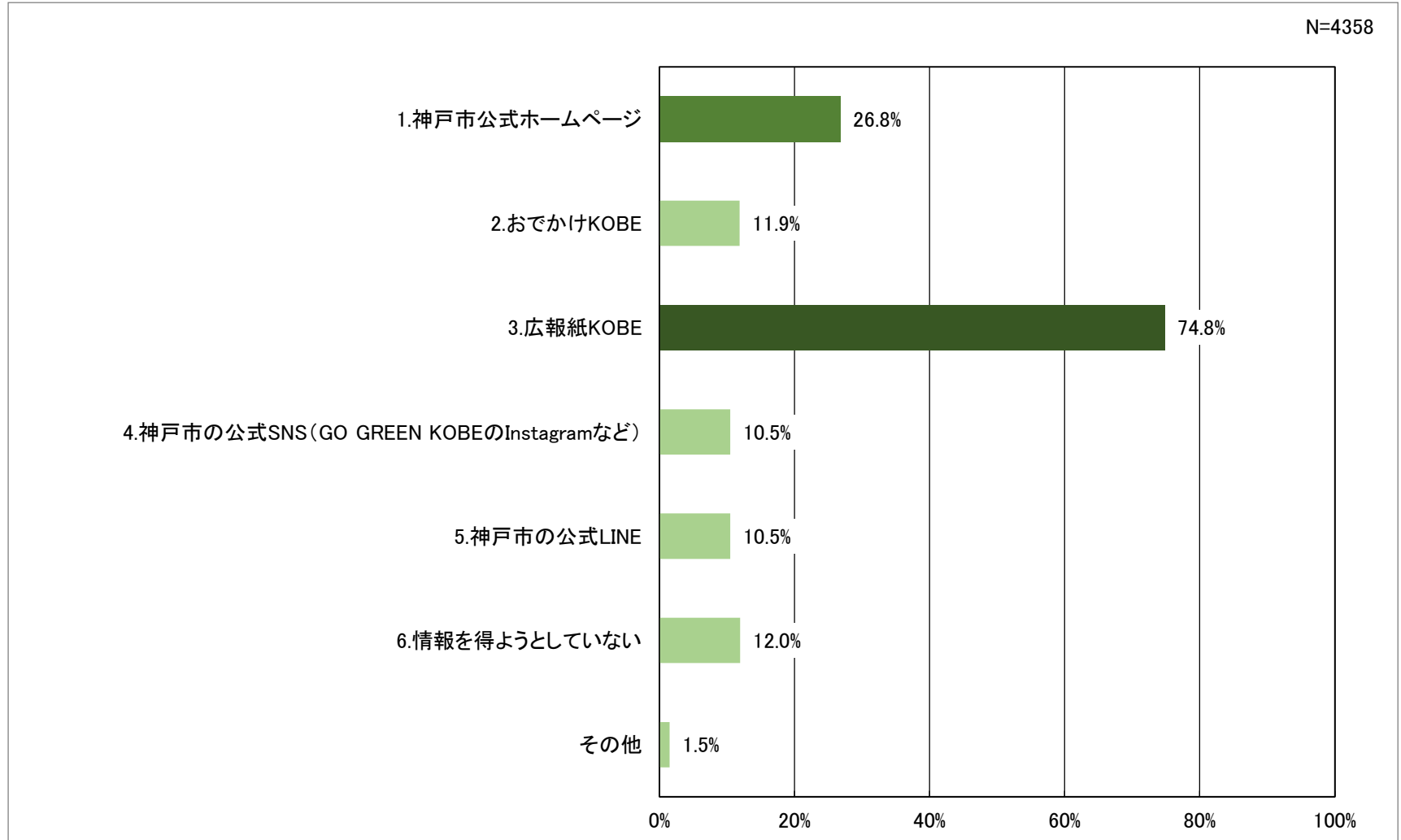
問4
 神戸市の環境を守る活動に取り組む人材を育成するために、最も必要だと思うこと (単一回答)



市民アンケート① 環境施策について

問5

神戸市の環境イベントや環境問題に関する情報をどのように得ているか（複数回答）



市民アンケート① 環境施策について

問6

神戸市の環境における将来像や環境マスタープランについての自由意見（抜粋）

将来像に関するコメントで多かったものを抽出

1. ごみの分別とリサイクルの強化

ごみの分別収集の取組強化と結果の開示、リサイクルしやすい環境の整備

2. 教育と啓発活動の充実

学校教育や広報を通じたごみの出し方や環境教育の充実、子どもたちへの環境教育に力を入れる

3. 公共交通機関の充実

車よりも電車やバスが便利になるような政策、市営地下鉄やバスの価格を下げ路線や本数を増やす

4. 自然災害対策

環境保全と併せて地震や水害などの自然災害へも積極的に取り組む

5. 市民参加型の活動

市民参加型の清掃活動やイベントの実施、ボランティア活動の推進とインセンティブの提供

6. 緑地帯の整備

街中にオアシス的な緑地帯の整備、街路樹や公園の緑化推進

7. 再生可能エネルギーの推進

太陽光発電や風力発電の導入、新エネルギーの開発と普及

8. 環境に優しい交通手段の推進

自転車道の整備やレンタサイクルの支援、電気自動車や水素バスの普及

9. 地域特性を活かした環境保全

海や山の清掃活動の推進、地域ごとの特性を活かしたゼロカーボンの取り組み

10. 受動喫煙防止

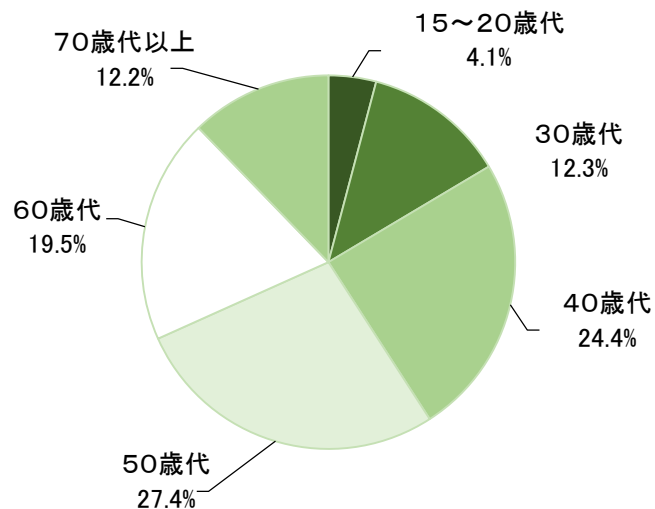
市内全域での歩きタバコ禁止、ポイ捨て防止のための取り組み

市民アンケート② ごみ施策について

調査期間	2024年11月15日（金）～11月28日（木）
設問数	全7問
調査対象	神戸市ネットモニター10,022名
回答者数	4,389人（43.8%）

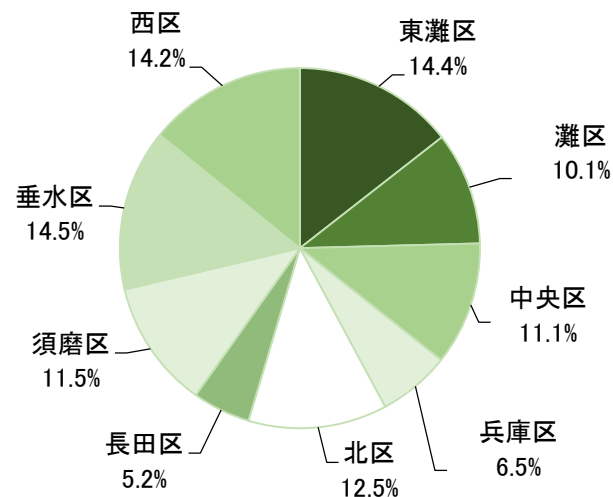
【年代】

N=4389



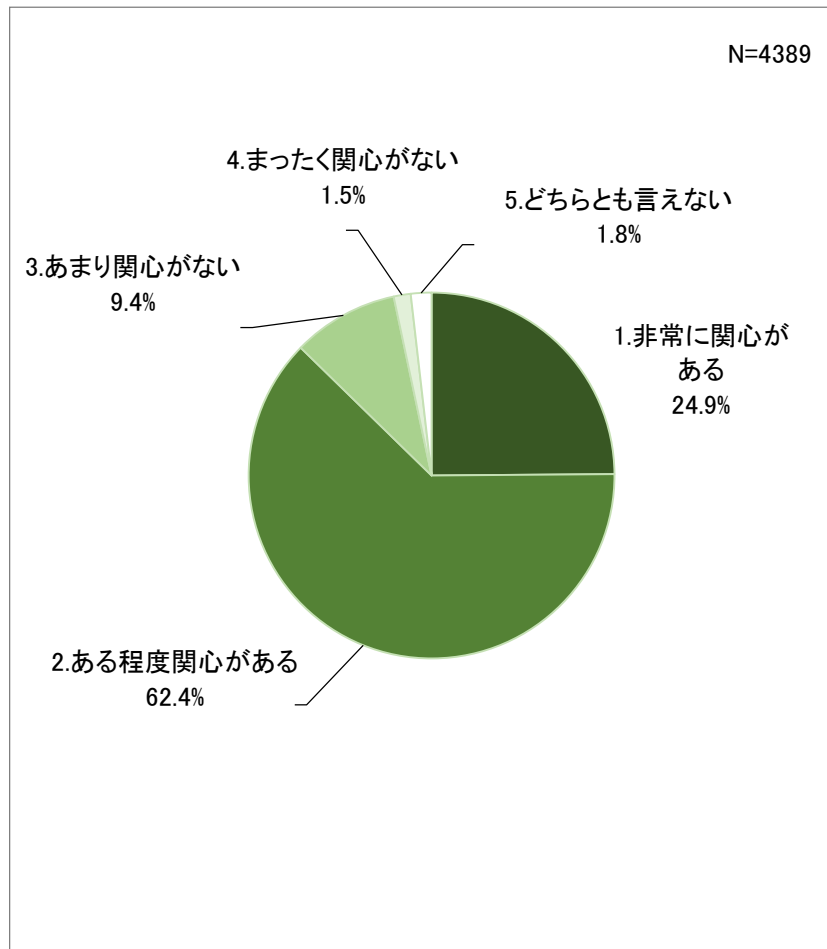
【居住地】

N=4389

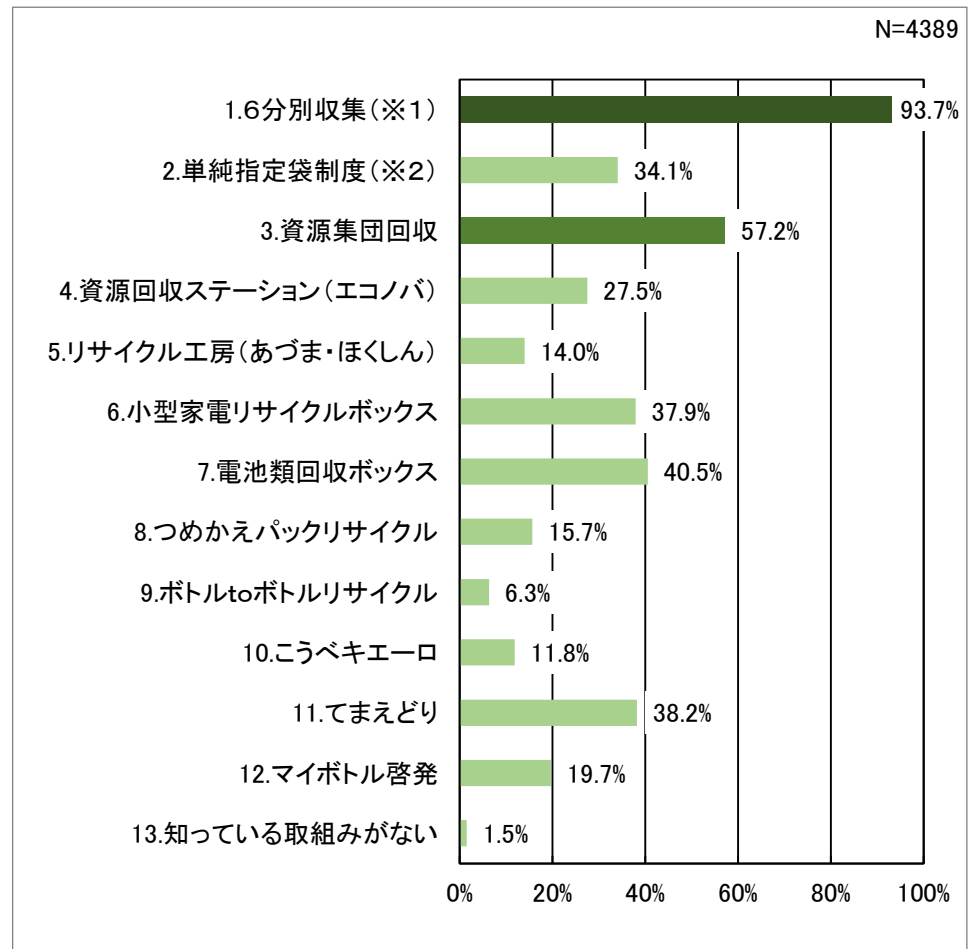


市民アンケート② ごみ施策について

問1
ごみの減量と資源化の関心について（単一回答）



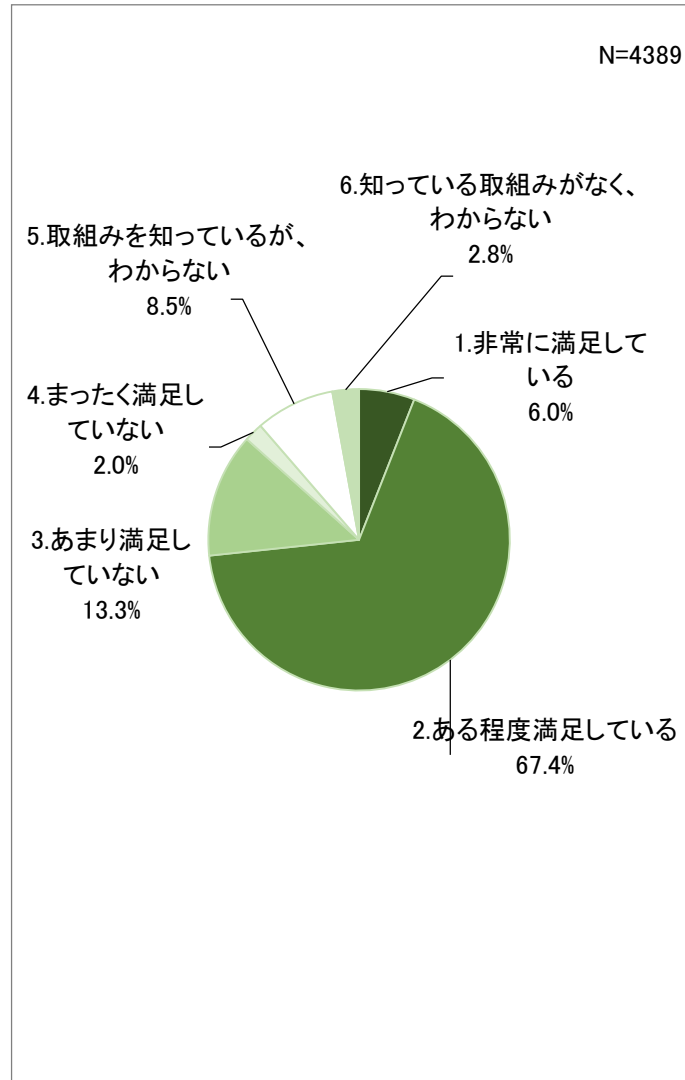
問2
ごみの減量と資源化について市の取り組みで知っているもの（複数回答）



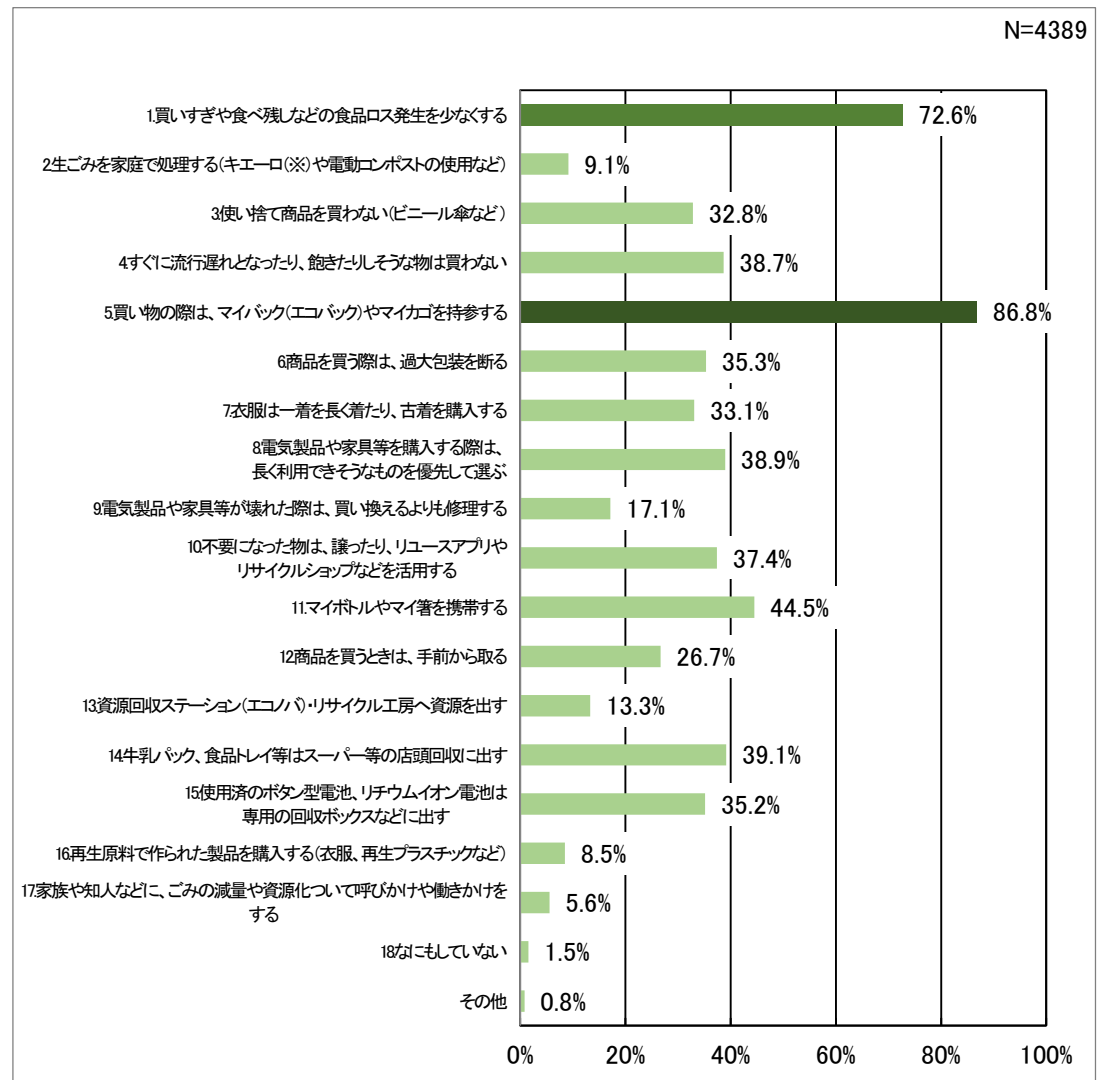
※1 燃えるごみ、燃えないごみ、大型ごみ、容器包装プラスチック、缶びんペットボトル、カセットボンベ・スプレー缶
 ※2 本市のごみ袋の価格には、ごみ処理費用は含まれておらず、いわゆるごみの有料化ではないこと

市民アンケート② ごみ施策について

問3 神戸市の取り組みへの満足度（単一回答）



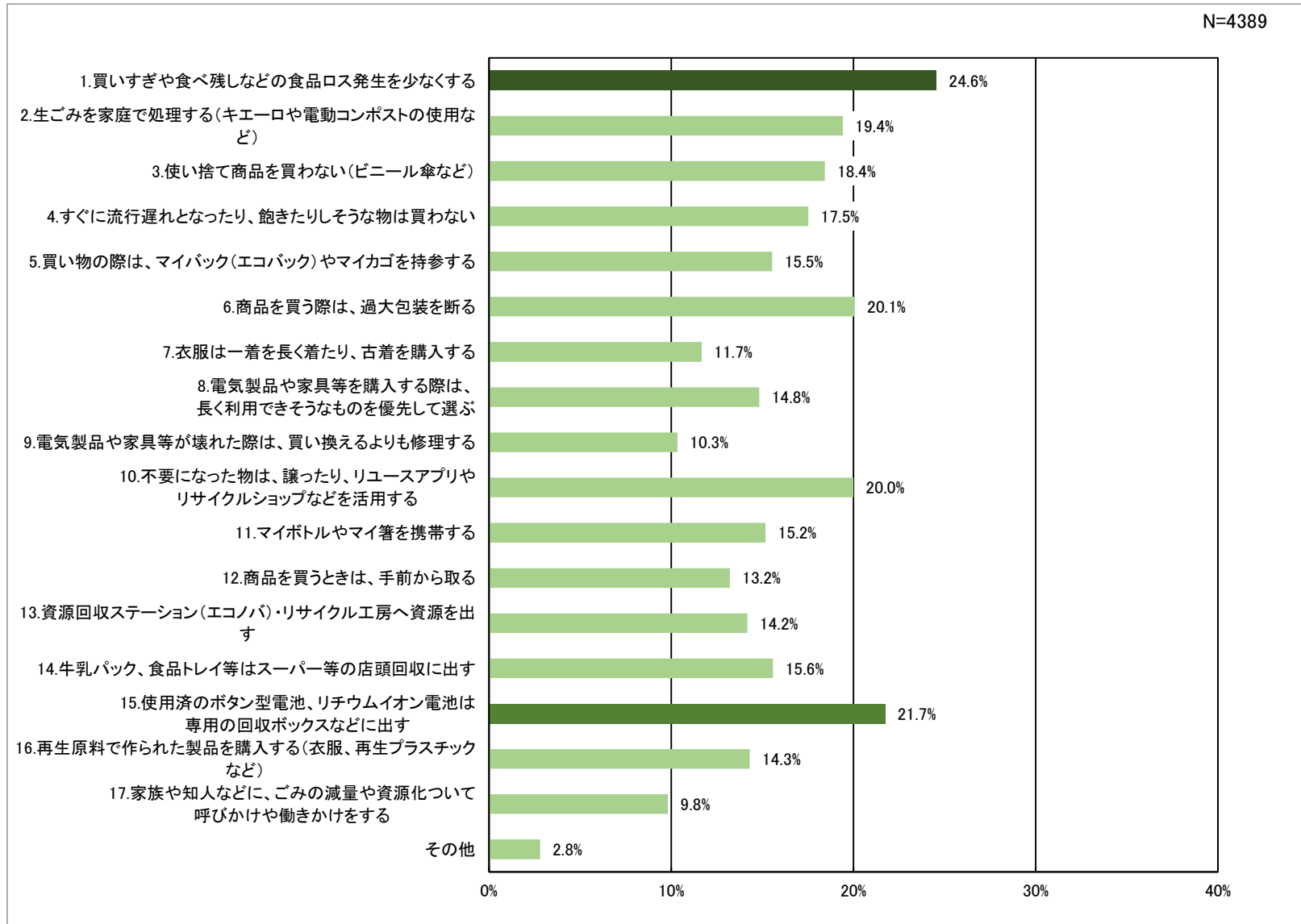
設問4 ごみの減量と資源化について、日常的に取り組んでいること（複数回答）



市民アンケート② ごみ施策について

問5

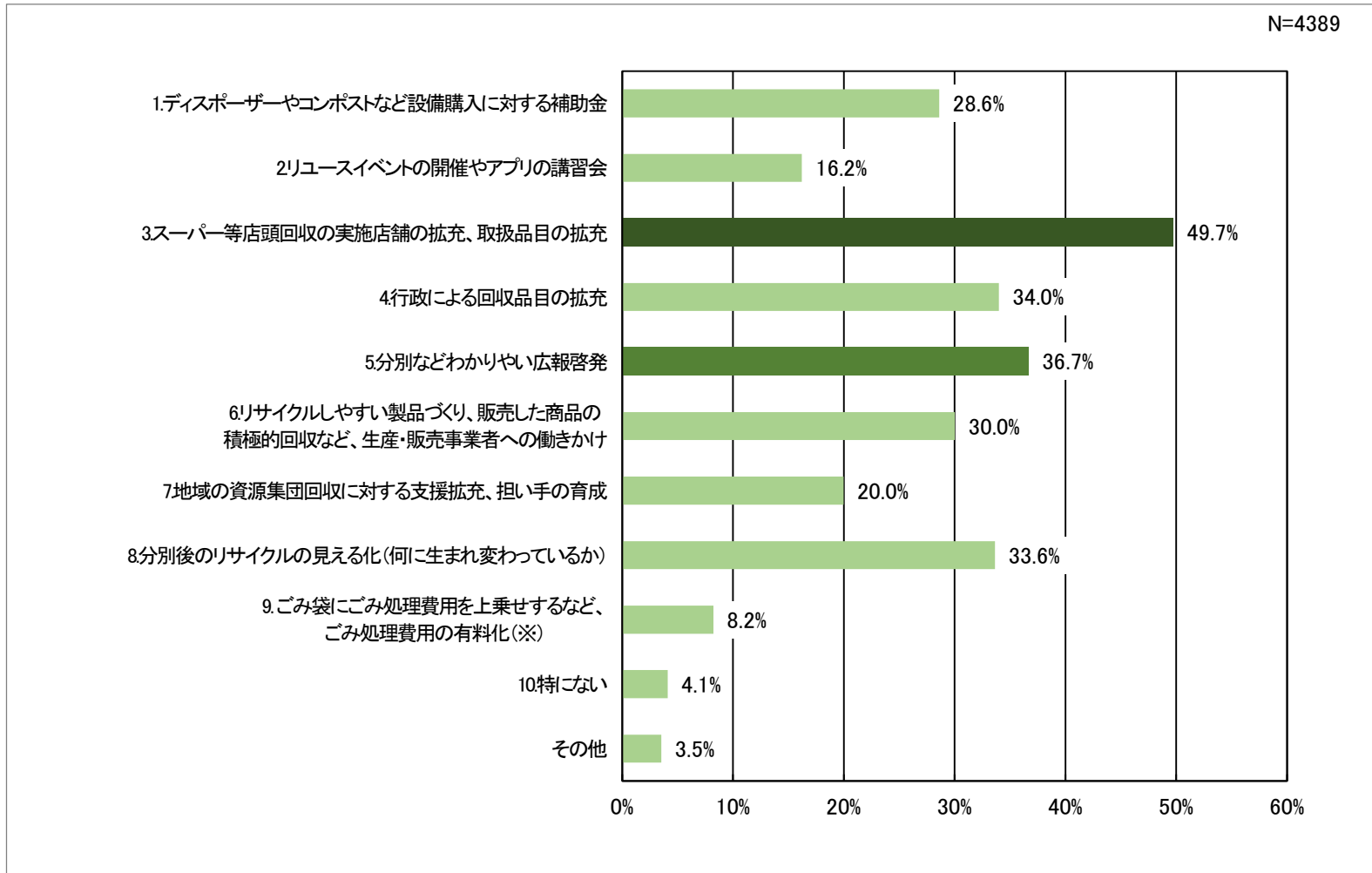
ごみの減量と資源化に今後、取り組みたいと思うもの（複数回答）



市民アンケート② ごみ施策について

問 6

ごみの減量と資源化に、より一層取り組むために必要な行政の取り組み（複数回答）



(※) 神戸市の家庭ごみ袋の代金には、焼却や運搬などの処理費用は含まれていない

市民アンケート② ごみ施策について

問7

ごみの減量と資源化等についての自由意見（抜粋）

1 回収・分別

- 捨て方が分かりにくいものが多いので、販売店には回収にも積極的に取り組んでほしい。
- 「おいくら」のように市と事業者が連携した使いやすいツールを提供してほしい。
- 資源回収ステーションやリサイクル工房はもっと身近な場所、行きやすい所を作って欲しい。
- 捨てられたベビー用品を修理、清掃し、貸出しするサービスなど、子育て支援の観点から取り組んでほしい。
- 近くのごみステーションは燃えるごみのみなので、その他のごみも同じ場所で回収してほしい。
- 何かを買うと包装プラスチックごみが発生してしまう。どうにかしなければと思うが、個人では解決が難しい。
- 神戸市も容器包装プラスチック以外のプラスチックを回収してリサイクルにまわすなどの働きかけが必要。
- ごみ袋に処理費が乗ることで分別しなくていいのならばたかないと考える自分も納得する施策があれば、ぜひ協力したい。
- 循環型社会の実現のため、ごみをコストではなく資源としてとらえ、ビジネス化していくのが望ましい。市民の意識改革も必要だが、根本的には技術的課題であり、イノベーションを促進するような行政の施策を期待。

2 ごみ袋・有料化

- 市の指定袋は色々種類があるが、袋を買おうとしても、限られた袋（リットル）しか置いていない店が増えている。特に小さな袋を置いてほしい。
- スーパーやコンビニで会計時に販売している持ち帰り袋を、市のごみ袋に使用できるようにしてほしい
- 処理費用も有料となれば、無駄なごみを出さないように気を付けるようになるかもしれない。本当に必要であるならば有料にしても構わない。

3 広報啓発

- このアンケートをきっかけに初めて知った施策がたくさんあった。周知徹底していくことも大事。
- どこまでごみが減ったのか、どれくらい金額がかかっているのか等の達成感や満足感または危機感を感じられるよう、ごみの現状をもっと詳しく知りたい。
- ごみがどうなって、どんなものに生まれ変わるのか、処理されるのかが、わかりやすく知るシステムがほしい。ごみ袋に処理費用がかかっても、次世代に繋ぐ、息の長いシステム作りが必要。

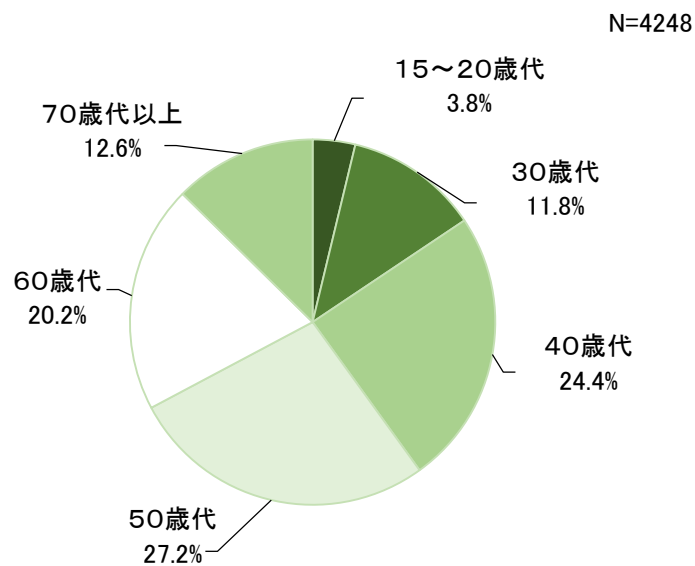
4 その他

- リサイクル・フリーマーケットなどのイベントを企画してほしい。
- 家庭内廃油の回収など、現在回収されていない物で新しく回収できるような企画を立案してほしい。

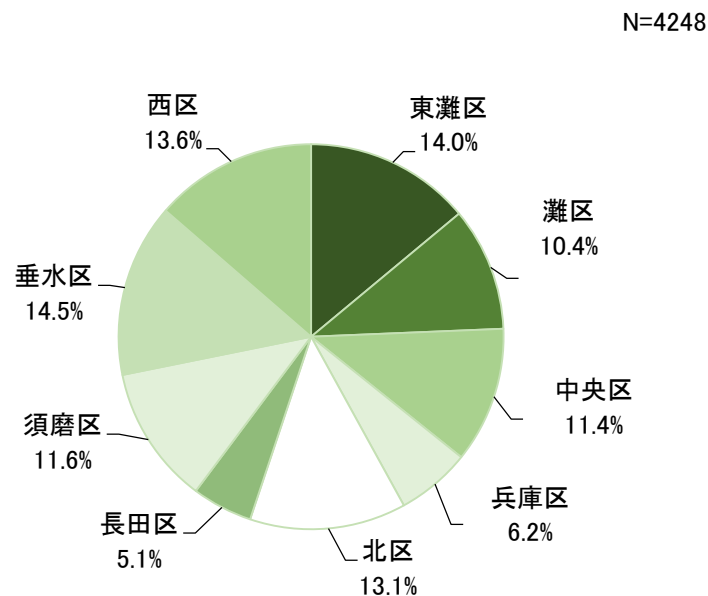
市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査

調査期間	2024年11月15日（金）～ 11月28日（木）
設問数	全 8 問（分岐設問除く）
調査対象	神戸市ネットモニター10,026名
回答者数	4,248人（42.8%）

【年代】



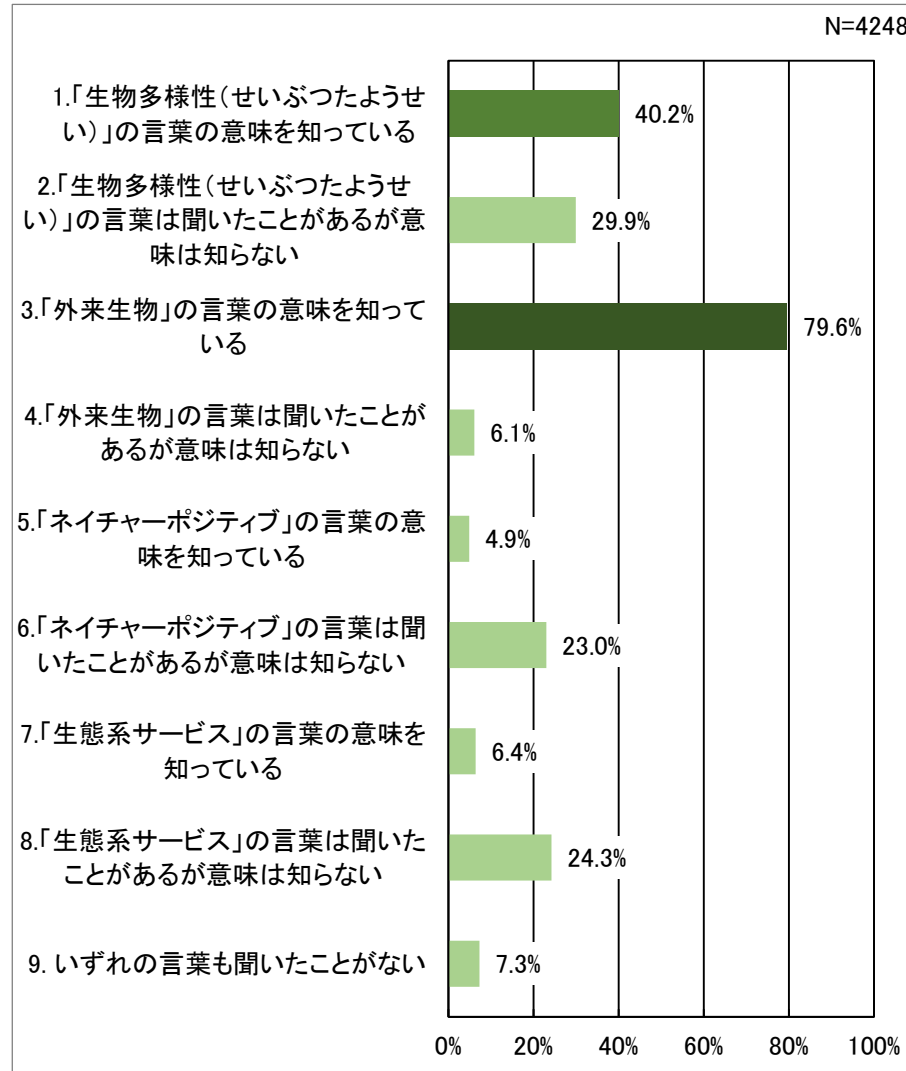
【居住地】



市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査

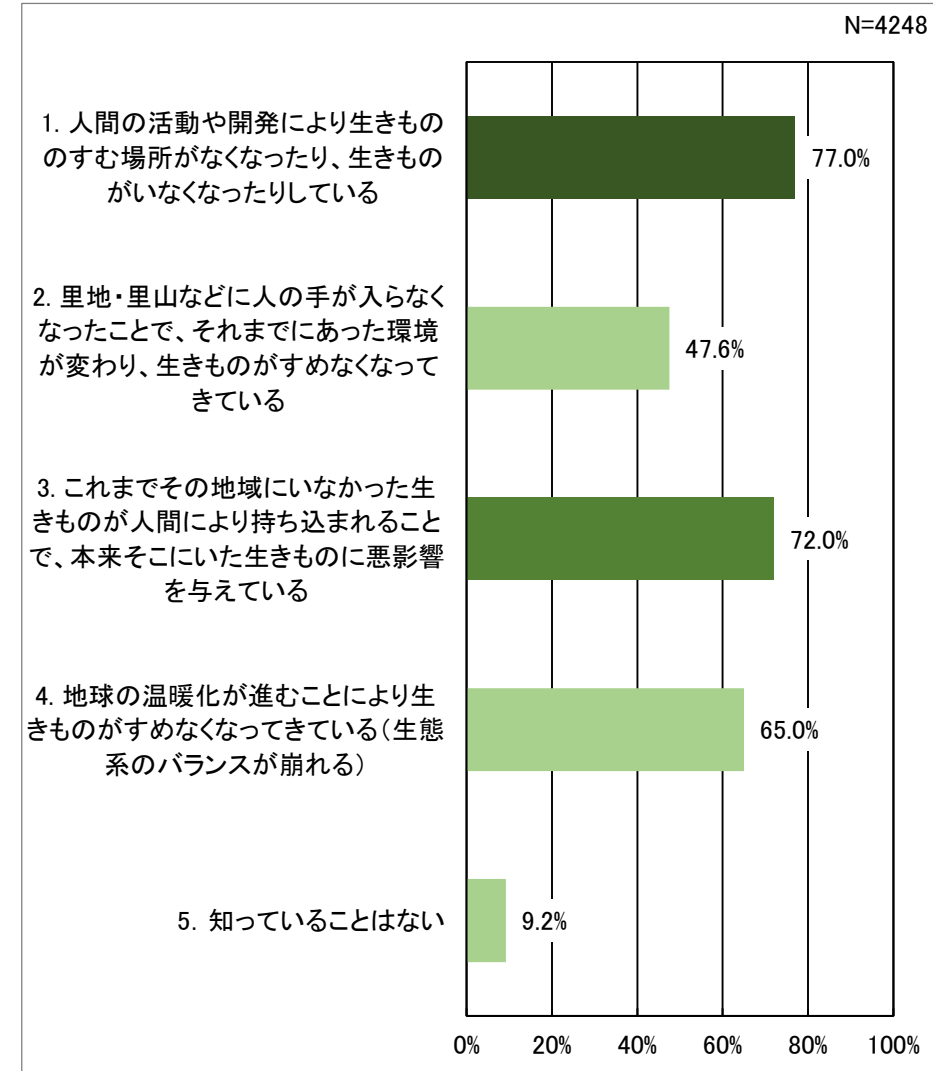
問1

次の言葉を知っていますか（複数回答）



問2

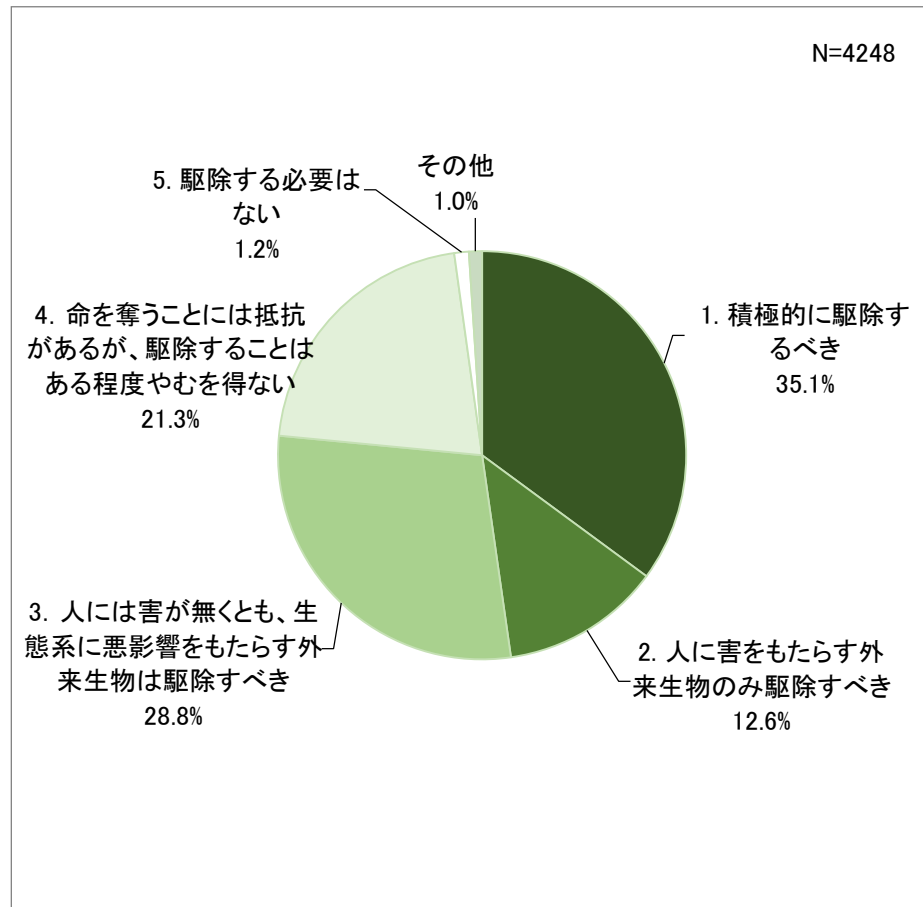
生物多様性の減少原因とされていることについて知っていること（複数回答）



市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査

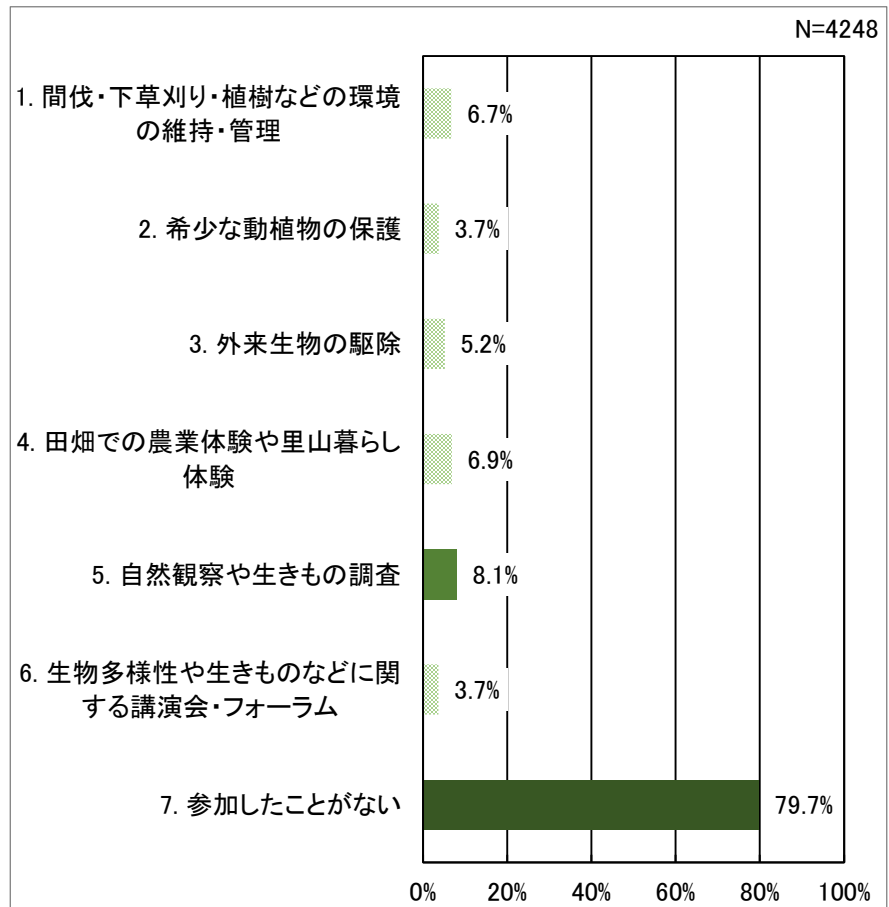
問3

神戸市は外来生物の駆除に取り組んでいますが、生態系や人、農作物に被害をもたらす外来種などを駆除することについてどう思いますか（単一回答）



問4

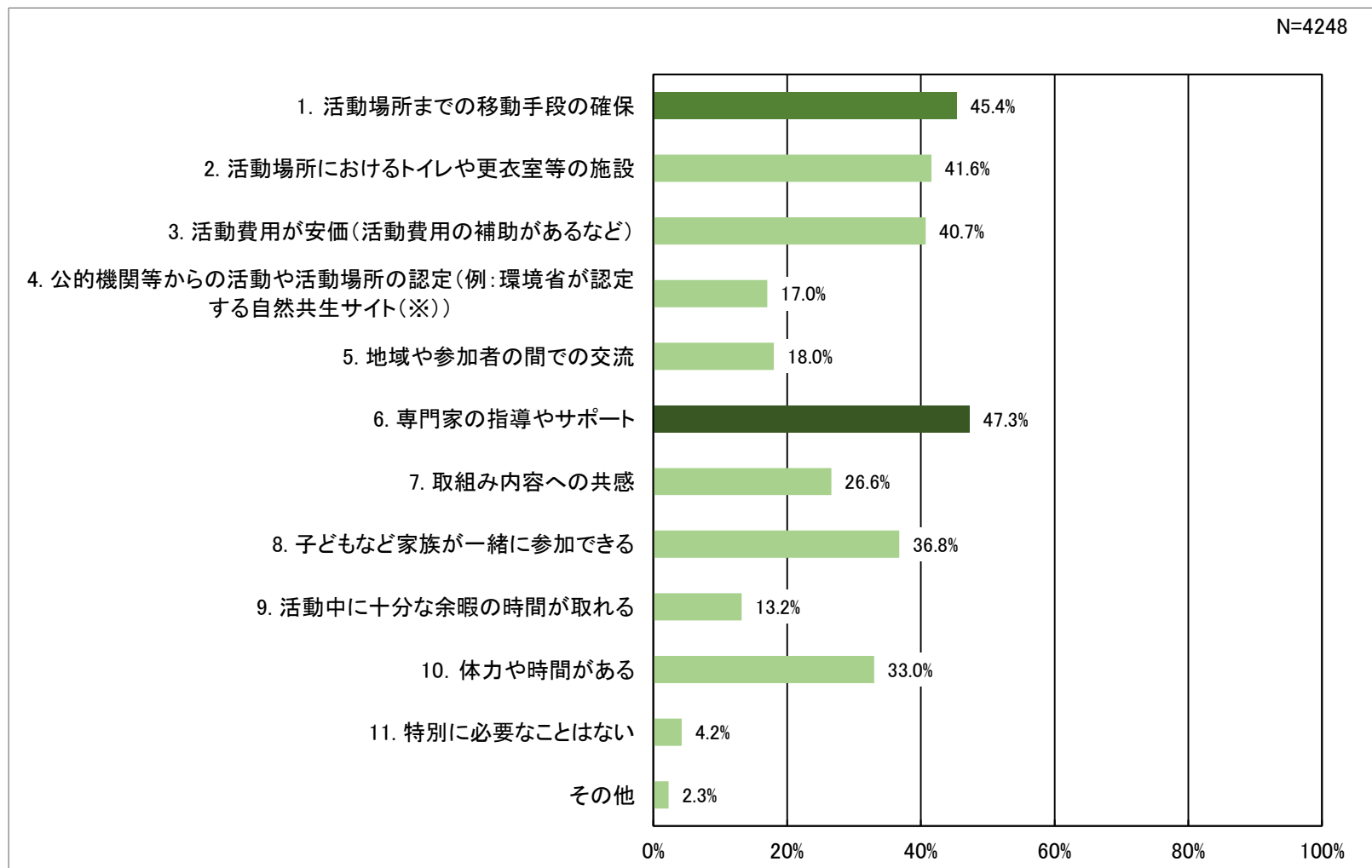
神戸市や市民団体などが企画・募集する、生きものや自然環境を対象にした保全活動またはイベントなどに参加したことがありますか（複数回答）



市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査

問5

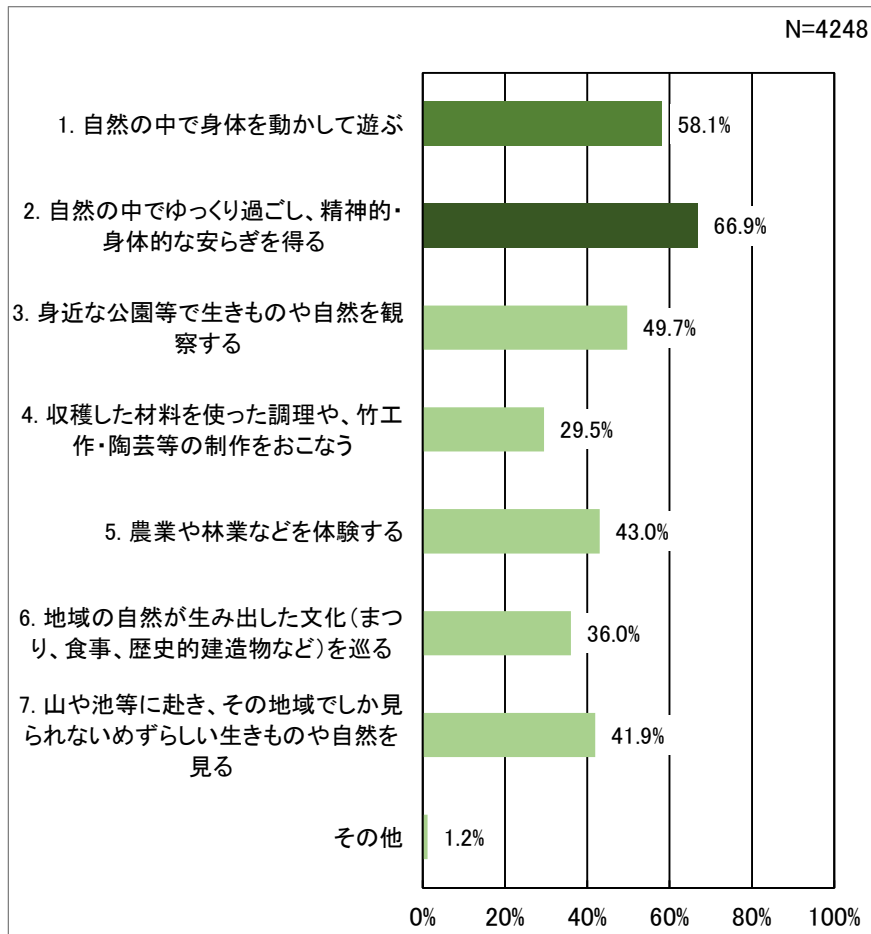
生きものや自然環境を対象にした保全活動を実施（参加）するにあたり、特に何が必要と思いますか（複数回答）



市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査

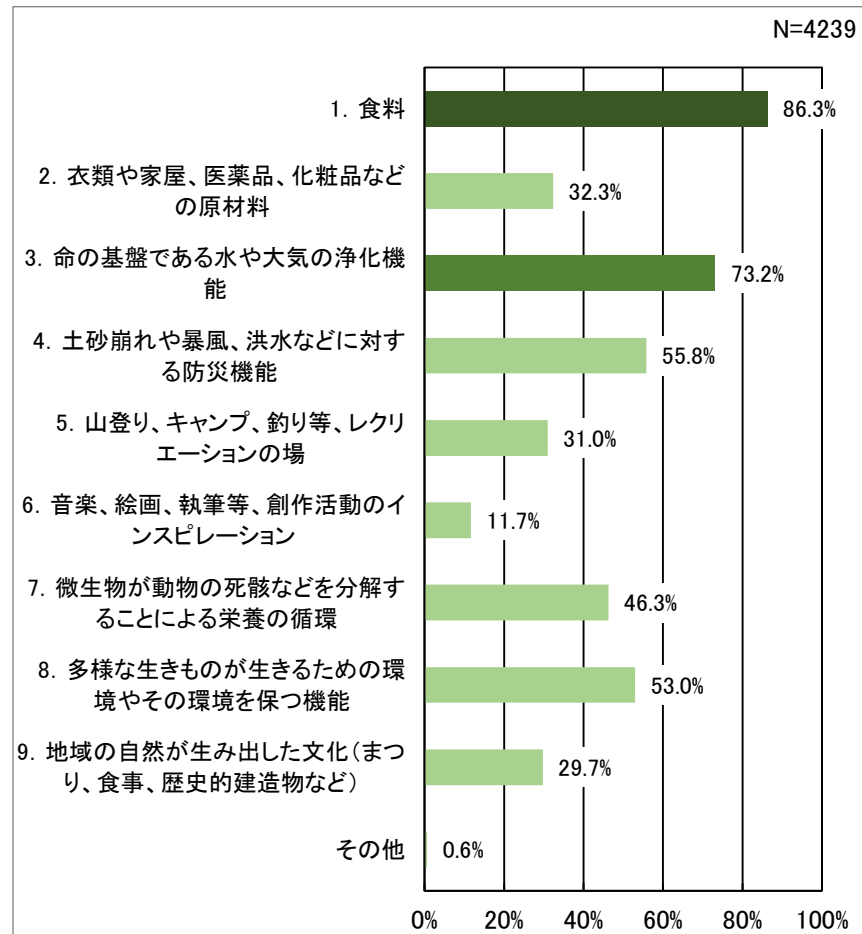
問6

あなた自身や次の世代にとってどのような自然体験が大切だと思いますか（複数回答）



問7

私たちの生活は、自然や生きものから得られるいろいろな自然のめぐみ（自然から得られる恩恵や資源など）で成り立っています。あなたが大切に思う自然のめぐみを教えてください（複数回答）



市民アンケート③ 神戸市の自然や生きものへの意識調査

問8

神戸市の生物多様性の取り組みについての自由意見（抜粋）

1. 神戸市の取り組みの認知

- 神戸市が生物多様性のために行っている活動を全く知りませんでした。
- どんな取り組みをしているのかはよく知りませんでした。
- SNSや街中の案内板などでの積極的な広報をして取り組みを知らせてほしい
- もっと広報をして欲しいです。

2. 自然保護と開発のバランス

- これ以上の開発による自然破壊を抑制してほしいです。
- ソーラーパネル設置によって壊されている自然と、居なくなる固有生物があります。
- 自然を大切にするなら、まず太陽光パネルや風力発電で今ある自然環境を破壊するのをやめるのが先決だと思います。
- 無闇に森林を切り開くようなことが、あってはならないと思います。

3. 市民参加と教育

- 市民も巻き込んで活発に実施すべき。
- 気軽に参加できるイベントや展示などがあると嬉しいです。
- 学校の授業にもっと積極的に取り入れる。
- 生物多様性について、子供達が幼稚園年長さんくらいから、義務教育終了くらいまでの期間、年齢に応じた学べるカリキュラムの整備と教育の実施検討をいただきたい。

4. 外来種の駆除と管理

- 外来種の駆除に力を入れて取り組んで貰いたいものです。
- 捕まえたらクーポンや商品券などの、達成感の味わえるものがあれば、家族みんなで参加できて楽しくできると思います。
- 外来種の命を取らなくても共存できる知恵や施設一般の方が参加しやすい外来種講義とかして欲しい。

5. 自然体験と地域活動

- 自然の中で遊ぶことができにくくなって来ているので遊びから学べることを推奨させた方が良くと思う。
- 地域で放置竹林の整備が出来ると防犯対策になるのではないのでしょうか。
- 地域で取り組めるよう、行政の積極的な助成が必要と思います。

6. その他の意見

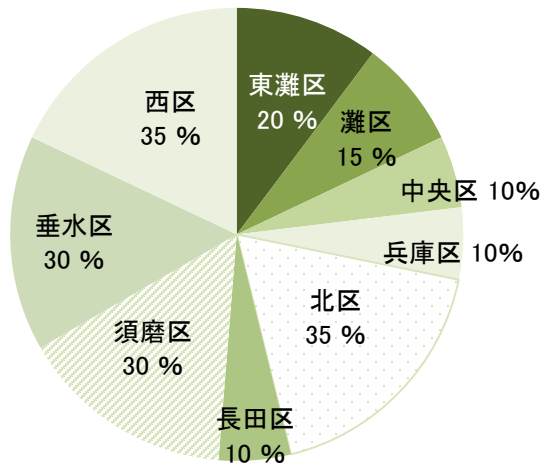
- 自然を大切にしてほしい。神鉄沿線でダム設置途中で放置されている場所が気になります。このようなことがある一方で、自然を大切に...と言われても矛盾を感じます。
- 自然を大切にするなら、まず太陽光パネルや風力発電で今ある自然環境を破壊するのをやめるのが先決だと思います。
- 外来種の魚を釣ったら引き受けてくれるお店が協力店として有り、協力店も釣った人もメリットがあるような仕組み。目的は釣った外来種をリリースしないこと。
- 外来生物のクビアカツヤカミキリの駆除のために、地域の住民を巻き込んで協働作業をどんどん推進して欲しいです。

市民団体アンケート

調査期間	2024年10月28日（月）～ 11月22日（金）
設問数	全10問
調査対象	市内で環境活動を行っている45団体
回答数	20団体（44.4%）

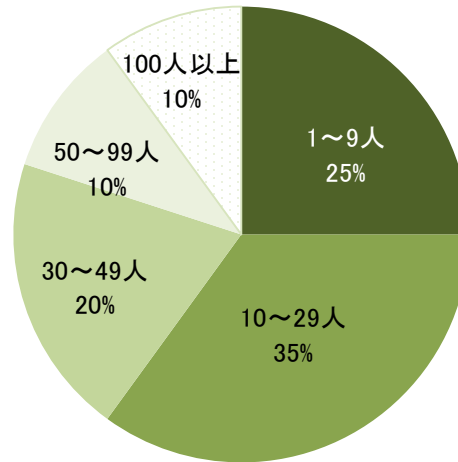
【主な活動エリア】

N=20



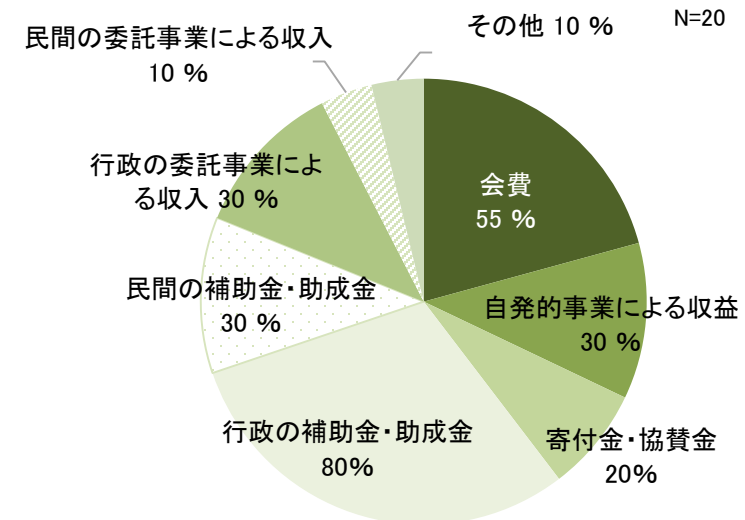
【会員数】

N=20



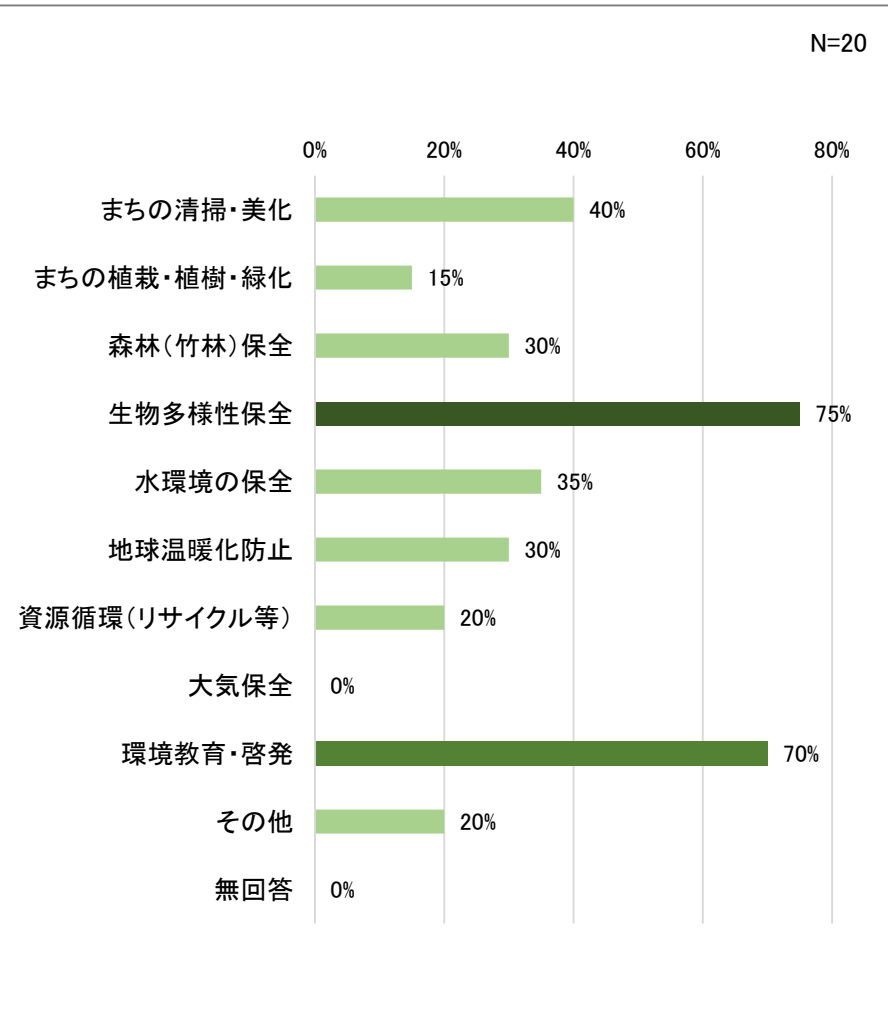
【主な活動資金】

N=20

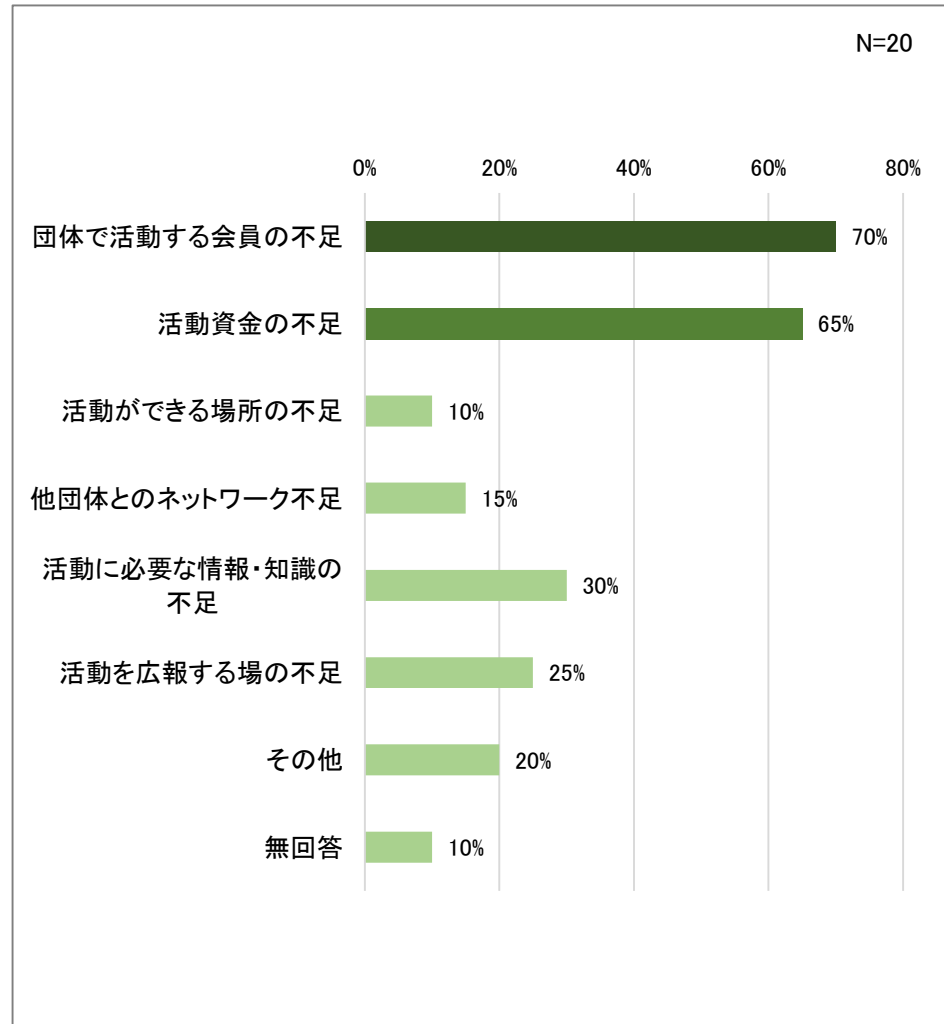


市民団体アンケート

問1 団体の活動内容（複数回答）



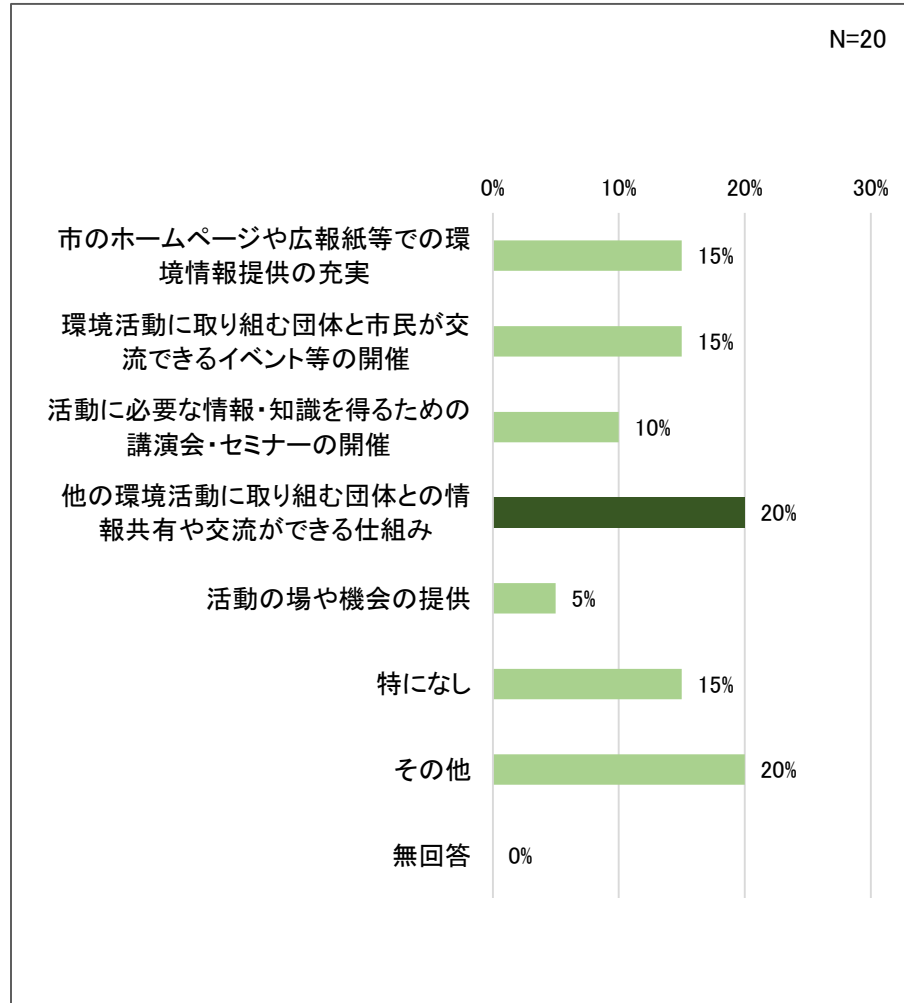
問2 活動における課題（複数回答）



市民団体アンケート

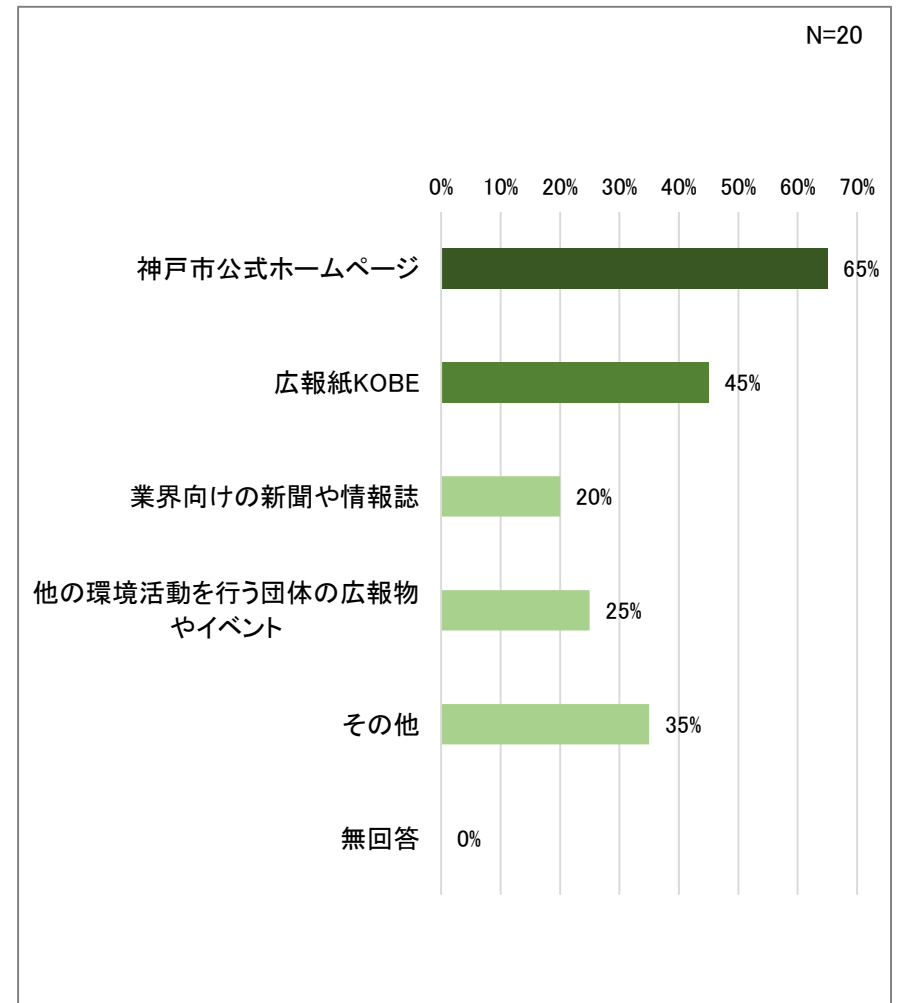
問3

活動に取り組む中で市に求めるもの（単一回答）



問4

環境に関する情報や知識を入手するツール（複数回答）



市民団体アンケート

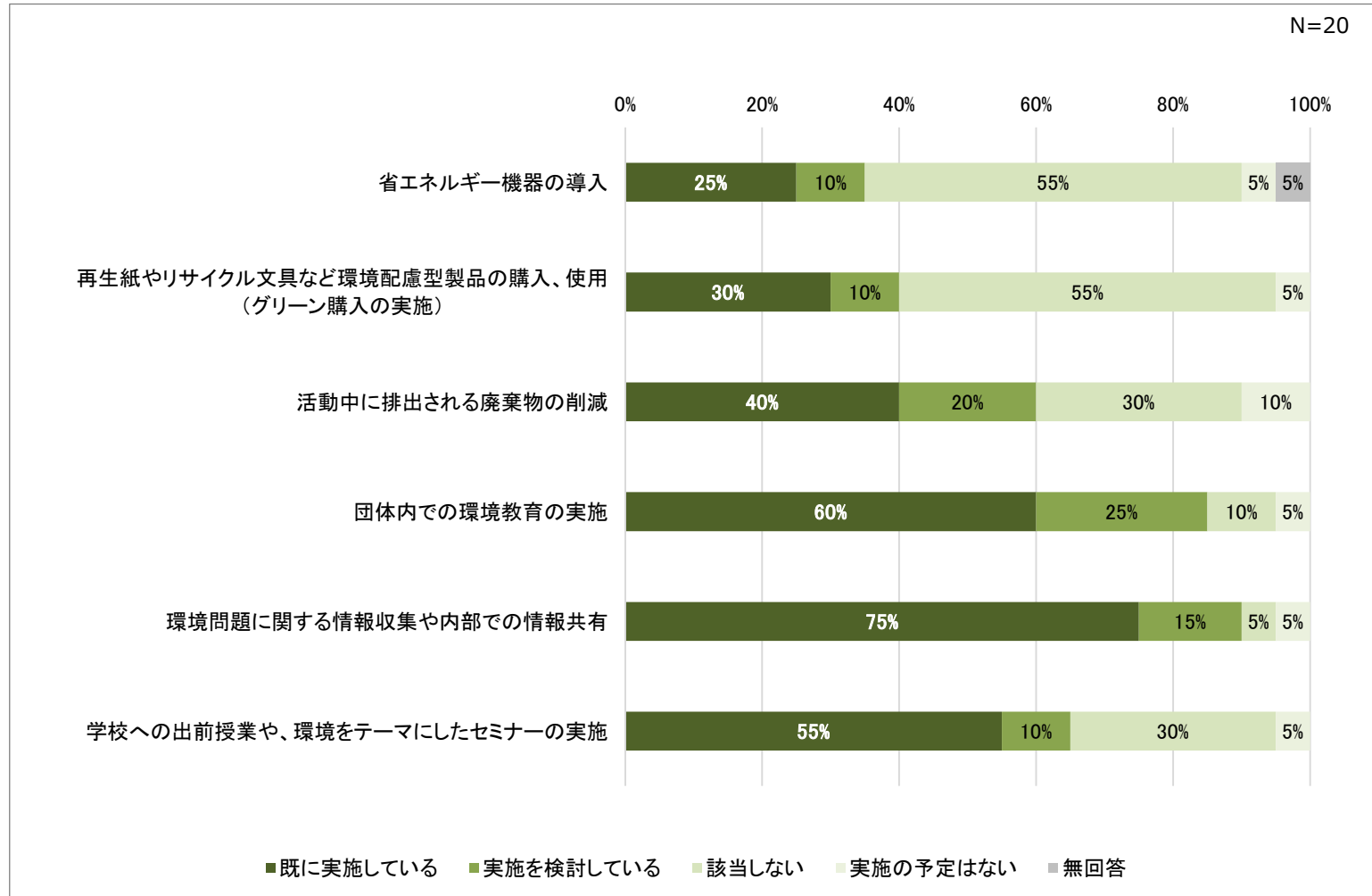
問5

今後の団体活動の中で取り組みたい内容（自由記述）

分類	自由回答（主なものを抜粋）
再エネ	<ul style="list-style-type: none">・ PPAモデルを活用し、自家消費型太陽光発電の普及支援・ 六甲川水車新田小水力発電所の森内でのグリーンウッドワーク開催・ ゼロカーボン事業（事業者ではなく家庭で行える活動）。子育て世代にも普及して、子ども達にも理解してもらえる取り組み。
環境保全	<ul style="list-style-type: none">・ ごみ拾い探鳥会・ 池で生息する生き物の調査および渡り鳥の調査・ ため池等貴重な水辺環境の保全・活用、次世代を担う子ども達の育成を目指した活動 等
環境学習	<ul style="list-style-type: none">・ 地元小学校への環境学習支援の拡大・ 地域住民の意識向上、啓発活動の充実・ 市民の方々に対して団体の活動を周知する活動
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 活動に関わる仲間作りのための講座、広報活動・ 現在取り組んでいる活動の成果を得ることが最優先・ ごみについて

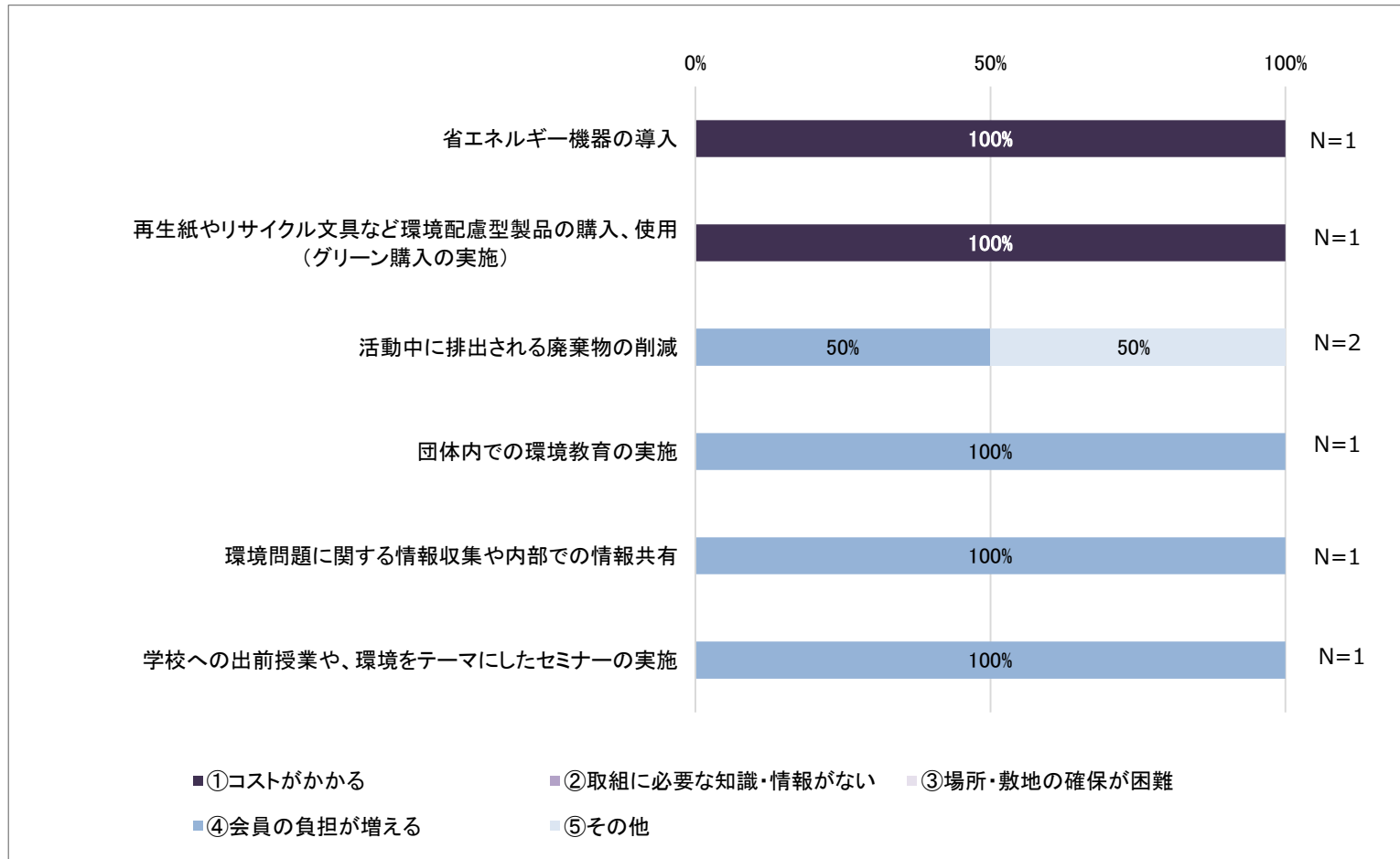
市民団体アンケート

問6 環境に配慮した取り組みの実施状況（単一回答）



問6

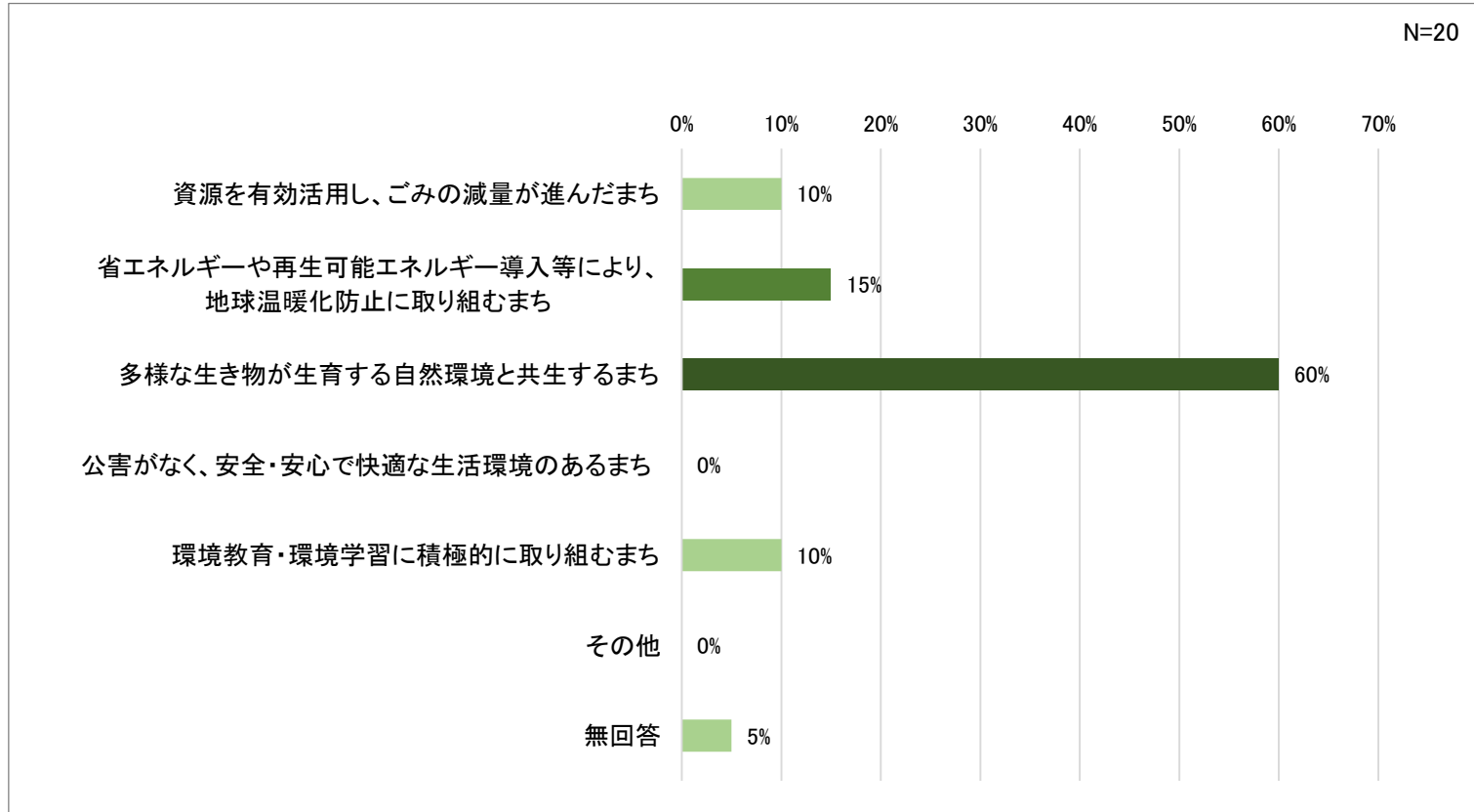
環境に配慮した取り組みの実施状況のうち、実施の予定がない理由（複数回答）



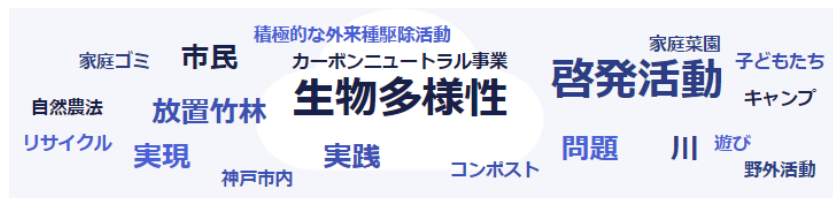
市民団体アンケート

問7

望ましいと思う将来の都市像（単一回答）

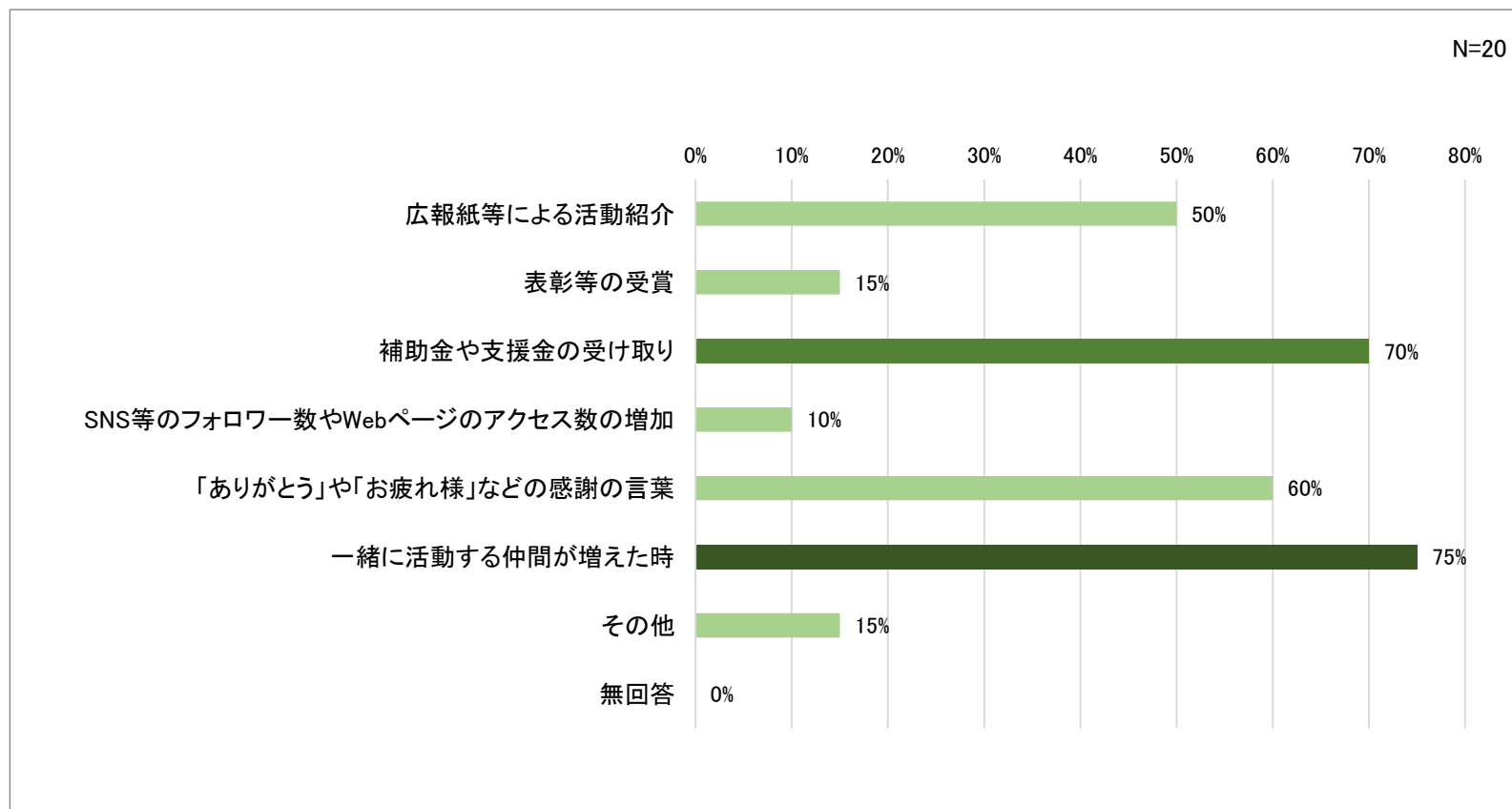


都市像の実現に向け、各団体が貢献できる事業・取り組み



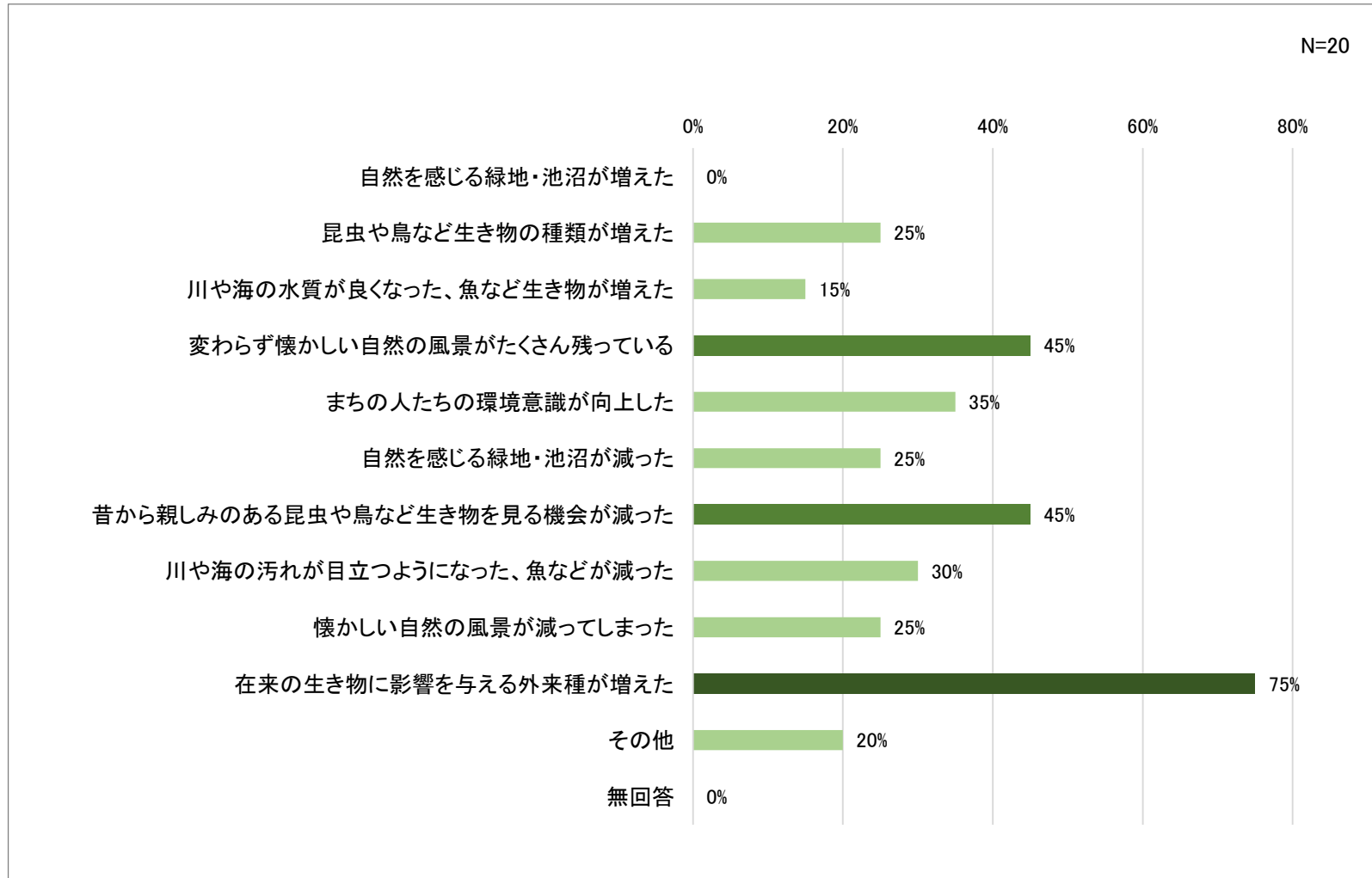
問8

モチベーション（やる気）を上げるきっかけ（3つ回答）



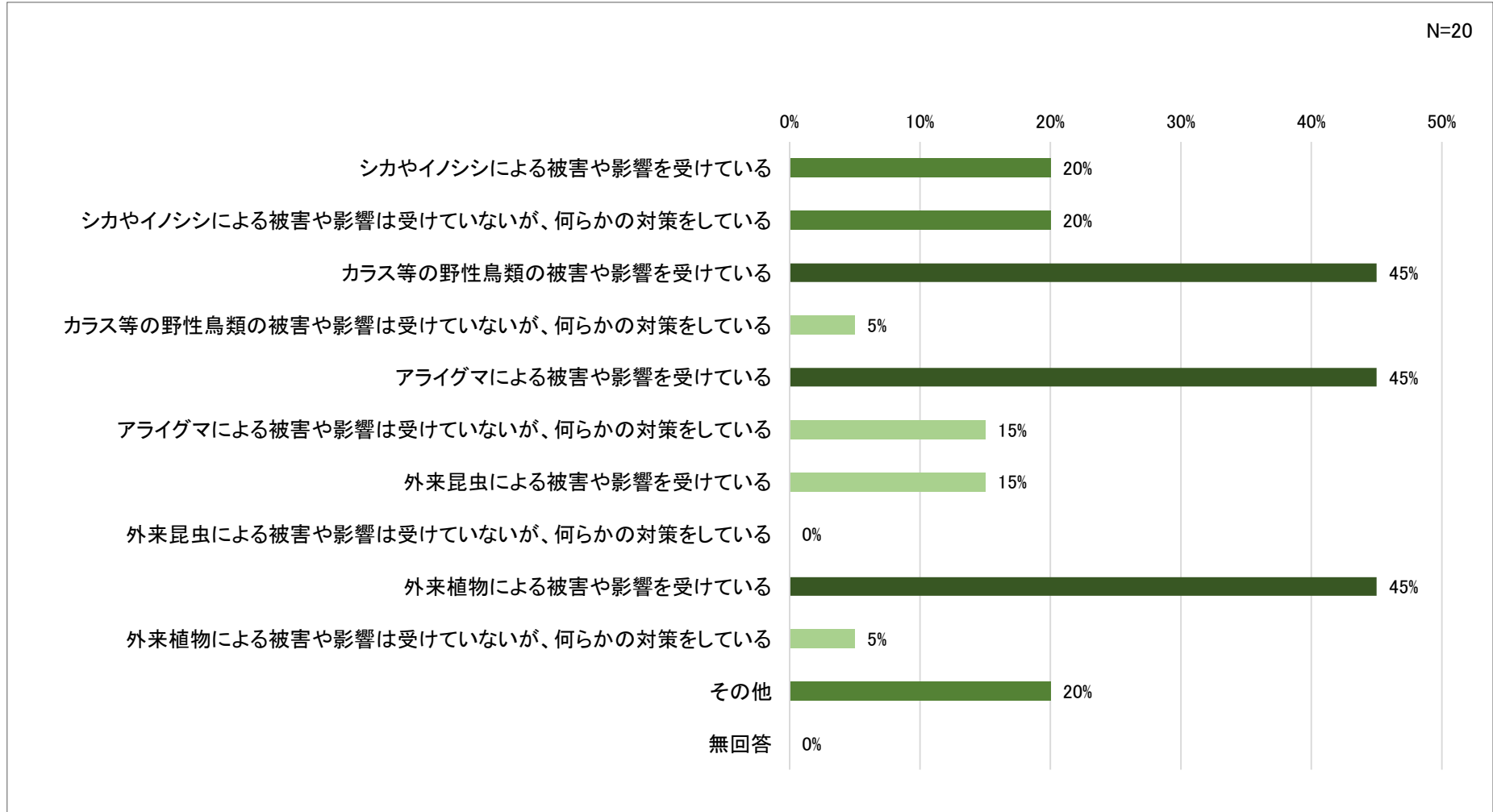
問9

活動中に、自然環境や生き物の多様性などについて変化を感じる事（複数回答）



市民団体アンケート

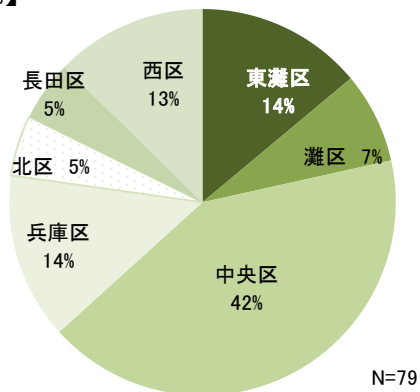
問10 活動地における、外来生物や野生鳥獣による被害や影響（複数回答）



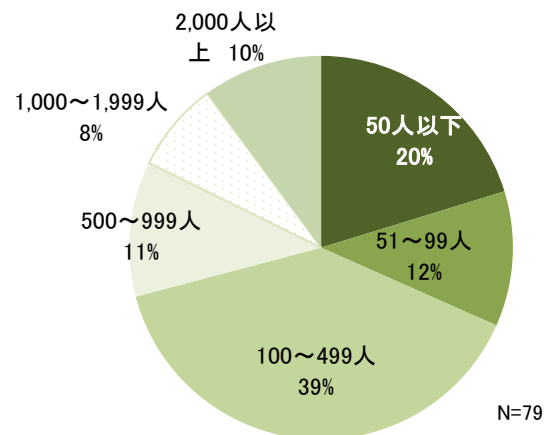
事業所アンケート

調査期間	2024年10月28日（月）～ 11月22日（金）
設問数	①環境全般について：5問 ②事業系ごみについて：7問 ③生物多様性について：3問
調査対象	市内の事業所219社
回答数	79社（36.0%）

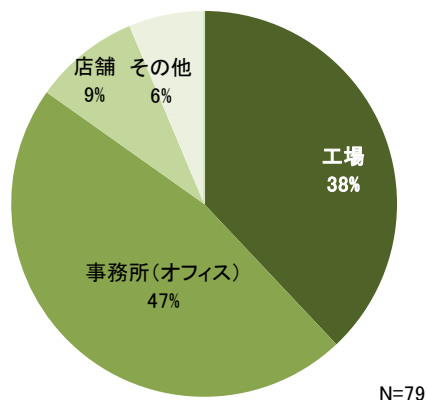
【所在地】



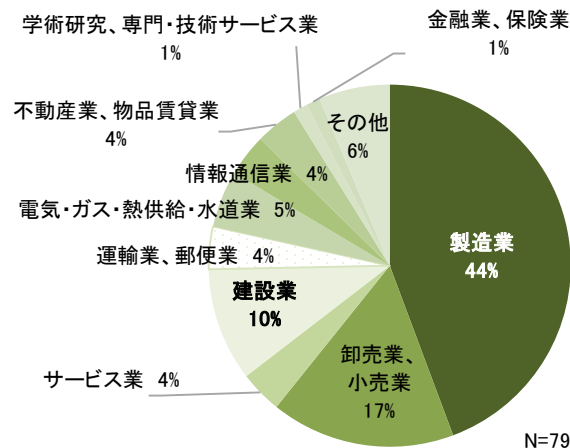
【従業員数】



【事業形態】



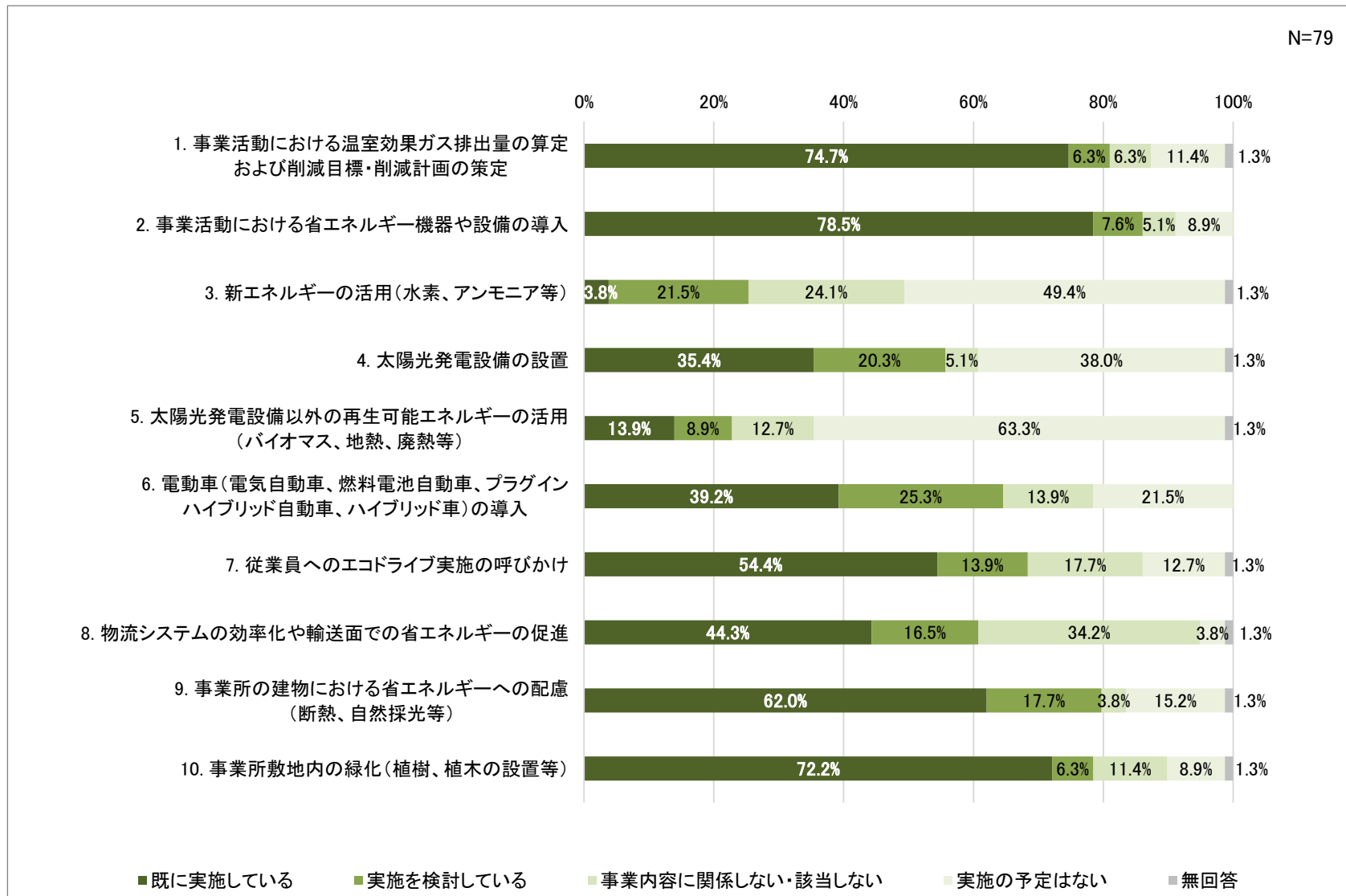
【業種】



事業所アンケート① 環境全般について

問1

環境に配慮した取り組みの実施状況【地球温暖化対策】（単一回答）

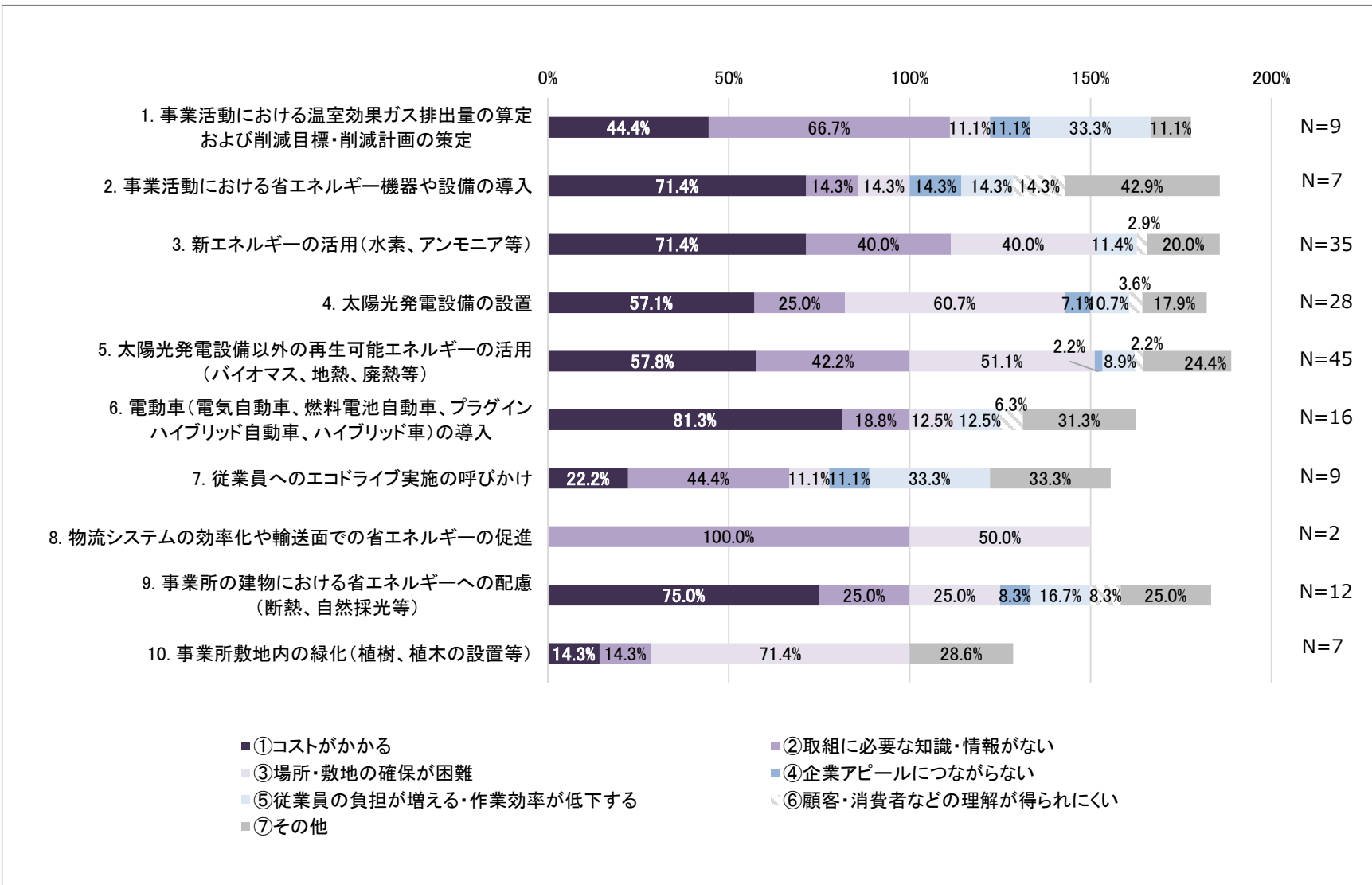


事業所アンケート① 環境全般について

問1

環境に配慮した取り組みの実施状況【地球温暖化対策】

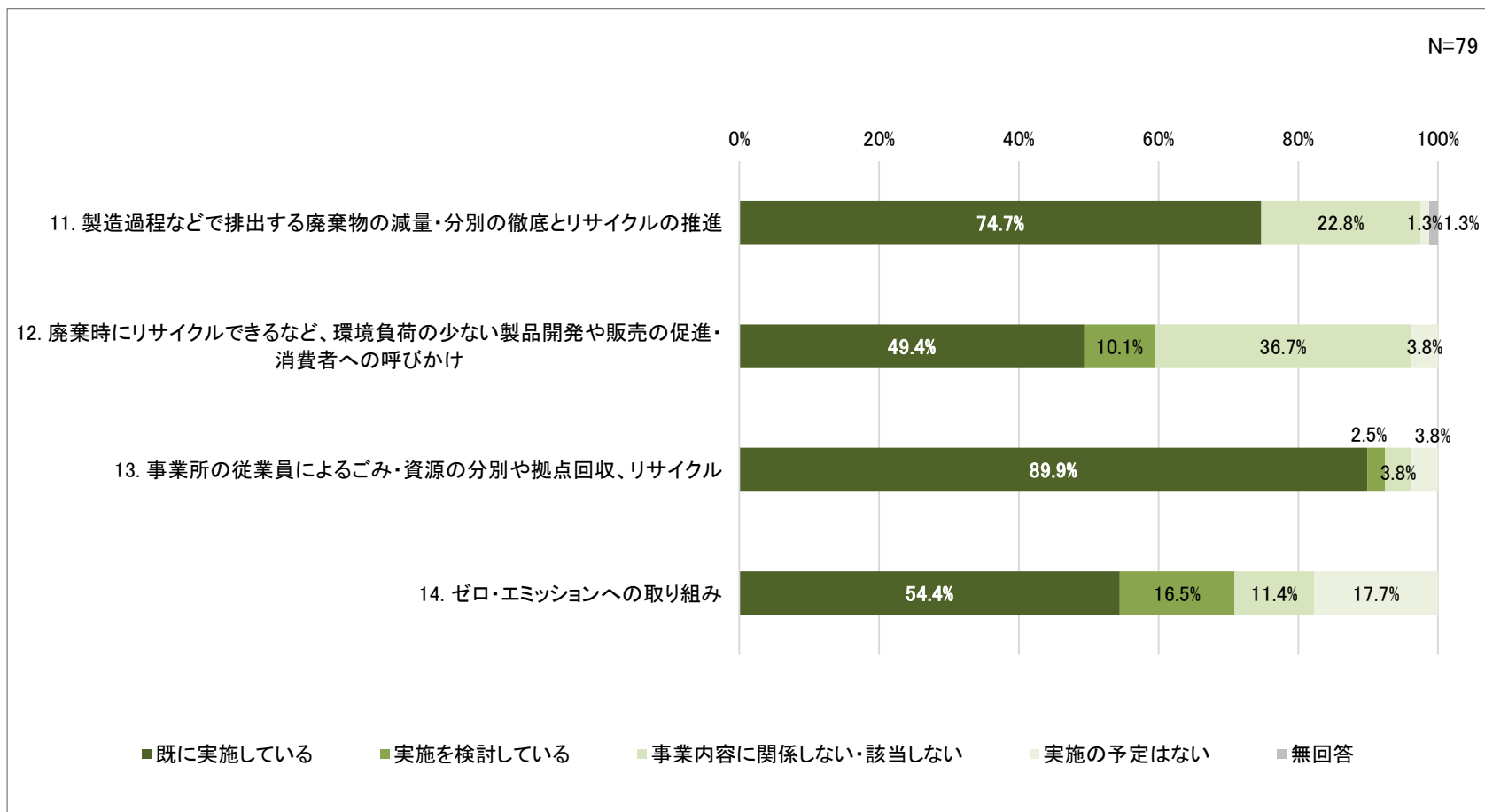
実施の予定がない理由（複数回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問1

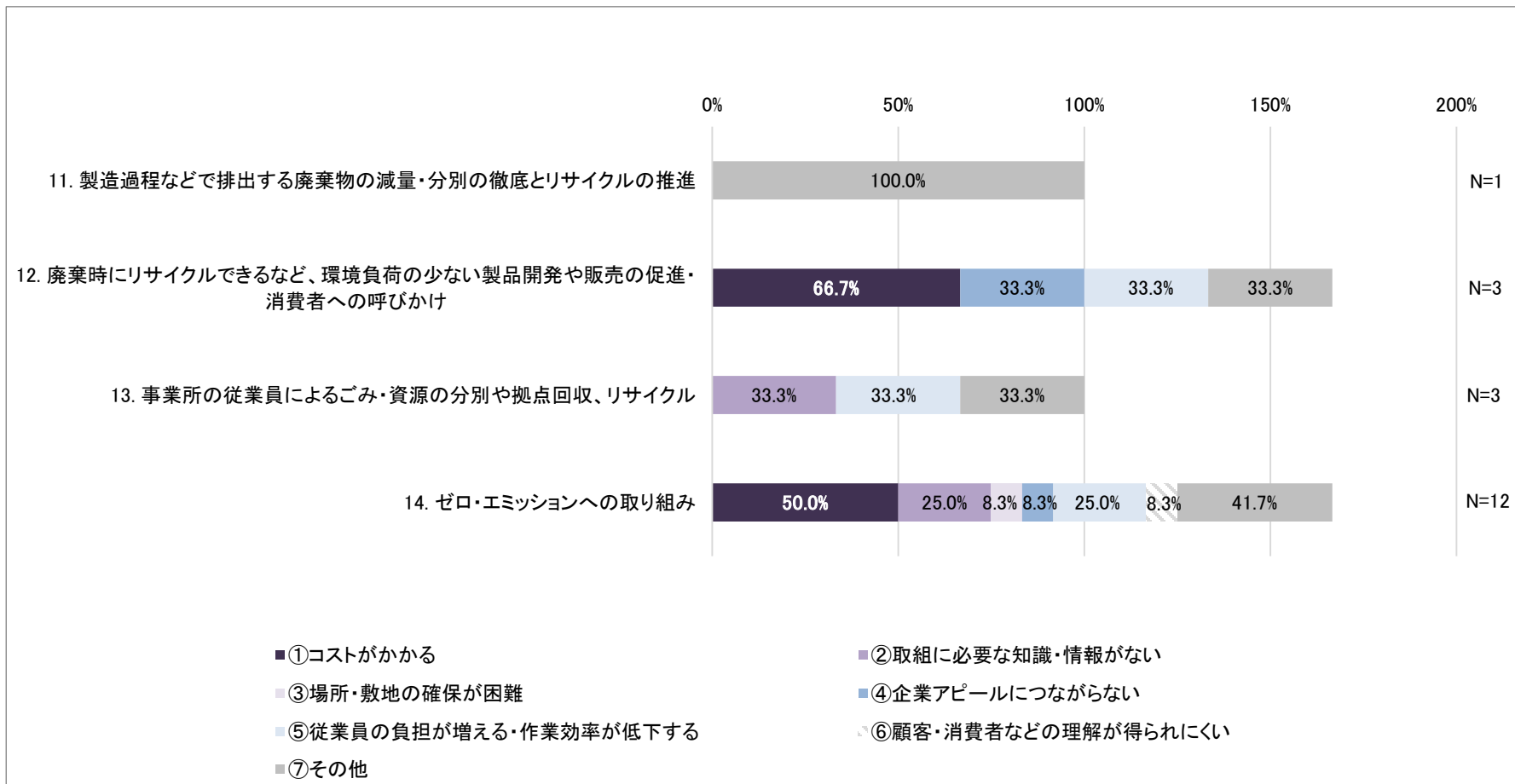
環境に配慮した取り組みの実施状況【廃棄物の減量・リサイクル】（単一回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問 1

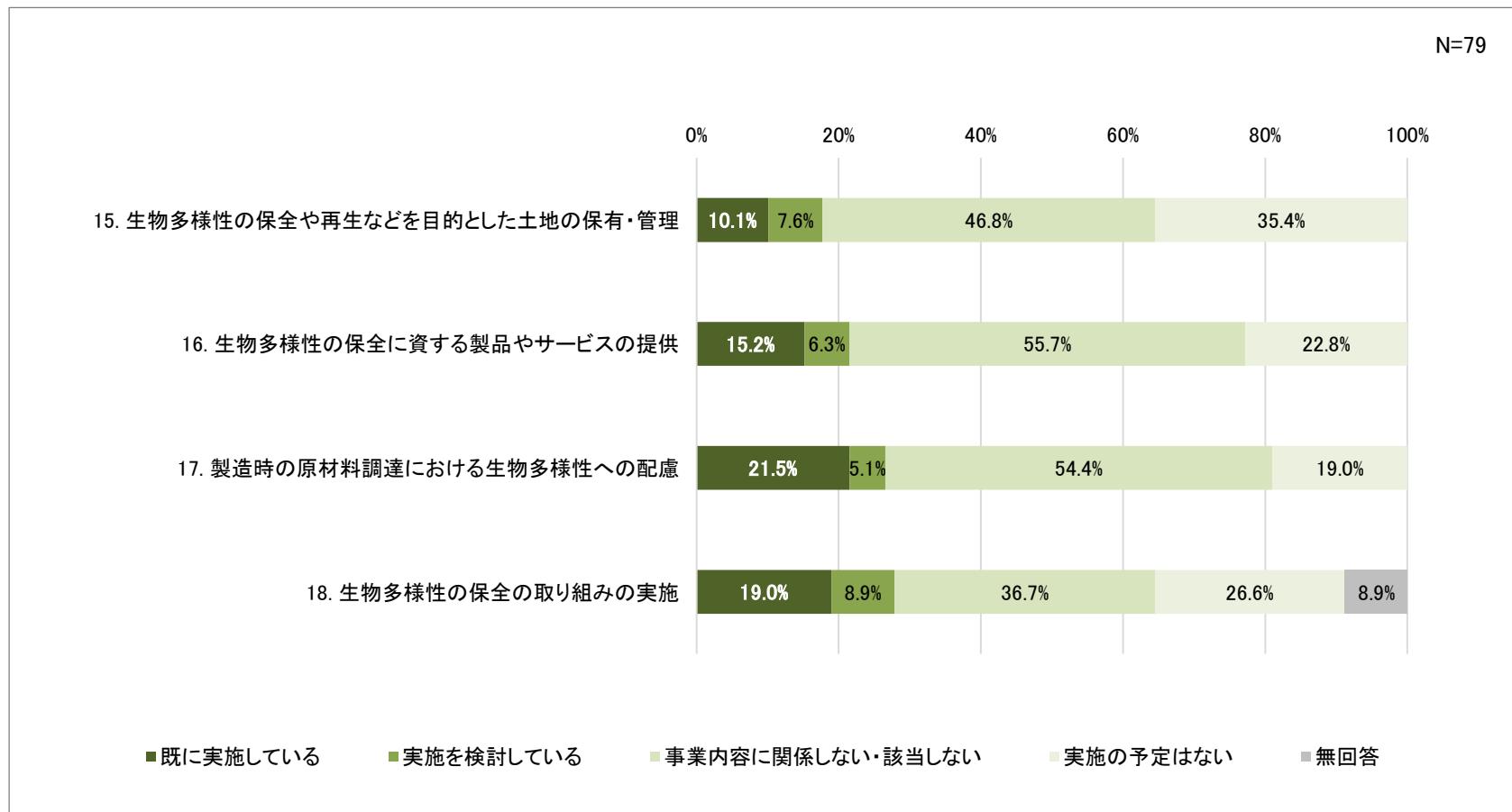
環境に配慮した取り組みの実施状況【廃棄物の減量・リサイクル】
実施の予定がない理由（複数回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問1

環境に配慮した取り組みの実施状況【生物多様性の保全】（単一回答）

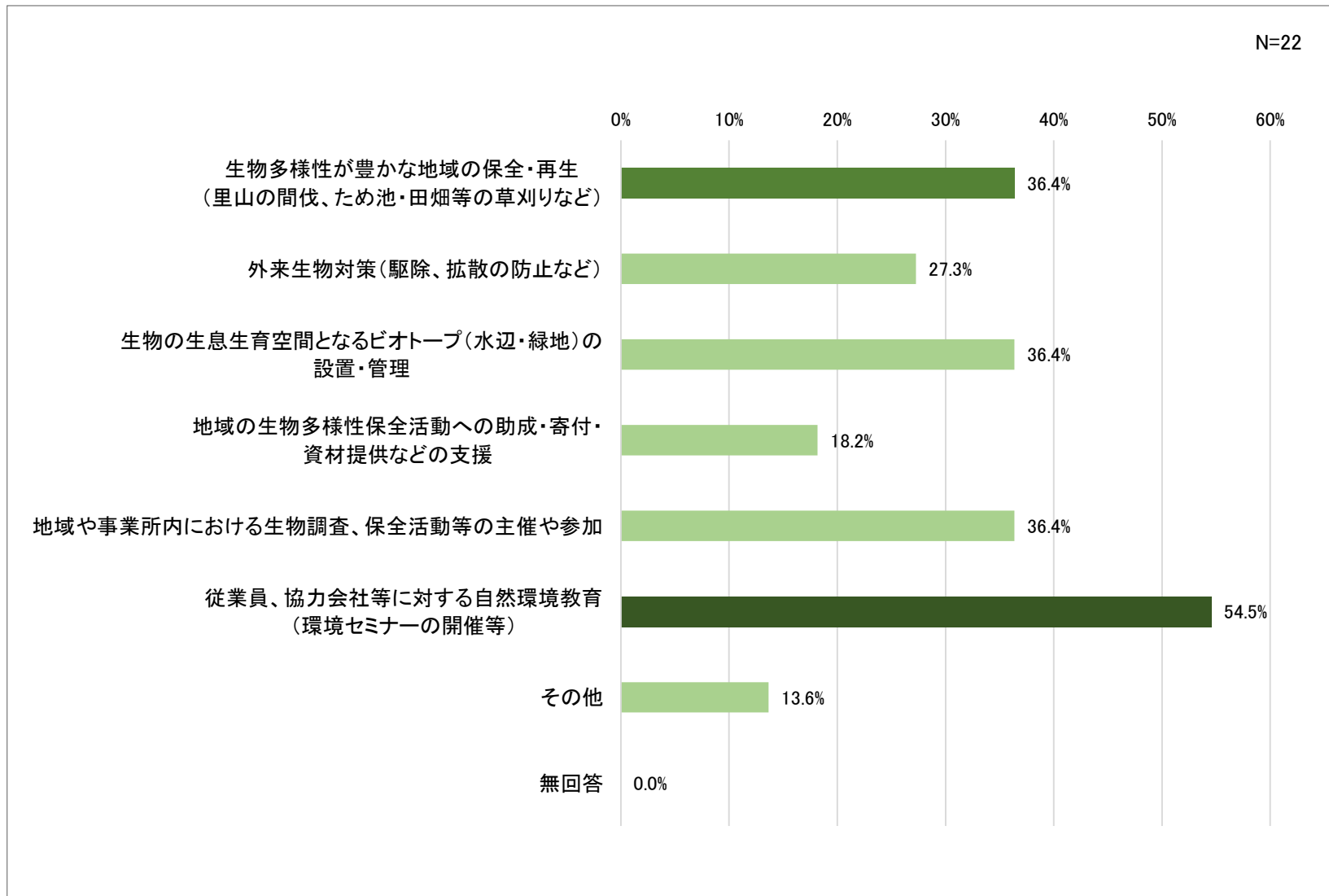


事業所アンケート① 環境全般について

問1

環境に配慮した取り組みの実施状況【生物多様性の保全】

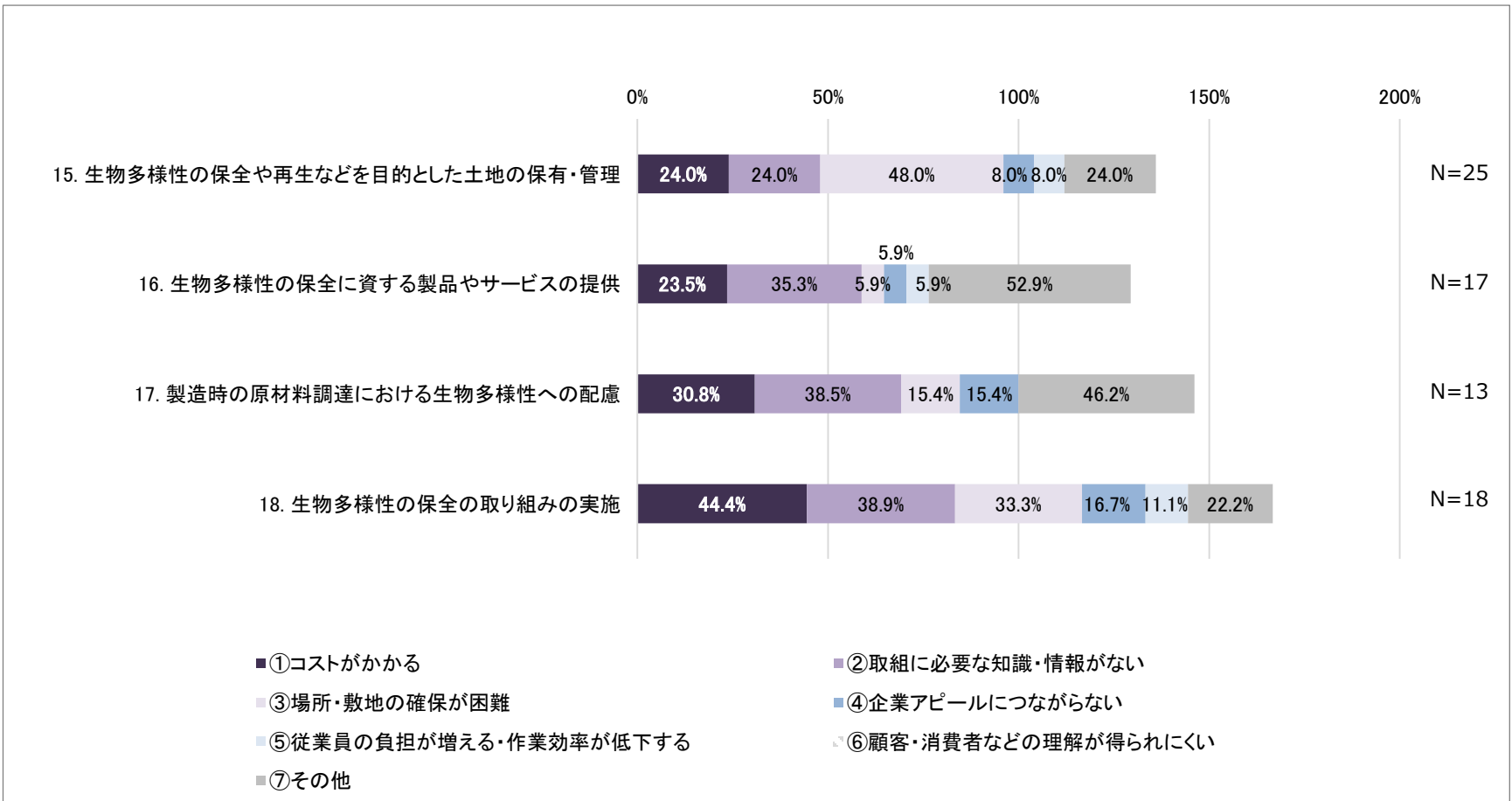
「生物多様性の保全の取り組み」の内容（複数回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問1

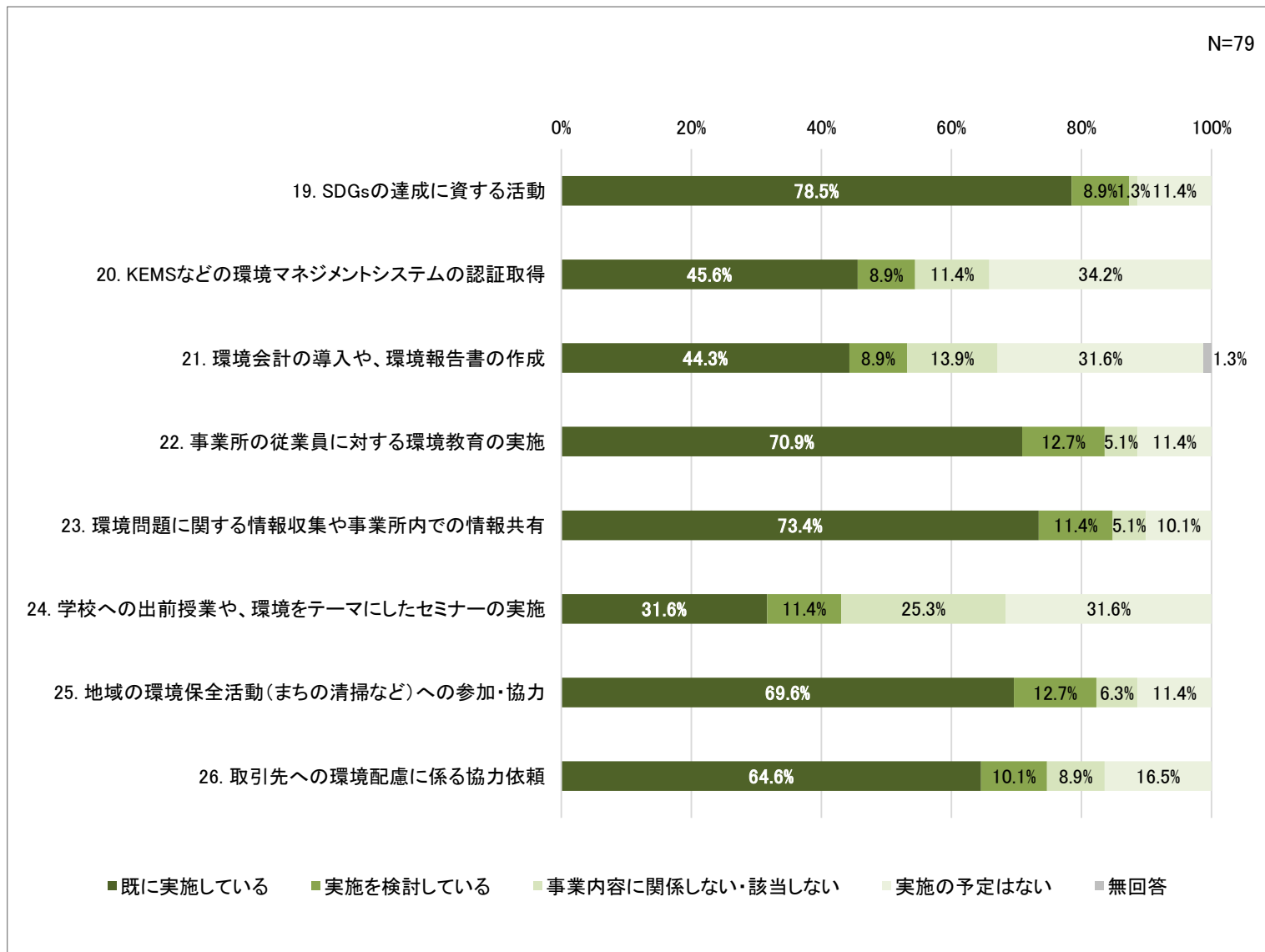
環境に配慮した取り組みの実施状況【生物多様性の保全】
実施の予定がない理由（複数回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問1

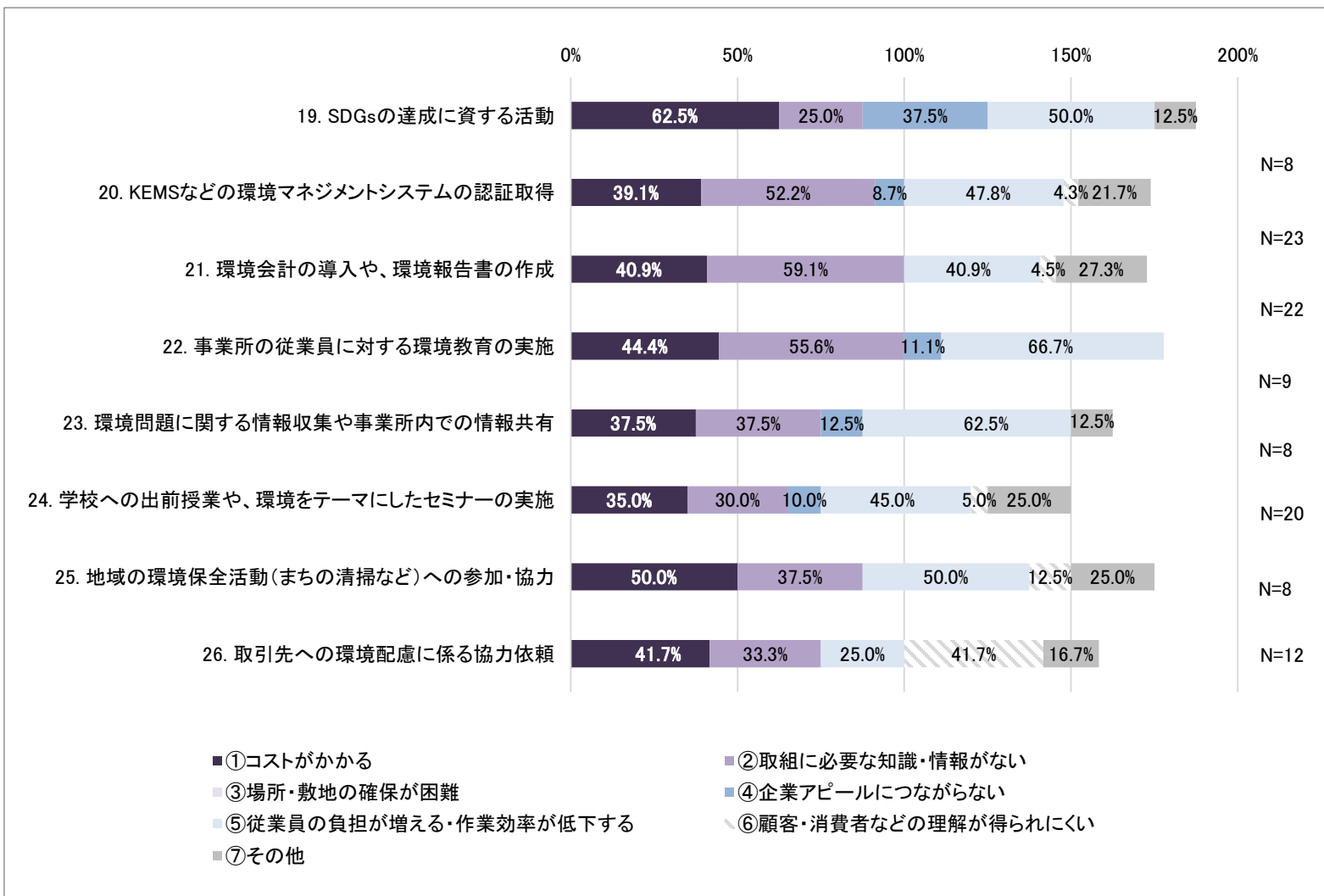
環境に配慮した取り組みの実施状況【環境管理】（単一回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問 1

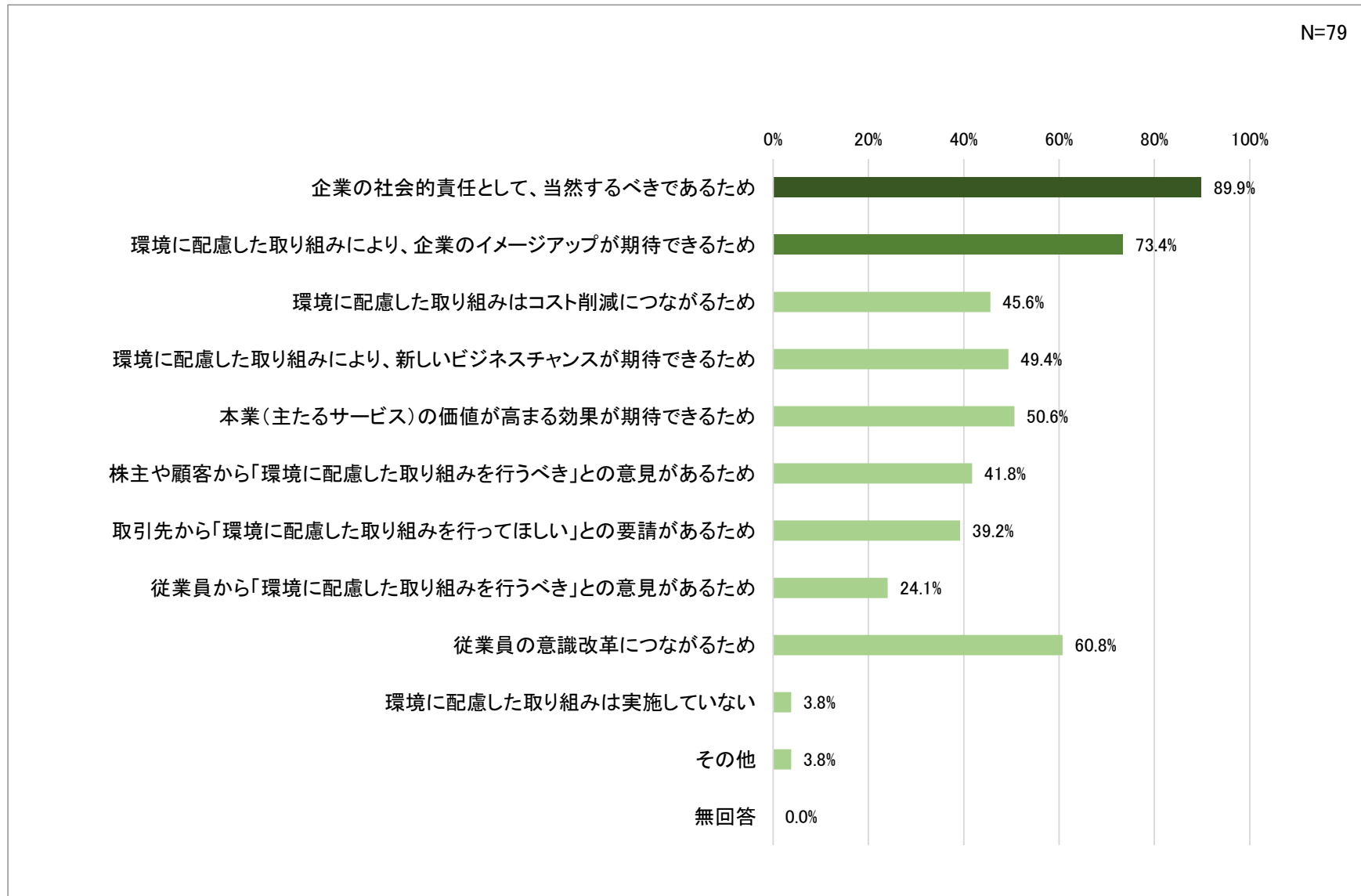
環境に配慮した取り組みの実施状況【環境管理】
実施の予定がない理由（複数回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問2

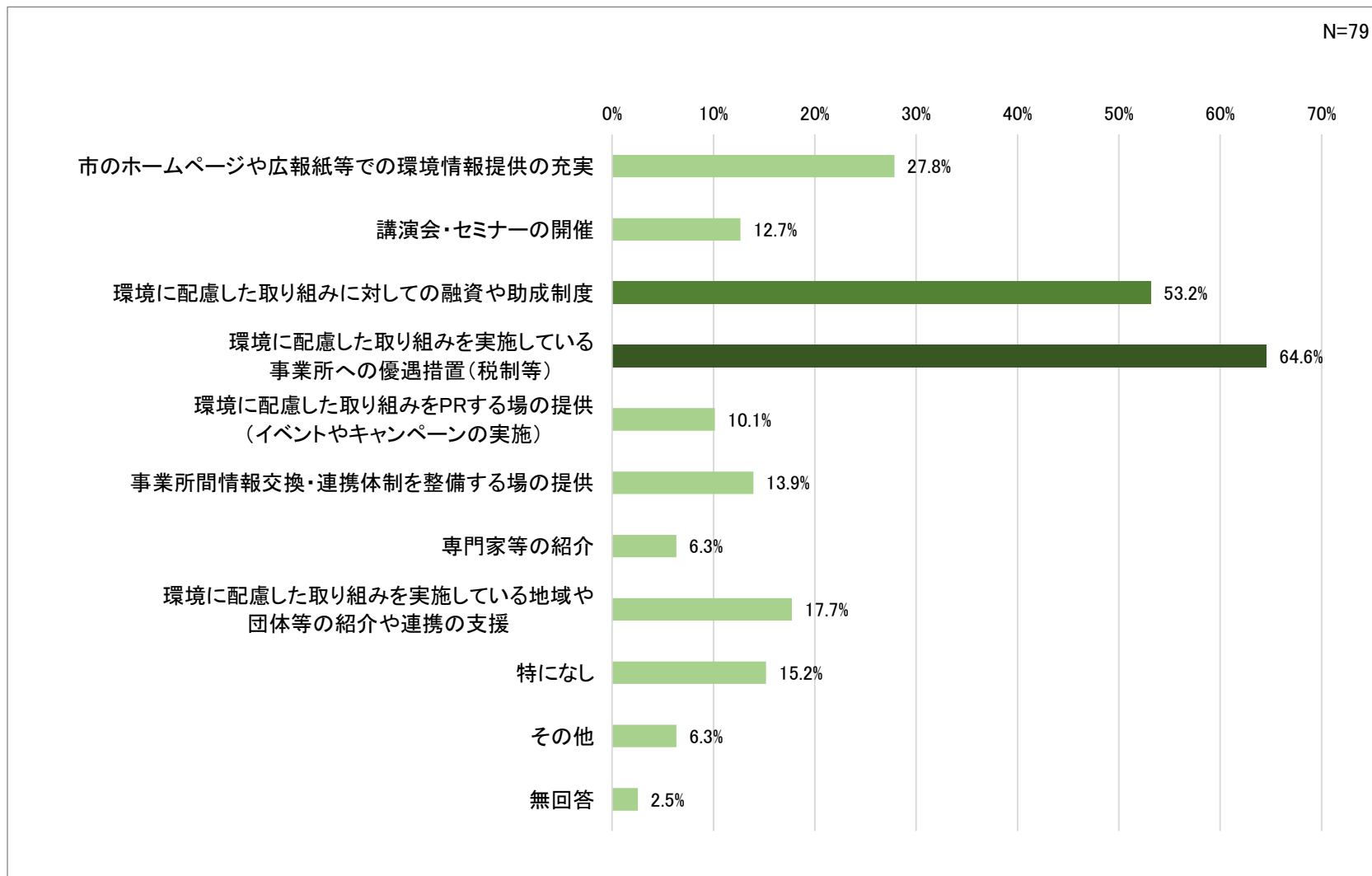
環境に配慮した取り組みを実施する理由（複数回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問3

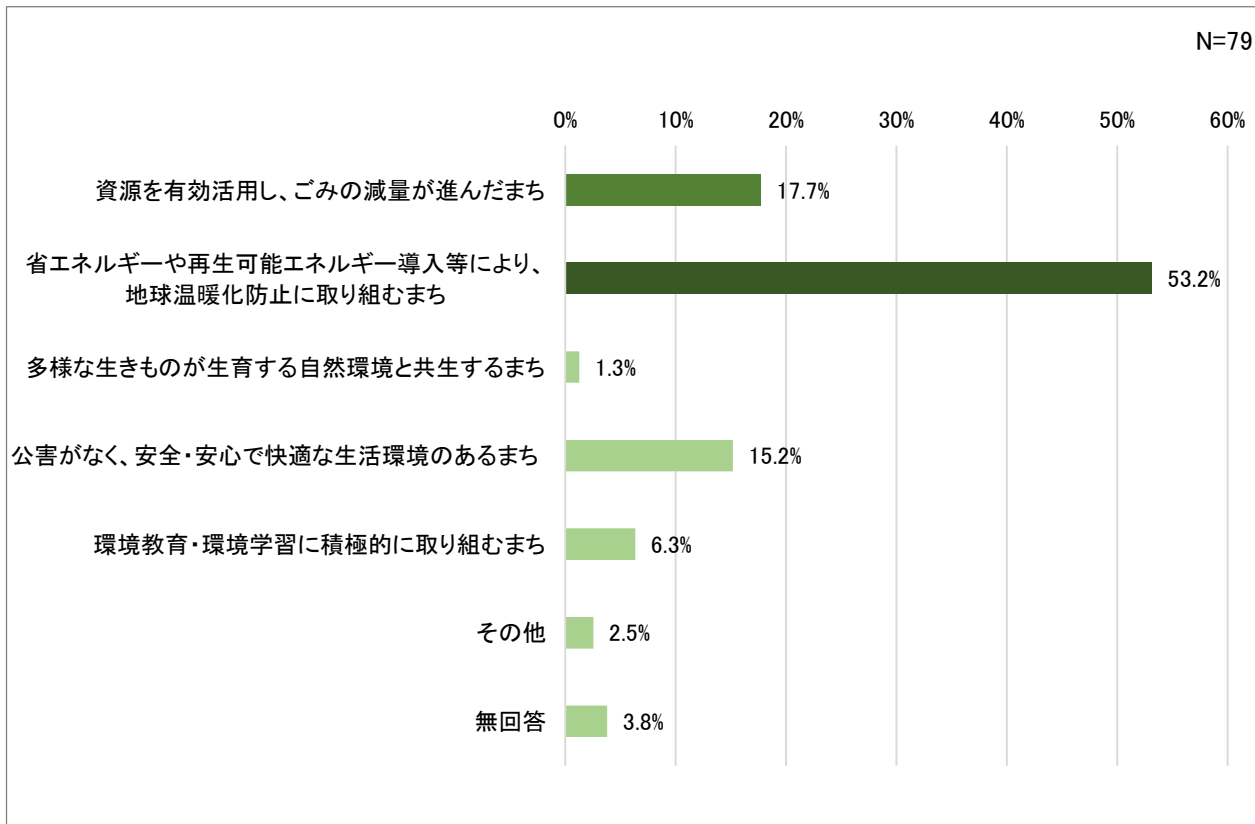
環境に配慮した取り組みを進めるうえで神戸市に求めるもの（3つまで回答）



事業所アンケート① 環境全般について

問4

望ましいと思う将来の都市像（単一回答）



都市像の実現に向け、各団体が貢献できる事業・取り組み



問5

その他、神戸の環境や環境マスタープランについて（自由意見）

回答（2件）

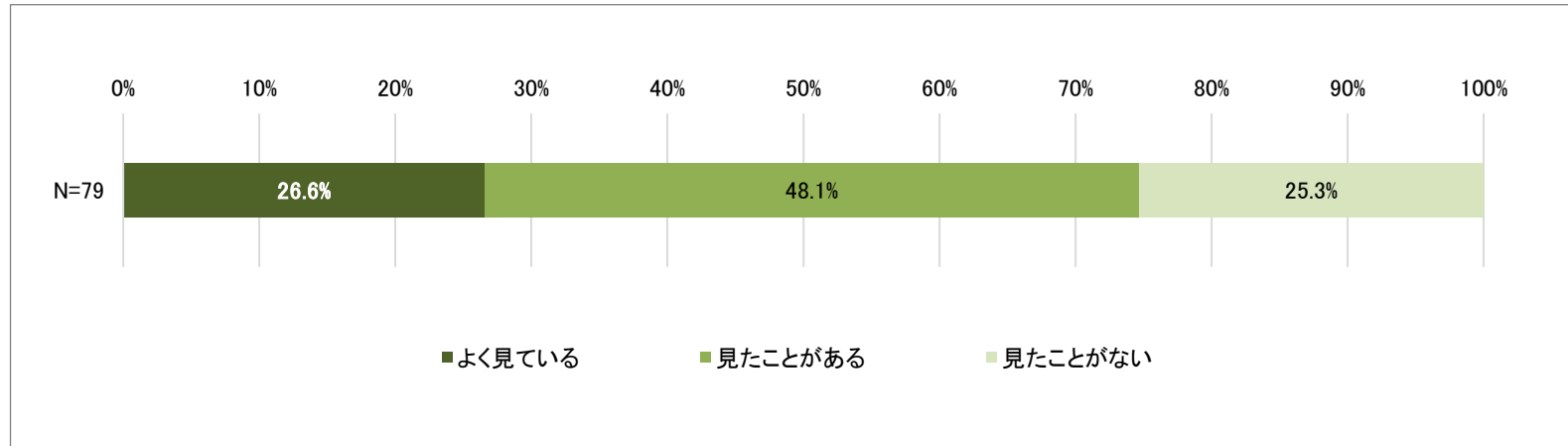
企業の自主的努力を促す為にも、環境活動をするのが得となる制度構築を更に促進してほしい。

公共工事など、行政による入札の際、環境対策項目などを明確化し、2013年度比の削減量を明示してほしい。

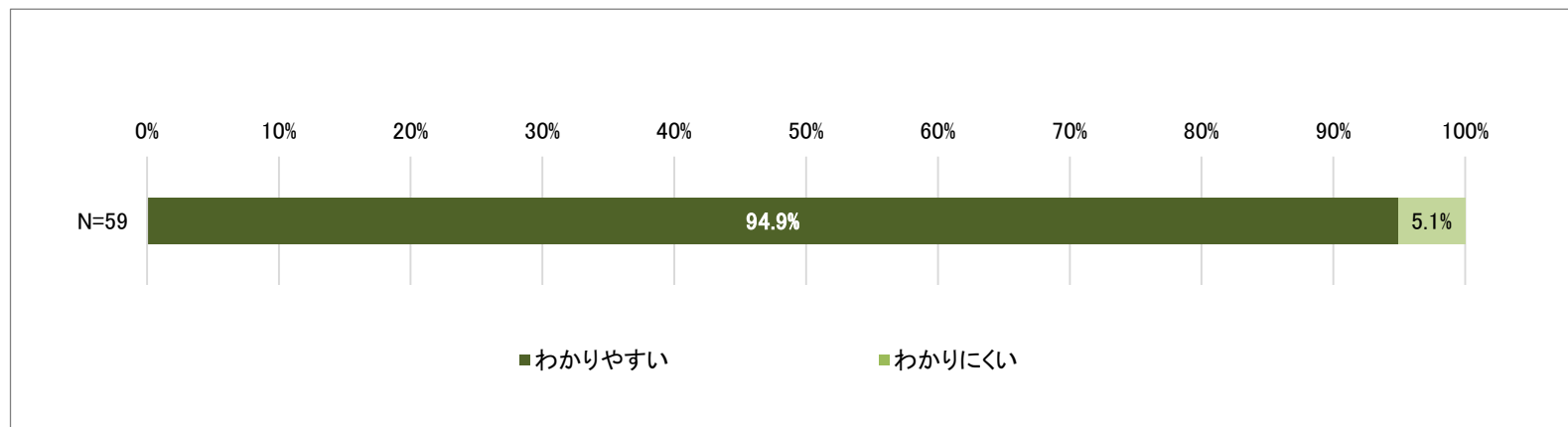
事業所アンケート② 事業系ごみについて

問1

「事業系ごみの出し方ルールブック」の認知度（単一回答）



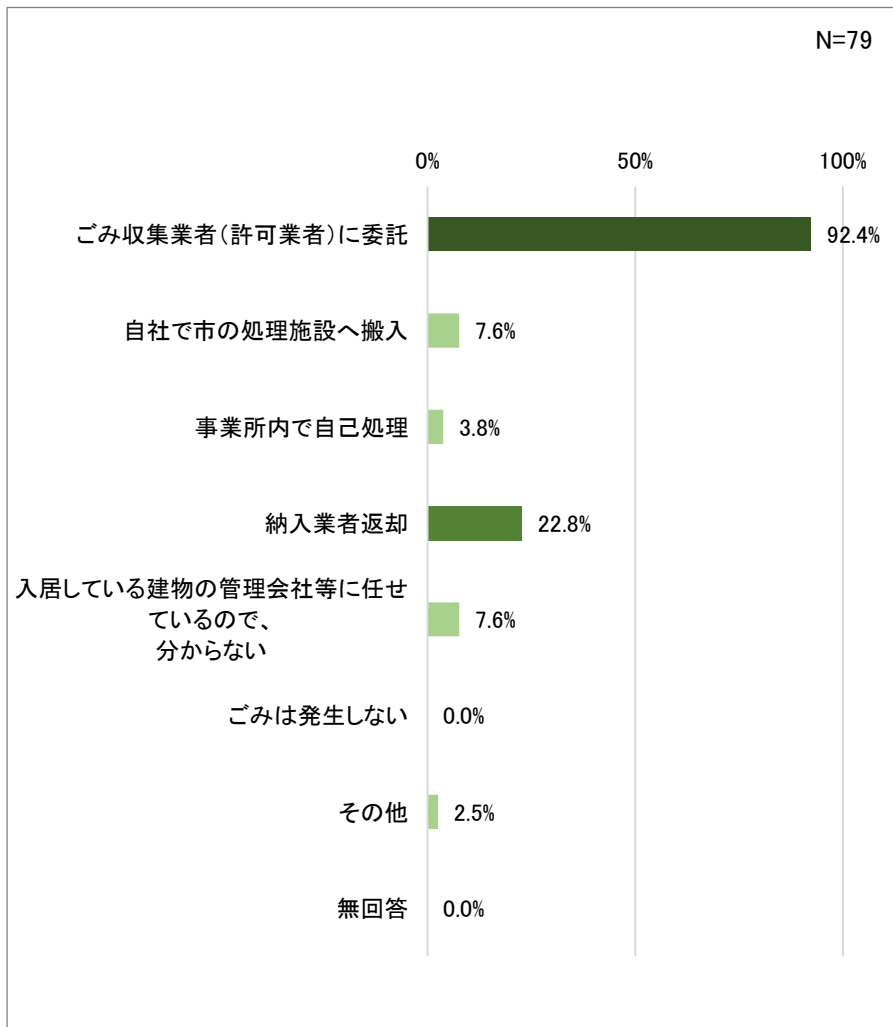
問1で「よく見ている」「見たことがある」と回答した事業所について
ルールブックの分かりやすさ（単一回答）



事業所アンケート② 事業系ごみについて

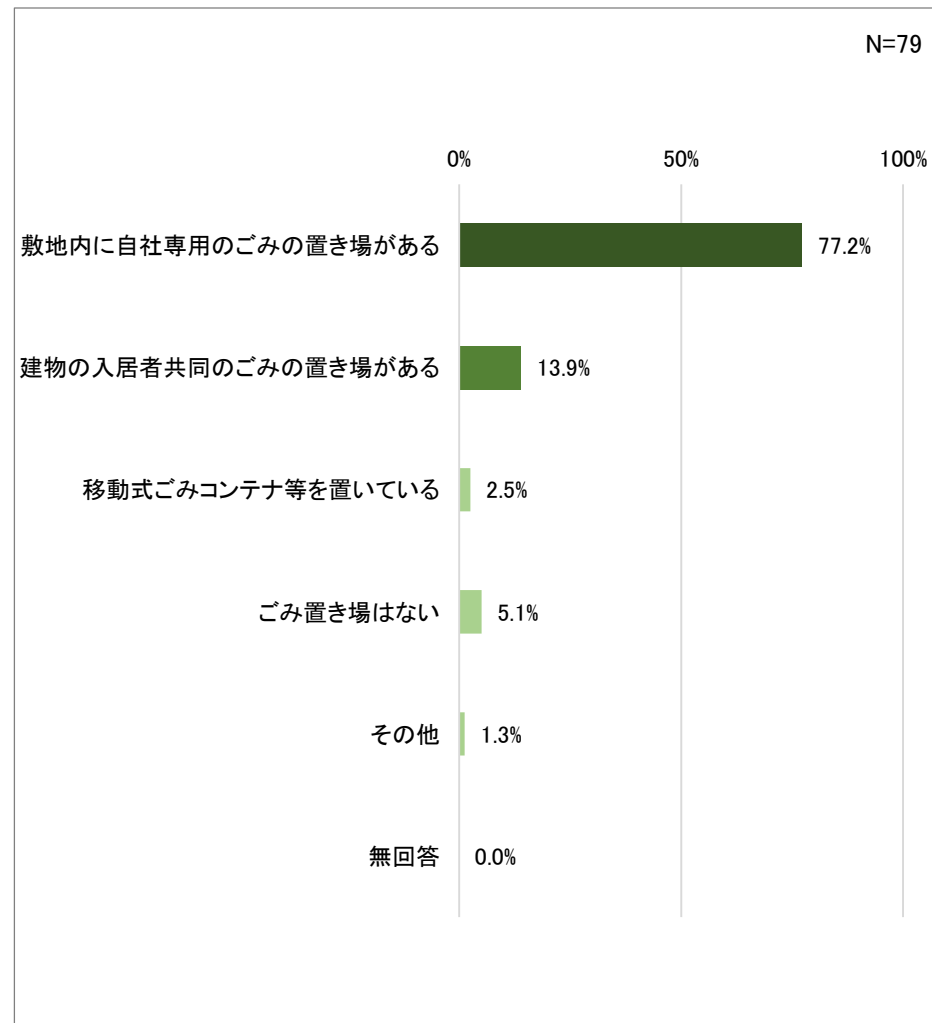
問2

ごみ処理（排出）の方法（複数回答）



問3

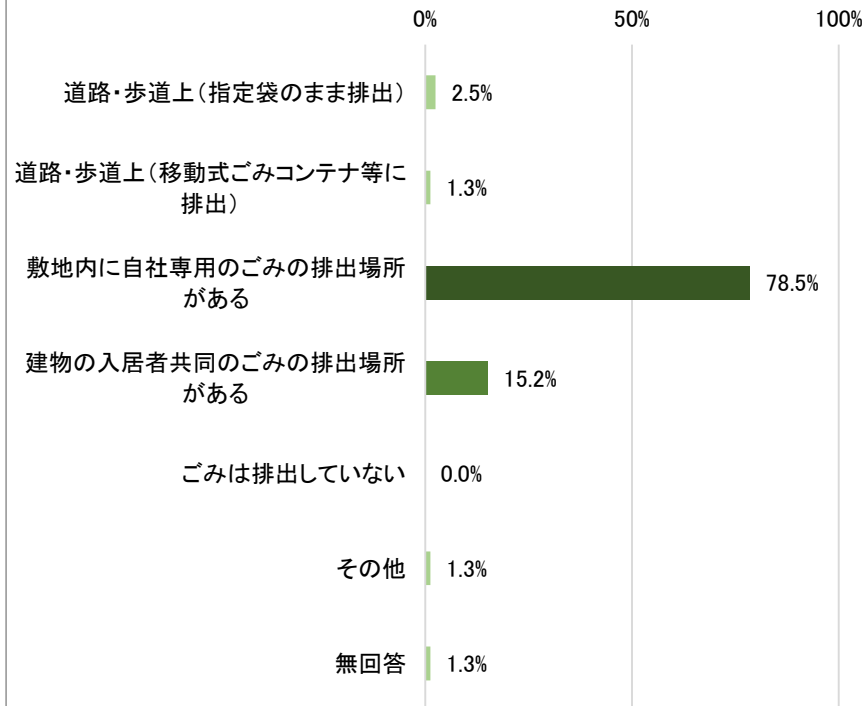
ごみ置き場（ごみ出しをするまで保管する場所）の有無
（単一回答）



事業所アンケート② 事業系ごみについて

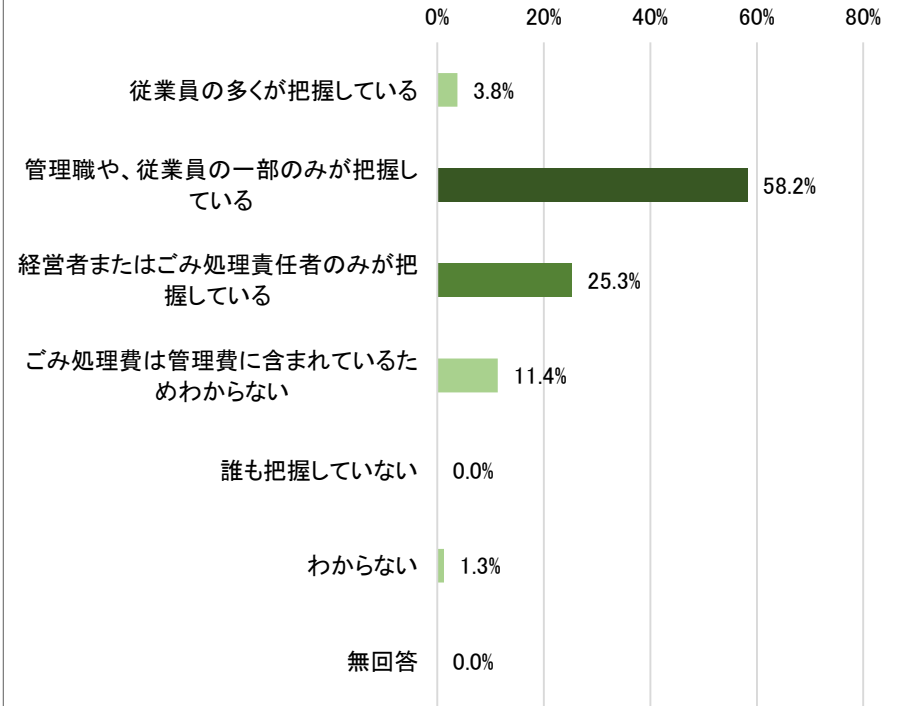
問4
ごみの排出場所（どこでごみを回収してもらっているか）
（単一回答）

N=79



問5（1）
年間ごみ処理費用の把握状況（単一回答）

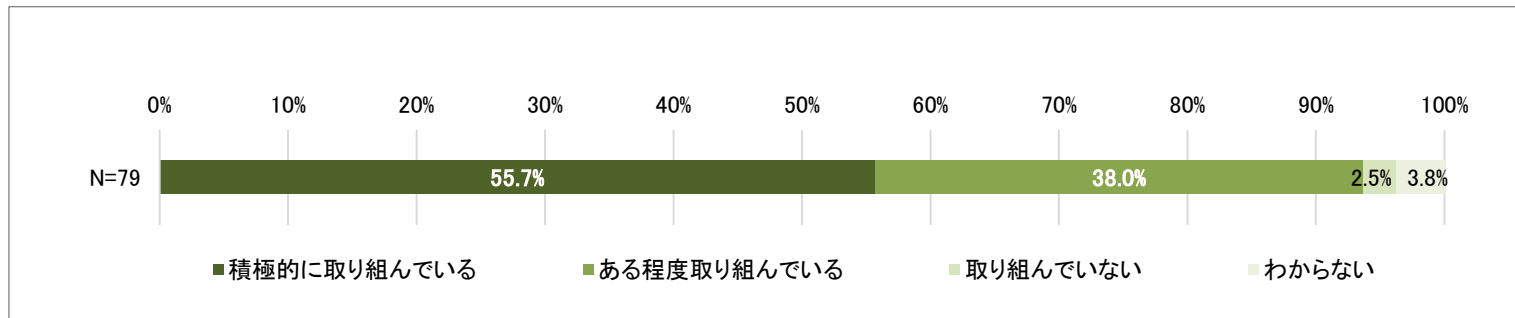
N=79



事業所アンケート② 事業系ごみについて

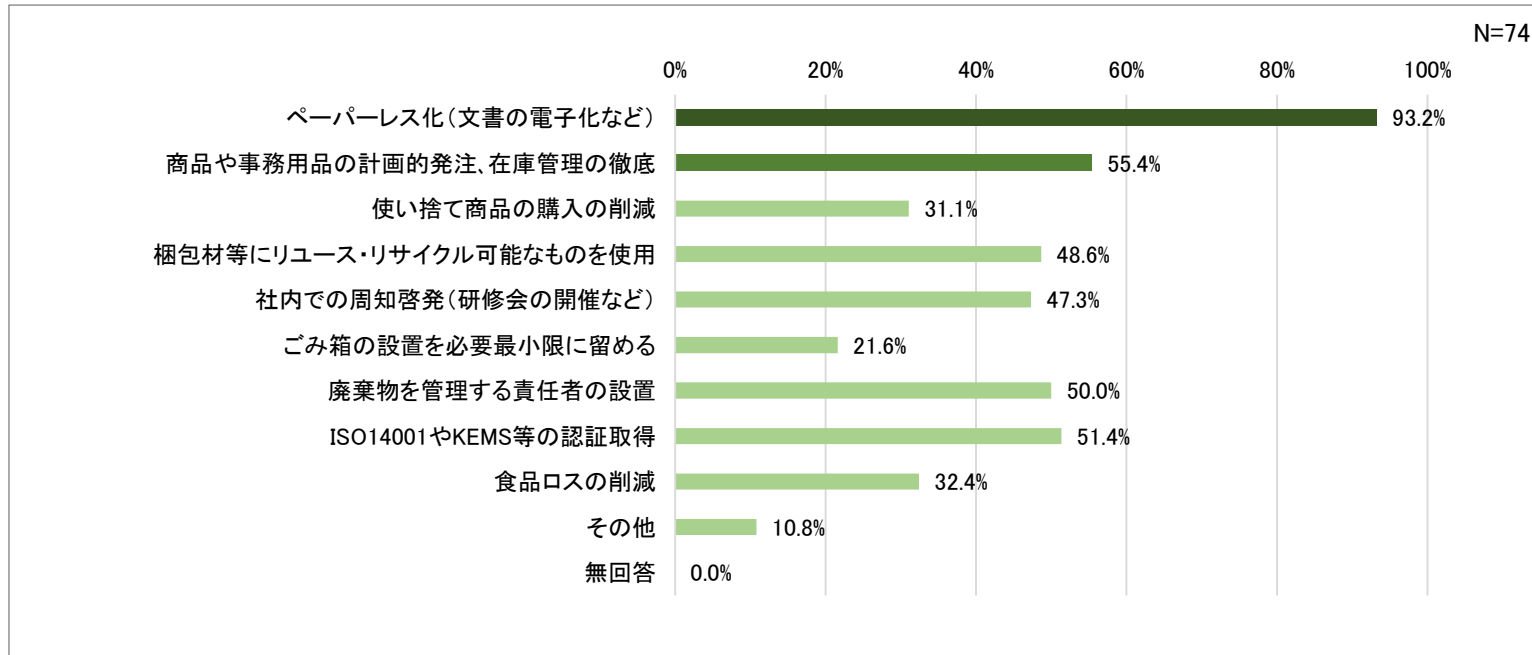
問5 (2)

ごみの減量・資源化の取り組み状況 (単一回答)



問5 (2)

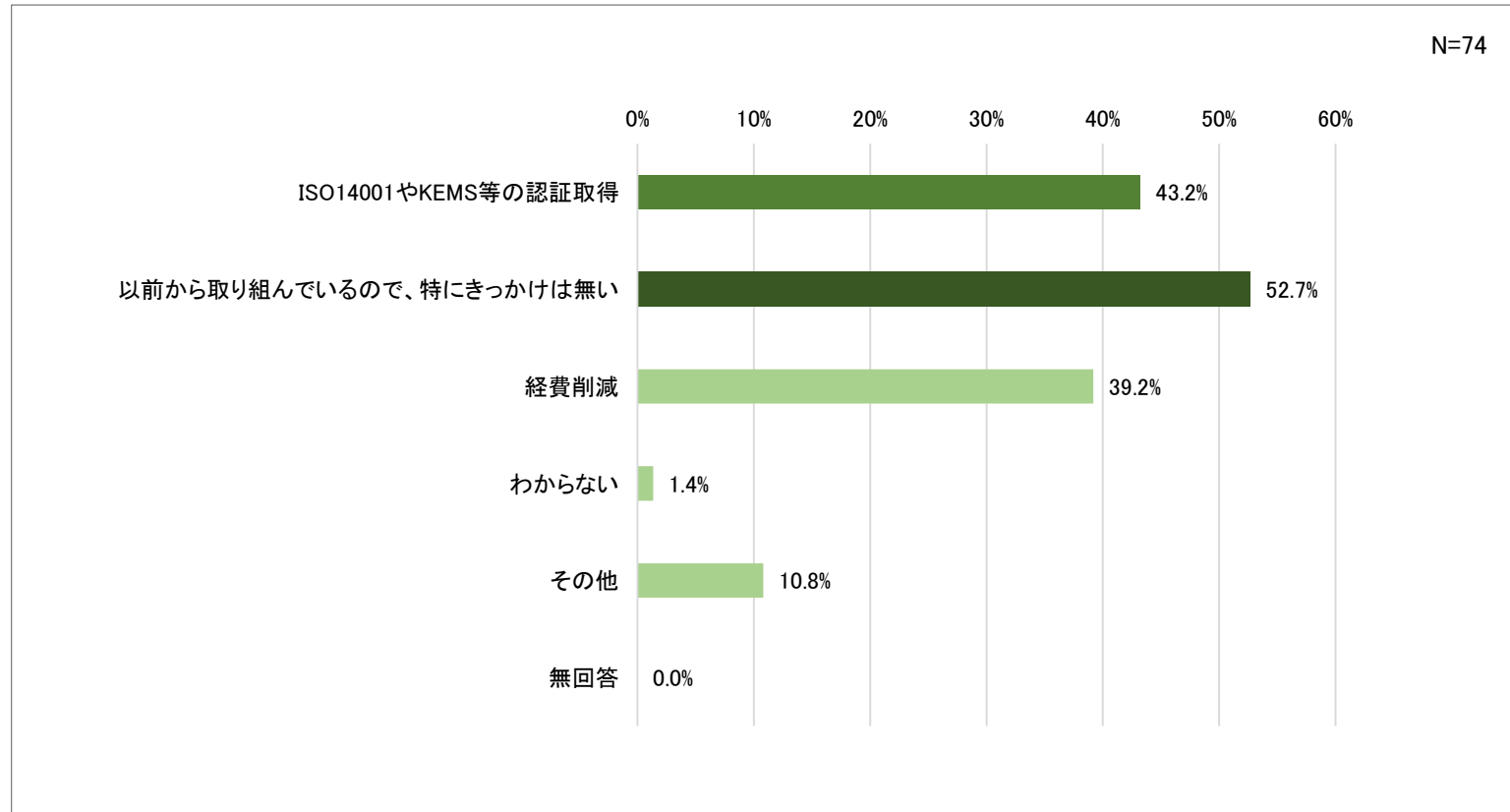
「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」事業者
取り組み内容 (複数回答)



事業所アンケート② 事業系ごみについて

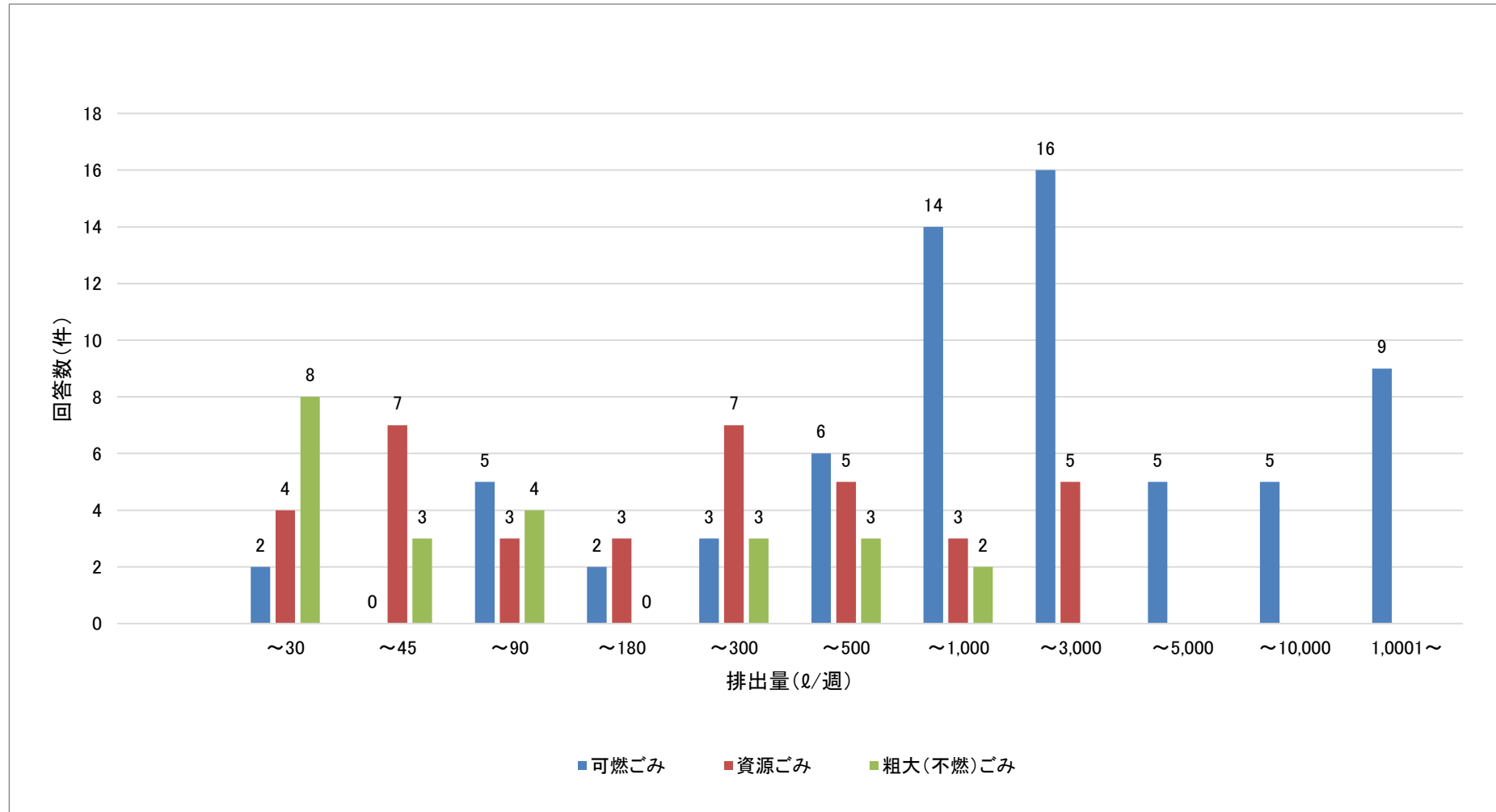
問5 (2)

ごみの減量・資源化の取り組みのきっかけ (複数回答)



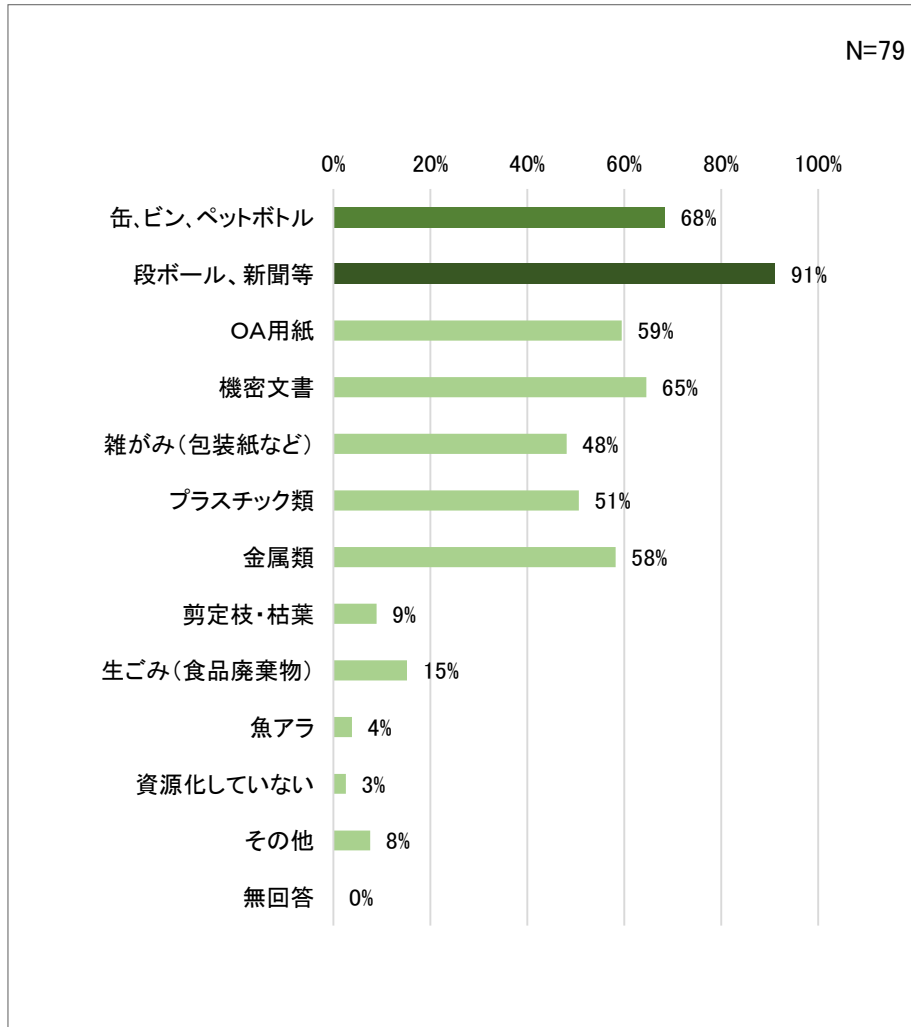
事業所アンケート② 事業系ごみについて

問6 (1)
指定袋で1週間に出すごみの量

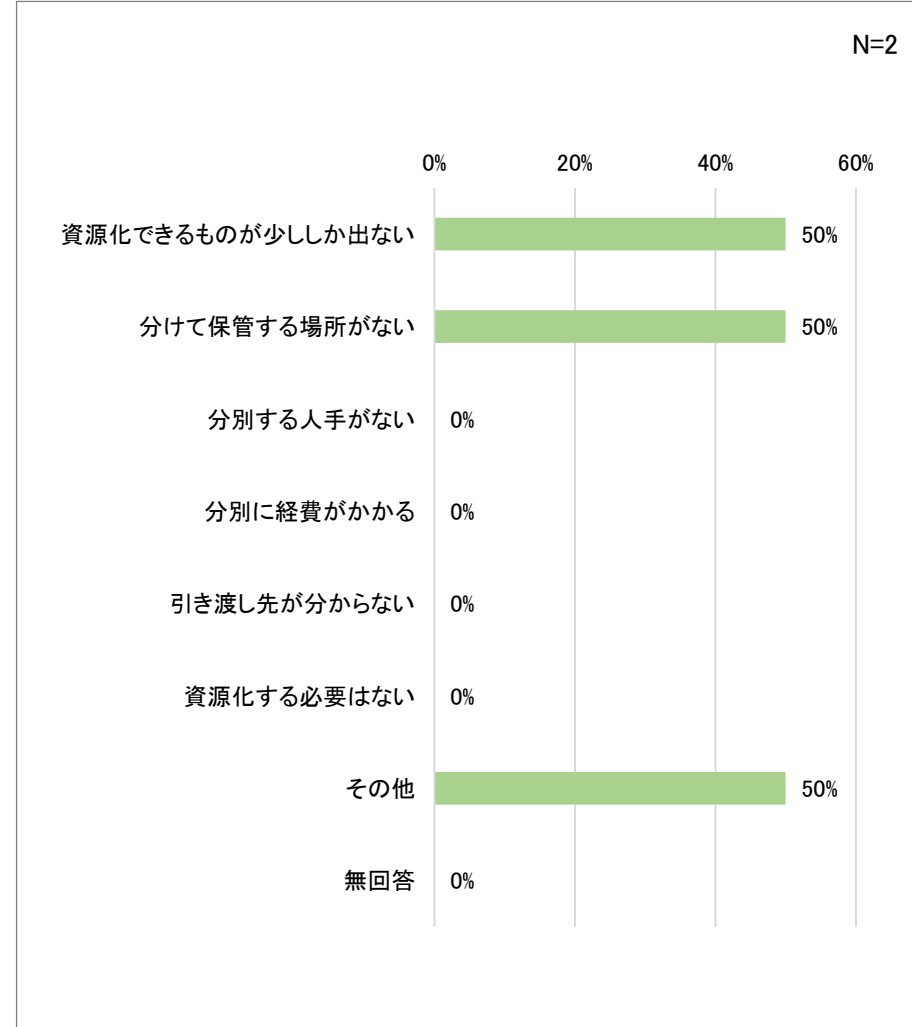


事業所アンケート② 事業系ごみについて

問6 (2)
指定袋以外に分別・資源化しているもの (複数回答)



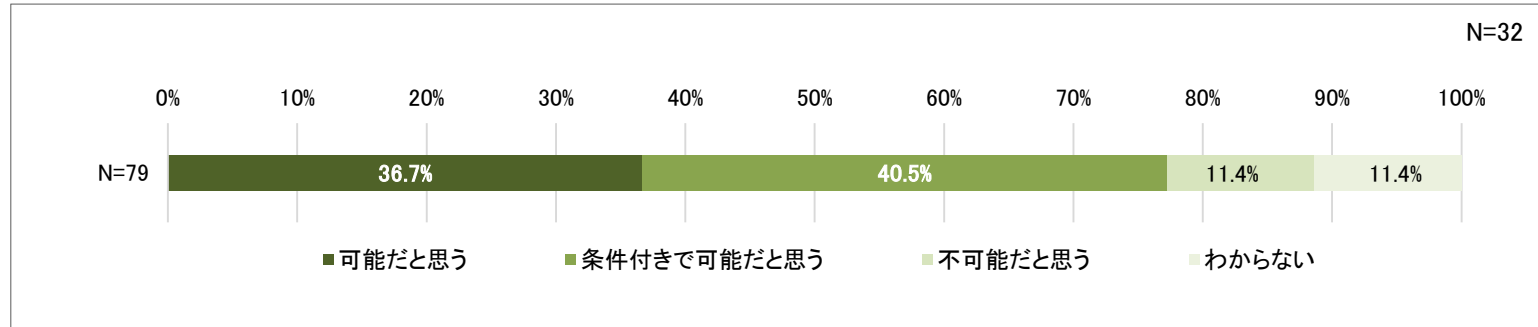
問6 (2)
分別していない理由 (複数回答)



事業所アンケート② 事業系ごみについて

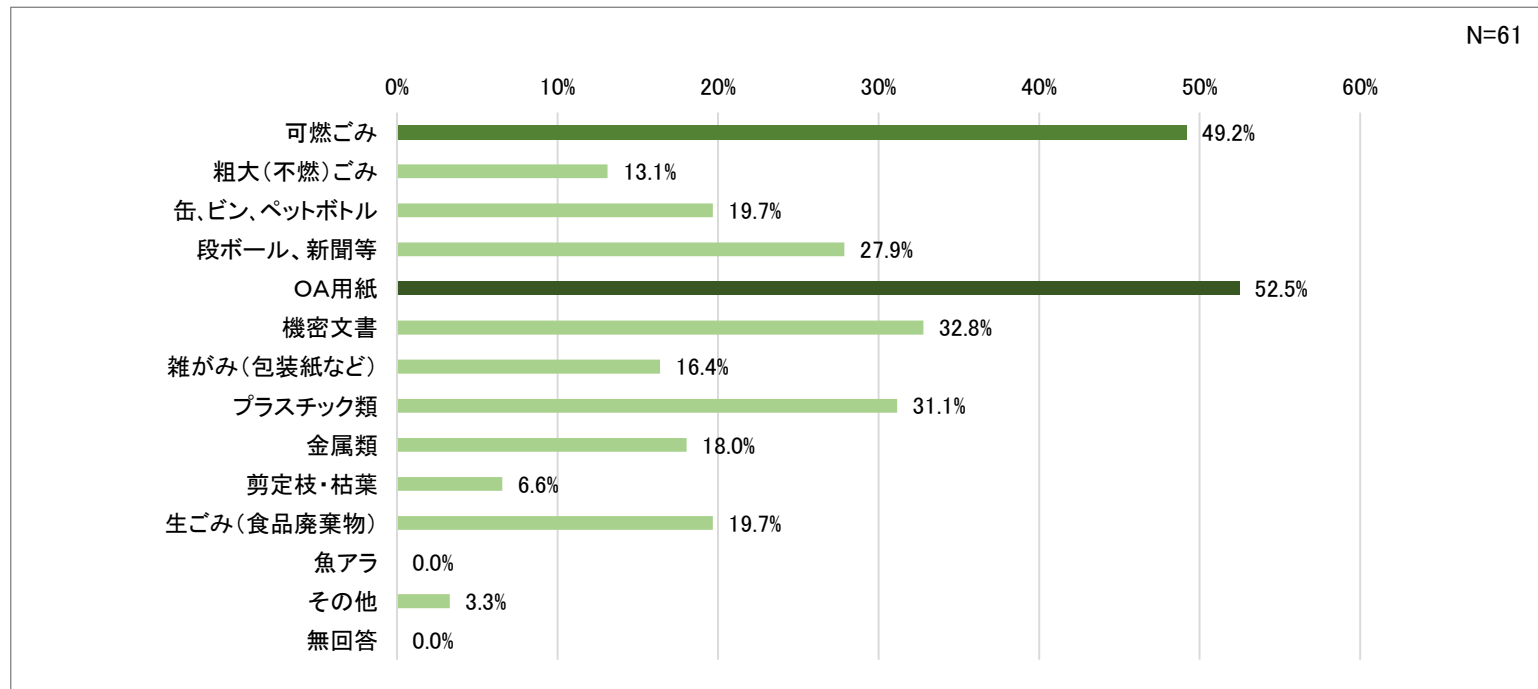
問6 (3)

今後ごみを更に減量・資源化することは可能か (単一回答)



問6 (3)

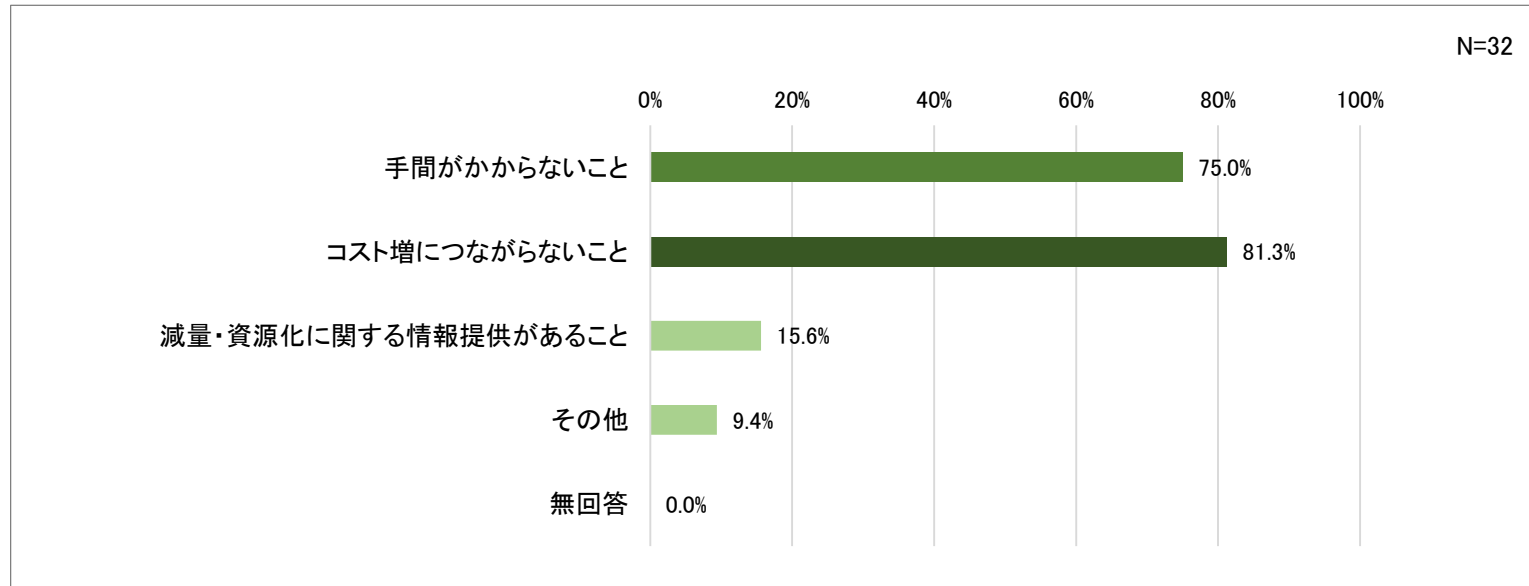
減量・資源化が可能なもの (複数回答)



事業所アンケート② 事業系ごみについて

問6 (3)

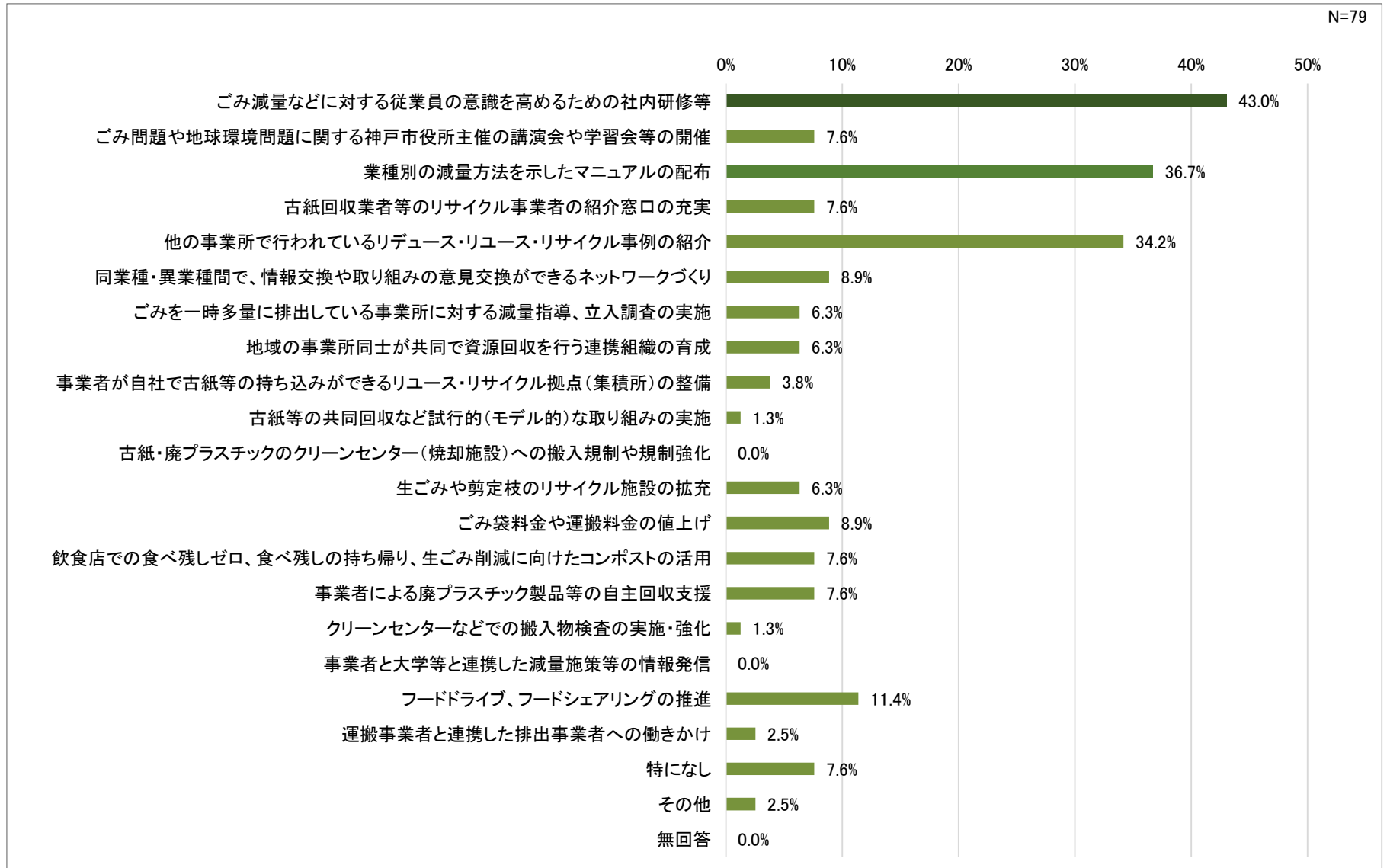
更に減量・資源化が可能な場合の条件（複数回答）



事業所アンケート② 事業系ごみについて

問7

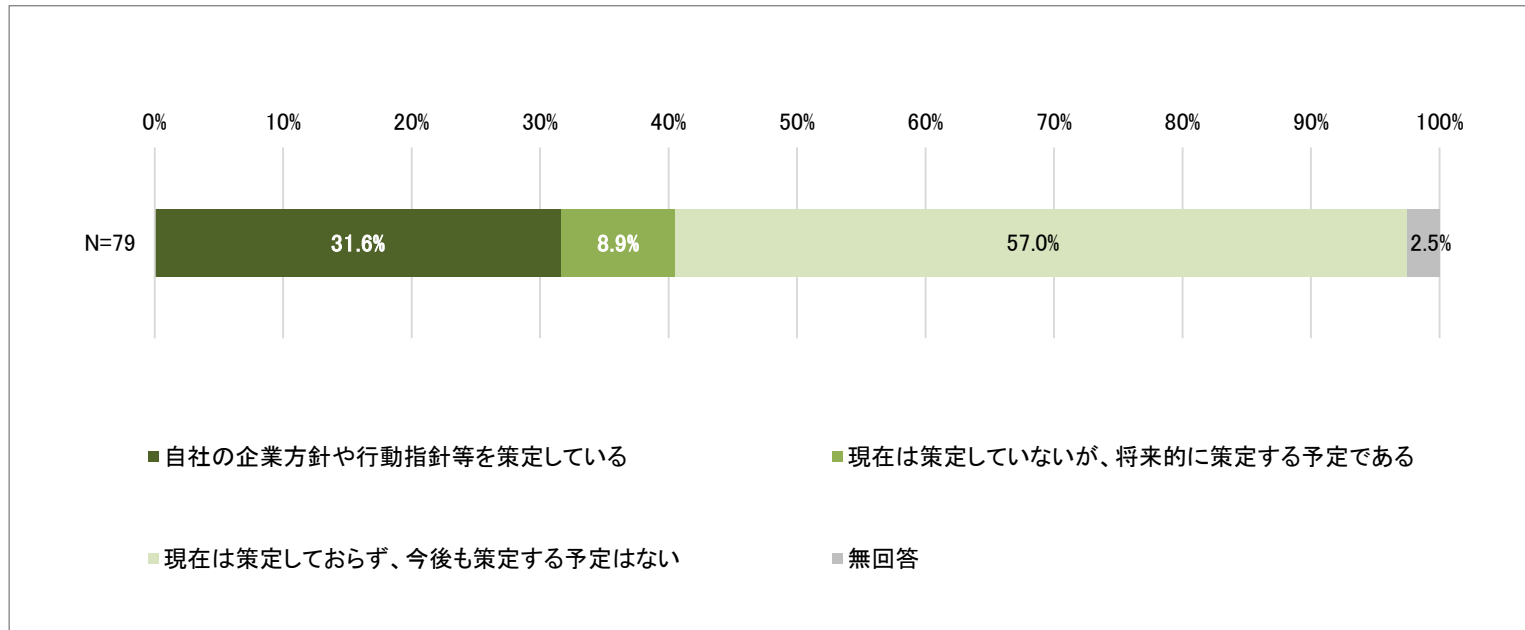
事業系ごみの減量・資源化の推進のために、今後どのような施策が大切だと思うか（3つまで回答）



事業所アンケート③ 生物多様性について

問 1

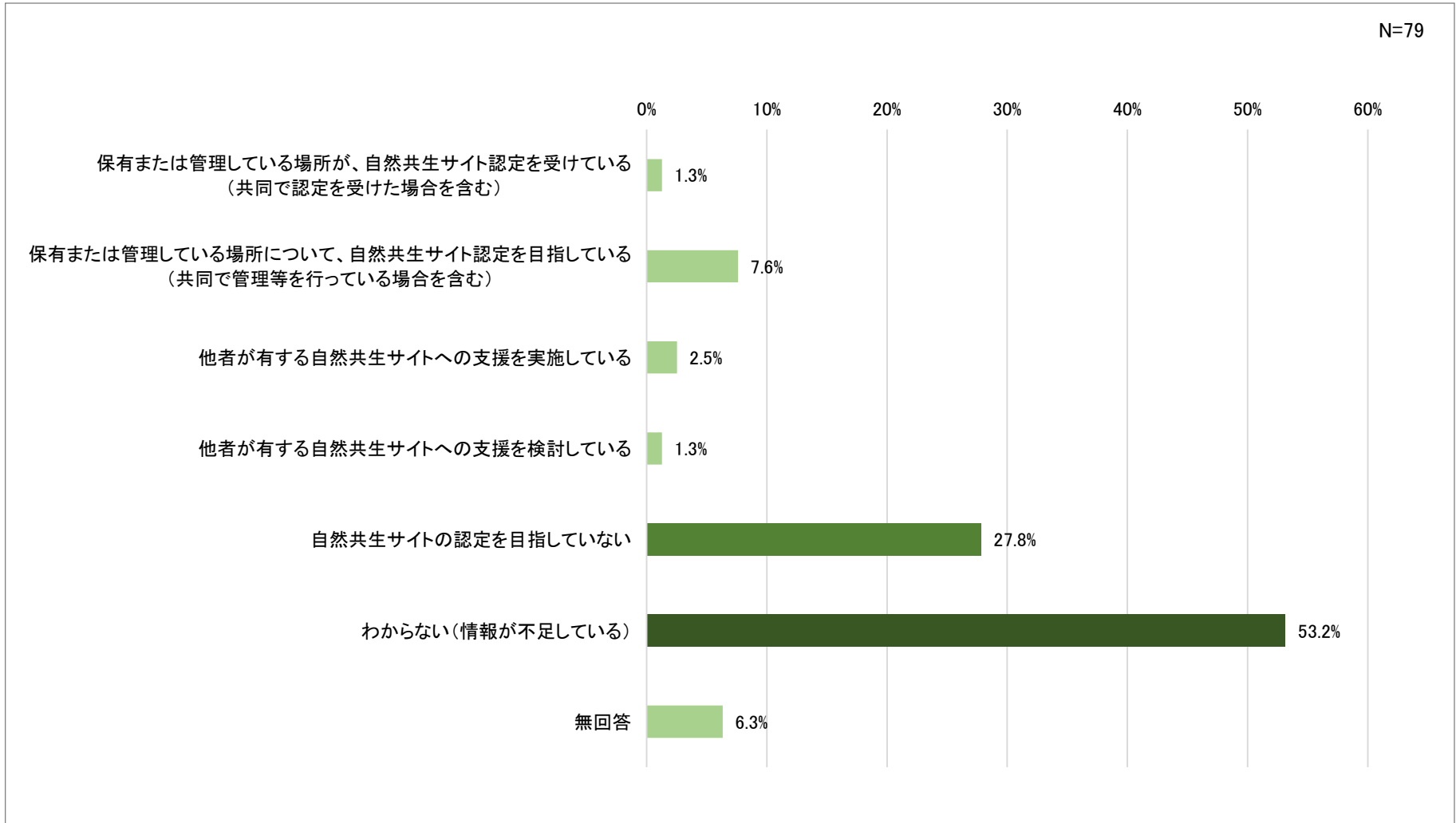
生物多様性の保全に関する企業指針や行動指針の作成状況（単一回答）



事業所アンケート③ 生物多様性について

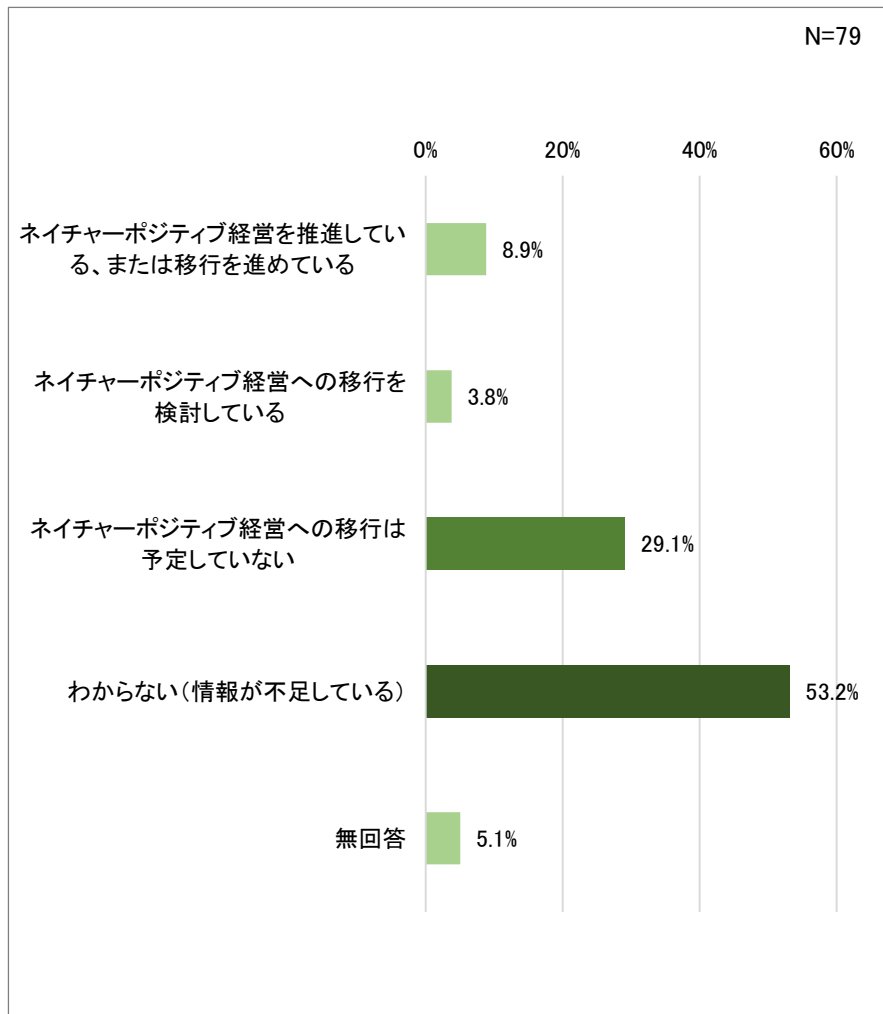
問2 (1)

30by30目標の達成に向けた自然共生サイトの認定・支援状況 (単一回答)



事業所アンケート③ 生物多様性について

問2 (2) ネイチャーポジティブ経営への移行状況 (単一回答)



問3 生物多様性の保全に関する企業の取り組み (単一回答)

